

can-am™



2007 オペレーターズガイド

セーフティビークルおよびメ
ンテナンス情報を含みます

OUTLANDER™ MAX

500/ 650/ 800

⚠ 警告

このガイドをよく読んでください
安全に関する重要な情報が載せられてい
ます

運転者の推奨最低年齢：

運転者：16 歳。

同乗者：12 歳。

車両からこの『オペレータ・ガイド』を
持ち出さないでください

警告

この車両の運転には危険が伴います。適切な注意を怠ると、方向転換や起伏のある場所での運転、または障害物の乗り越えなどのごく普通の運転でも、衝突や急激な横転の原因になることがあります。
あなた自身の安全のため、『オペレーター・ガイド』、車両の警告ラベルなどに示されているすべての警告文を理解し、それに従ってください。これらの警告が守られないと、重大なケガや死亡事故につながるおそれがあります。この『オペレーター・ガイド』は、つねに車両とともに保管するようにしてください。

警告

この『オペレーター・ガイド』、セイフティ・ビデオカセット、および製品の警告ラベルに含まれる安全のための注意事項や指示事項を無視すると、死亡の可能性を含めて人身事故の原因になることがあります。

2-UP カテゴリ車両は、オフロード専用です。主に一般的なリクリエーション用途ですが、実用目的にも使用できます。


すべての **Outlander MAX 800** シリーズ


警告

車両の性能は、以前あなたが運転された他の車両を上回ります。
この車両は、経験を積んだ運転者だけが使用するよう設計されています。

重要な情報

この『オペレーター・ガイド』では、特別な情報を強調するために次のような警告記号を用います。

 安全喚起記号は、人がけがをする恐れがあることを示します。

 **警告** 指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

注意: 指示に従わなかった場合は、ウォータークラフトの構成部品に重大な損傷を招く恐れがあることを示します。

注記: 指示内容を完全に実行するために必要な補足情報を示します。

安全にかかわる全文書は、販売時に必ず車両に保管する必要があります。

「安全性に関する情報」の項のすべての内容は、読者により警告として解釈される必要があり、これらの情報に従わないと、死亡の可能性を含め重大なケガにつながる可能性があります。

カナダでは、製品の流通とサービスは Bombardier Recreational Products Inc. (BRP) が行います。

米国内では、製品の流通は BRP US Inc が行います。

以下の商標は、Bombardier Recreational Products Inc.に帰属します:

Can-Am™

Outlander™

Rotax®

XP-S™

TTI™

DESS™

はじめに

新製品の Can-Am™ ATV をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。この車両の保証は、BRP 社が請け負い、必要なパーツ、サービス、アクセサリーのすべては、Can-Am の正規ディーラーのネットワークが供給します。

ディーラーは、お客様に必ずご満足いただけるよう努めてまいります。すべてのディーラーは、お手元にお届けする前に必要な初期セットアップ、点検、最終調整のすべてをとりおこなえるように訓練を受けております。車両をお渡しするときに、ディーラーから、操作方法、メンテナンス、安全上の注意事項についての説明があったことと思えます。この説明には必ず従っていただきますよう、お願い申し上げます。サービスについてのご希望の場合は、お客様のディーラーにお問い合わせください。

納車の際、保証の範囲についての説明を受け、ワランティレジストレーションフォーム（保証登録書）を書き込み、弊社宛てにご発送いただいたことと思えます。ほどなく、保証カードがお手元に郵送されます。このカードは、保証登録が受け付けられたことを確認するためのものであり、保証の適用をお受けになる場合、あるいはリコールが発生した場合などに必要となります。

Can-Am の正規ディーラーによって問題を解決できない場合、Consumer Services Group までお問い合わせください。

この『オペレーター・ガイド』は、他言語に翻訳される可能性があります。内容に不一致が生じた場合は、英語版の内容が正しいものと見なされます。本書では、男性を表すために男性の表現が使用されています。

『オペレーター・ガイド』の追加を参照または印刷を希望される場合は、次のウェブサイト www.operatorsguide.brp.com にアクセスしてください。また本ガイドは各種言語に翻訳されています。

本書に記載されている情報およびコンポーネント/システムの説明は、と本書が発行された時点で正しいことが確認されています。ただし、BRP は、それ以前に製造された製品に同様の改善を施す義務を負うことなく、製品を継続的に改善する方針を維持します。従って、本書作成後に発行された変更により、本書の記述または仕様もしくはその両方の内容と一致しない場合があります。BRP は、いつでも仕様、設計、機能、モデル、または機器の中止または変更の義務を負うことを行う権利を保有しています。

本書で使われているイラストは異なるアッセンブリーの一般的な構造を示しており、特定部品の完全な詳細や正確な形状でない場合もあります。しかし、それらは同様または類似の機能を持つ部品を代表しています。

右や左の表現が使用されている場合は、つねに運転席位置（座席に座った状態）から見た場合の右側、左側を指しています。

仕様の数値は国際メートル法で示され、括弧内に SAE の U.S. 単位系に換算した値を併記します。特に精度が要求される箇所では、実用上の利便性を優先して換算値の端数を四捨五入している場合があります。

パーツあるいはアクセサリーを交換する場合には、BRP 純正パーツを使用することを強く推奨いたします。BRP 純正パーツは、BRP の設計に設計、製造され、BRP の厳格な標準を満たしております。

完全な整備とメンテナンスに関する情報、および修理に関するより詳しい情報をご希望の方には、別途『ショッ
プマニュアル』をご用意していま
す。

目次

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

必ずお読みください	9
はじめに	10

安全に関する情報

安全性に関する特別メッセージ	13
運転に関する警告	17
ATV の操縦について	46
運転前のチェック	47
衣服	49
荷物/同乗者の積載	50
トレーラーのけん引 (装備されている場合)	50
ATV を使った作業	50
レクリエーション運転	51
環境	51
設計の限界	52
オフロード運転	52
一般的な操作と安全に関する注意事項	52
上り坂の運転	53
下り坂の運転	53
坂の横断	53
がけ	53
運転テクニック	54
定期メンテナンス	61
タグ	62
車体貼付ラベル	63

ATV についての情報

あなたの ATV を識別する方法	68
騒音制御装置規制	69
排出規制	70
慣らし運転期間	71
コントロール / 計器 / 備品	72
1) スロットルレバー	73

2) 2WD/4WD セレクター	73
3) ブレーキレバー	73
4) パーキングブレーキ	74
5) トランスミッションレバー	74
6) マルチファンクションスイッチ	75
7) スピードメーター	77
8) 12 ボルト電源アウトレット	81
9) イグニッションスイッチ	81
10) 燃料タンクキャップ	82
11) ブレーキペダル	83
12) フットペグ	83
13) グラブハンドル	83
14) 同乗者シート/ストレージボックス	83
15) 運転者シート	85
16) アクセスポネル	86
17) リアストレージコンパートメント	86
18) カーゴラック	87
19) トレーラーヒッチ	87
20) ラジエーターキャップ	87
21) ヒューズ	88
22) ツールボックス	88
23) デイップスティック	88
24) ウインチ	89
25) ウインチコントロールスイッチ	89
26) ローラーフェアリーダー	89
27) ウインチリモートコントロール	90
28) ウインチリモートコントロール接続部	90
29) GPS レシーバー (グローバルポジショニングシステム)	91
30) 保護カバー (GPS レシーバーサポート)	93
液体類	94
燃料	94
エンジンオイル	94
トランスミッションオイル	96
エンジン冷却液	96
ブレーキオイル	97
バッテリー	98
操作の説明	99
一般的事項	99
運転前のチェック	99
エンジンの始動方法	100
トランスミッションのシフト	100
2WD/4WD セレクター	101
ウインチの操作	101
エンジンの停止	101
運転後の手入れ	102

特殊作業の手順	103
転倒	103
ATV の浸水	103
荷物の積載と本車両の運搬	104
トラブルシューティング	106
仕様	110

メンテナンス情報

メンテナンスチャート	116
全般	121
エンジン	122
オイルおよびオイルフィルターの交換	122
冷却液の交換	123
エアフィルター	124
ドライブベルト	125
CVT カバードレンスクリュー	125
バルブの調整	125
スパークアレスター	125
ラジエーター	126
トランスミッション	127
オイル交換	127
燃料システム	128
スロットルケーブルの潤滑	128
スロットルレバーの調整	129
電気システム	131
スパークプラグ	131
バッテリー	131
ヒューズ	132
バルブの交換	133
ドライブトレイン	136
ドライブシャフトブーツ / プロテクター	136
ホイール	136
ホイールベアリングのコンディション	136
タイヤ / ホイール	137
サスペンション	139
潤滑	139
点検	139
調整	139
ブレーキ	140
調整 / 点検	140
ブレーキオイルの交換	140

ボディ / フレーム	141
エンジン周辺	141
ヒッチ / トレーラーボールのコンディション	141
シャーシのねじ類	141
シートファスナー	141
車両の清掃と保護	141
保管、シーズン前の準備	142

保証

BRP 北米限定保証:2007 CAN-AM™ ATV	144
BRP 国際限定保証:2007 CAN-AM™ ATV	148
プライバシーに関する情報	152
住所と所有権の変更	153

必ずお読みください

オーナーあるいは運転者に、車両の各種コントロール、メンテナンス、安全な操作を説明するために、本『オペレーター・ガイド』が用意してあります。本『オペレーター・ガイド』は、本製品を正しくお使いいただくために必要不可欠なものです。

本『オペレーター・ガイド』には、以下に示す記号が使用されています。



指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

注意: 指示に従わなかった場合は、ウォータークラフトの構成部品に重大な損傷を招く恐れがあることを示します。

注記: 指示内容を完全に実行するために必要な補足情報を示します。

これらの情報を表面的に読んだだけでは、危険を完全に取り除くことはできません。完全に理解して実施してこそ、正しい車両操作が実現できます。

4 輪車を運転するすべての人が理解し、遵守しなければならない基本的なルールがあります。4 輪車の楽しさを最大限に引き出すためには、これに必ず従わなければなりません。

安全に関する情報

警告

運転者:

- 16歳未満の子供には、この車両を運転させないでください。
- このモデルには(2)人以上の同乗者を乗せないでください。
- 同乗者は指示された同乗者席に必ず座り、常にGrabハンドルをつかんでください。
- 運転者には、同乗者の安全に対する責任があります。安全を確認できない場合、操縦前に降車させてください。
- 同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出ることもあります。同乗者を乗せる際には、安全に留意して速度を落としてください。
- また、制動距離がいつもより長くなることに注意してください。
- まず同乗者を乗せないでこの『オペレーター・ガイド』に記載されている操縦方法を練習して、次に乗せて練習してください。
- 安全な運転に関する基本的なルールを同乗者に知らせます。
- (リアシートの代わりに) ストレージボックスを取り付ける場合、同乗者を乗せないでください。

同乗者:

- 同乗者は12歳以上であり、この車両に乗るとき常に足をフットレストに置き、手でGrabハンドルをつかめなければなりません。
- 同乗者は、同乗者リアGrabハンドルから手を離さないでください。決して、運転者につかまらないでください。
- 同乗者は、車両と運転者の操縦に注意を払ってください。
- 同乗者は、丈夫なチンガード付きの認定ヘルメットをかぶり、適切な保護服を着用してください。
- 同乗者は、運転中常に手と足を相応しい場所に置いてください。
- 運転中、決して立ち上がらないでください。激しい動きにより、コントロールを失うおそれがあります。

ここで推奨されている事柄を遵守しない場合、車両のハンドリングに影響があり、同乗者または運転者の死亡の可能性を含めて重傷事故の原因になることがあります。

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

安全性に関する特別メッセージ

この車両は玩具ではありません。運転には危険が伴います。

ATVは、モーターサイクルや自動車を含むその他の車両とは異なる操縦性を示します。適切な注意を怠ると、方向転換や起伏のある場所での運転、または障害物の乗り越えなどのごく普通の運転でも、衝突や急激な横転の原因になることがあります。

次のような取扱い上の注意が守られていないと、重大なケガや死亡事故の原因になることがあります。

△ 『オペレーター・ガイド』および車両に貼付されているすべての警告ラベルを注意深く読んで、記載されている操作手順に従ってください。運転前に、セーフティビデオカセットを注意深くご覧ください。

△ 適切な指導を受けずに、このATVを運転しないでください。トレーニングコースを受講してください。全運転者は、認定インストラクターからトレーニングを受ける必要があります。詳細については、最寄りのCan-Am正規ディーラーに問い合わせてください。米国とカナダのみ:最寄のトレーニングコースに関する詳細は次までお尋ねください。Specialty Vehicle Institute of America (SVIA) 電話 1 800 877-2887、またカナダではCanada safety Council (CSC) 電話 1 (613) 739-1535 内線 227。

△ 必ず推奨年齢を守ってください:16歳未満の子供には、この車両を運転させないでください。

△ このモデルには (2) 人以上の同乗者を乗せないでください。この車両への同乗者は 12 歳以上であり、座るとき常に足をフットレストに置き、手でクラブハンドルをつかめなければなりません。

△ 同乗者は指示された同乗者席に必ず座り、常にクラブハンドルをつかんでください。指示されていない場所に同乗者を座らせないでください。

△ 同乗者のシートやストレージボックスを正しく取り付けないまま、ATVを運転しないでください。

△ (リアシートの代わりに) ストレージボックスを取り付ける場合、ATVに同乗者を乗せないでください。

△ 同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出ることもあります。同乗者を乗せる際には、安全に留意して速度を落としてください。十分前もってブレーキをかけてください。

△ 歩道、私道、駐車場、街路を含めATVで舗装面を走行しないでください。

△ 公道、一般道路、または高速道路を未舗装、砂利道であってもATVで走行しないでください。

△ ATVを運転する際には、必ず適切なサイズの認定されたヘルメットを着用してください。運転者と同乗者は、目の保護具（ゴーグルやフェイスシールド）、手袋、ブーツ、長袖のシャツまたはジャケット、長ズボンを着用するようにしてください。同乗者は、丈夫なチンガード付きの認定ヘルメットをかぶってください。

△ ATVを運転する前、または運転中に、アルコールや薬物を服用しないでください。

△ スピードを出しすぎないようにしてください。つねにその場の地形、視界、そして運転条件とあなたの経験に応じて適切な速度で走行してください。

△ ウィリー、ジャンプなどの曲乗りは絶対に行わないでください。

△ 運転者には同乗者の安全に対する責任があることを忘れないでください。安全を確認できない場合、降車させてください。まず同乗者を乗せないでこの『オペレーター・ガイド』に記載されている操縦方法を練習して、次に乗せて練習してください。同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出る可能性があります。同意することを忘れないでください。同乗者を乗せる際には、安全に留意して速度を落としてください。また、制動距離がいつもより長くなることに注意してください。この車両を運転者単独では容易に使用できても、同乗者がいると容易でない状況もあります。常識を働かせましょう！

△ ATV の安全に関する詳細を最寄のトレーニングコースで入手するには、Can-Am 正規ディーラーにお問い合わせください。

米国とカナダのみ：連絡先、Specialty Vehicle Institute of America (SVIA) 電話 1 800 877-2887、またカナダでは Canada safety Council (CSC) 電話 1 (613) 739-1535 内線 227。

運転に関する警告

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

次の警告と形式は米国消費者製品安全委員会により義務付けられており、すべてのATVの『オペレーター・ガイド』に含めることが要求されています。

注記: 警告の中に示されているイラストはATVの代表例です。お手元のモデルとは異なっている可能性があります。

警告



V00A0AQ

危険な行為

適切な指導を受けずに、このATVを運転する。

起こり得ること

運転者が同乗者を乗せてあるいは乗せないで、さまざまな状況、さまざまな種類の地形でATVを正しく運転する方法を知っていないと、事故を起こす危険性が著しく増加します。

危険を避けるには

初心者や経験を積んでいない運転者は、トレーニングコースを最後まで受けてください。そして、コースで学ぶスキルや『オペレーター・ガイド』に記載されている運転テクニックを定期的に練習してください。

トレーニングコースに関する詳細は、Can-Am 正規ディーラーまでお尋ねください。



V00A1AQ

危険な行為

この ATV の年齢推奨を守らない。

起こり得ること

推奨年齢に達していない子供が ATV を運転すると、重大なケガや死亡事故につながる可能性があります。

その ATV の推奨年齢に達していても、運転者に ATV を安全に運転するために必要な技術、能力、または判断力が備わっていないと、重大な事故に巻き込まれるおそれがあります。

危険を避けるには

16 歳未満の子供には、ATV を運転させないでください。



警告



V00A1BQ

危険な行為

この ATV の同乗者の年齢推奨を守らない。

起こり得ること

12 歳未満の子供には ATV を安全に運転する能力は備わっておらず、重大な事故に巻き込まれるおそれがあります。

危険を避けるには

12 歳未満の子供には、ATV を運転させないでください。



警告

危険な行為

同乗者の身体的制約を考慮しない。

起こり得ること

同乗者がフットレストに完全に足を置くことができない場合、傾いた地形では振り落とされるおそれがあります。

危険を避けるには

同乗者はこの車両に座るとき常に足をフットレストに置き、手でグラブハンドルをつかめなければなりません。



V00A1CQ

危険な行為

この車両に 2 人以上の同乗者を乗せる。

起こり得ること

2 人以上の同乗者を乗せると、この ATV のバランスと操縦性が大きく損なわれます。

事故の原因となり、あなたや同乗者またはその両方がケガを負うおそれがあります。

危険を避けるには

2 人以上の同乗者を乗せないでください。シートが前後に長いのは、運転中必要に応じて運転者が乗車位置を変えられるようにするためです。2 人以上の運転者と 2 人以上の同乗者を乗せるためではありません。同乗者は、乗車時指定されたシートを使用します。

(リアシートの代わりに) ストレージボックスを取り付ける場合、車両は 1 人乗り車両となり (1-UP モデル)、同乗者は乗れません。



V00A2DQ

危険な行為

指定された同乗者シート以外の位置に同乗者が座る。

起こり得ること

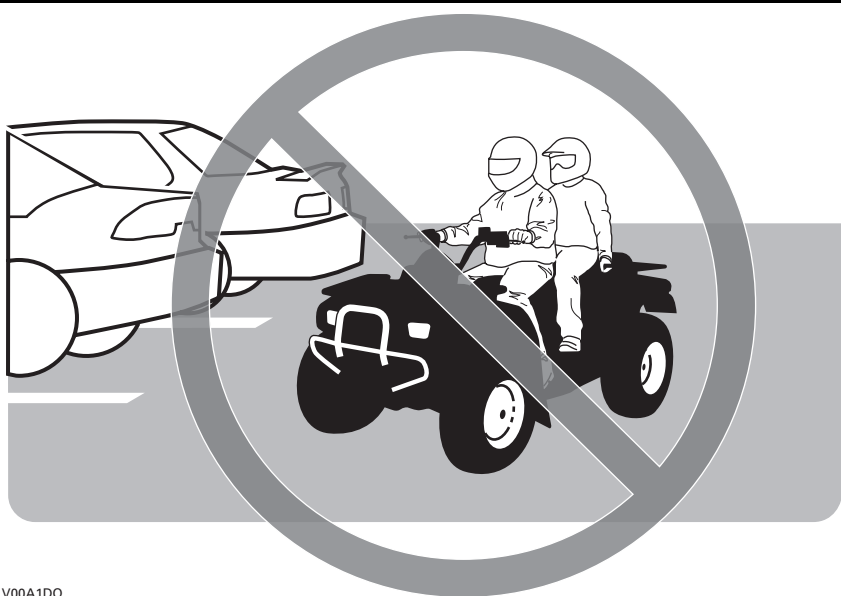
同乗者が指定された同乗者シート以外の位置に座るなら、次のことが起きるおそれがあります：

- 車両の安定性が損なわれ、コントロールを失うおそれがあります。
- 硬い表面への衝撃から負傷するおそれがあります。

事故の原因となり、あなたや同乗者またはその両方がケガを負うおそれがあります。

危険を避けるには

同乗者は常に指定された同乗者シートに座り、両足をフットレストにしっかりと置いて、グラブハンドルから手を離さないようにしなければなりません。



V00A1DQ

危険な行為

この ATV で舗装面を走行すること。

起こり得ること

タイヤはオフロード専用に設計されており、舗装面の使用に適していません。舗装路面は車両のハンドリングとコントロールに重大な影響を及ぼし、車両が制御不能となるおそれがあります。

危険を避けるには

歩道、私道、駐車場、街路を含め ATV で舗装面を走行しないでください。



V00A1EQ

危険な行為

この ATV を公道、一般道路、または高速道路で運転する。

起こり得ること

他の車両と衝突する可能性があります。

危険を避けるには

公道、一般道路、または高速道路を未舗装、砂利道であってもATVで走行しないでください。多くの州では、この ATV を公道、一般道路、または高速道路で運転することは違法です。



V00A1FQ

危険な行為

認定されたモーターサイクル用ヘルメット、目を保護するゴーグル、保護能力の高い衣服を着用せずに、このATVを運転する。同乗者は、丈夫なチンガード付きの認定ヘルメットもかぶってください。

起こり得ること

次の項目は、運転者と同乗者に関係します：

- 認定されたヘルメットを着用せずに乗車するならば、事故時に頭部の重大な負傷や死亡をまねくおそれが高まります
- 目の保護具を着用せずに乗車するならば事故につながり、事故時に重大な負傷をまねくおそれが高まります
- 保護能力の高い衣服を着用せずに乗車するならば、事故時に重大な負傷をまねくおそれが高まります。

危険を避けるには

適切なサイズの認定されたヘルメットをつねに着用してください。また、次のような衣服や装備を着用するようにしてください：

- 目を保護するゴーグルやフェースシールドなど
- 丈夫なチンガード（同乗者に推奨）
- 手袋とブーツ
- 長袖のシャツまたはジャケット
- 長ズボン。



V00A07Q

危険な行為

アルコールや薬物を服用した後でこの ATV を運転する。

起こり得ること

同乗者が振り落とされる可能性があります。

判断力に大きな影響が生じる可能性があります。

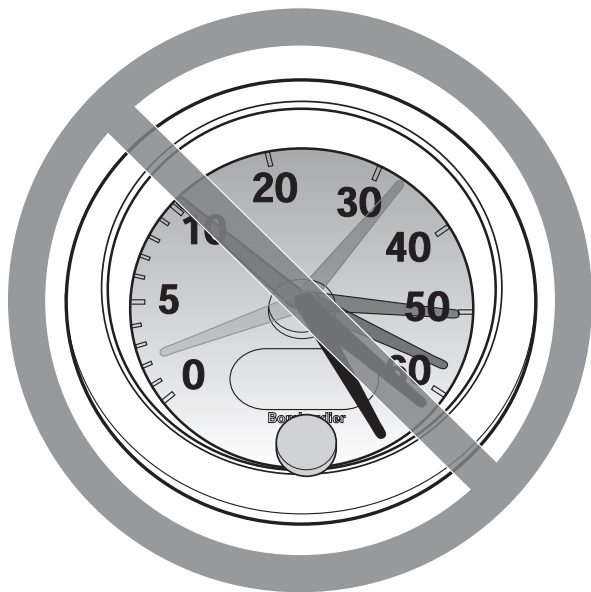
反応速度が通常より遅くなる可能性があります。

平衡感覚や知覚に影響が生じる可能性があります。

事故や同乗者または運転者の死亡をまねく可能性があります。

危険を避けるには

運転者と同乗者は ATV を運転する前、または運転中に、アルコールや薬物を服用しないでください。



V00A08Q

危険な行為

過大な速度でこの ATV を運転する。

起こり得ること

ATV のコントロールを失い、事故につながる可能性が高くなります。

危険を避けるには

つねにその場の地形、視界、そして運転条件とあなたの経験に応じて適切な速度で走行してください。

同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出ることもあります。同乗者を乗せる際には、安全に留意して速度を落としてください。また、制動距離がいつもより長くなることに注意してください。



V00A1GQ

危険な行為

ウィリー、ジャンプなどの曲乗りを試みる。

起こり得ること

運転者と同乗者にとって転倒を含む事故を起こす可能性が高くなります。

危険を避けるには

ウィリー、ジャンプなどの曲乗りは絶対に行わないでください。曲乗りによって自分の運転技術を誇示しようとしてはいけません。



警告

危険な行為

運転する前に ATV の点検を行わない。

ATV の適切なメンテナンスを行わない。

起こり得ること

事故や車両損傷の可能性が高まります。

危険を避けるには

毎回 ATV を使用する前に点検を行って、ATV が安全に走行できる状態にあることを確認してください。

『オペレーター・ガイド』に記載されている点検およびメンテナンスの手順とスケジュールに従ってください。



警告

危険な行為

凍結した水路の上を運転する。

起こり得ること

氷が割れて ATV や運転者また同乗者が転落し、重大なケガや死亡事故の原因になることがあります。

危険を避けるには

ATV とその負荷ばかりでなく、走行中の ATV によって生じる力を支持できるだけの厚みと強度が氷にあることを確認する前に、この ATV を凍結した面で運転してはいけません。



V00A1HQ

危険な行為

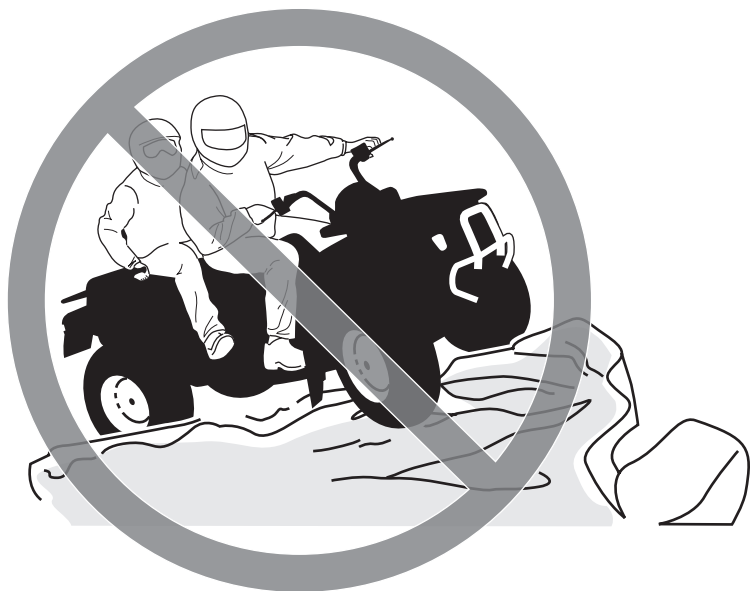
走行中に運転者がハンドルバーから、また同乗者がグラブハンドルから手を離したり、足をフットレストから外したりする。

起こり得ること

片手を離したり、足を外したりすると、あなたのATVをコントロールする能力が損なわれ、バランスを崩してATVから転落するおそれがあります。また、足をフットレストから外すと、足や脚部がリアタイヤに接触する可能性があり、ケガや事故の原因になることがあります。

危険を避けるには

運転者と同乗者は走行中は必ず両手をATVのハンドルバーかグラブハンドルに添え、フットレストに両足を乗せておいてください。



V00A11Q

危険な行為

特別な注意を払わずに、不慣れな場所を走行する。

起こり得ること

隠れている岩、隆起、穴などに遭遇し、反応が間に合わない場合があります。

これにより ATV が転倒したり、同乗者が転落したり、コントロールを失う可能性があります。

危険を避けるには

未知の場所を走行する場合は、十分に速度を落とし、特別な注意を払ってください。

ATV を運転する際には、つねに地形条件の変化に注意を怠らないようにしてください。

運転者には同乗者の安全に対する責任があることを忘れないでください。同乗者を乗せる際には、安全に留意して速度を落としてください。



V00A1JQ

危険な行為

特別な注意を払わずに、極度に荒れた場所、滑りやすい場所や崩れやすい場所を走行する。

起こり得ること

車両が自力で進めなくなったり、コントロールを失ったりして、転倒や同乗者の転落を含む事故につながる可能性があります。

危険を避けるには

極度に荒れた場所、滑りやすい場所、または崩れやすいような場所では、そうした地形でのATVの運転に必要な技術を習得している場合を除いて、走行を避けてください。

そのような地形に対してはつねに特別な注意が必要です。

運転者には同乗者の安全に対する責任があることを忘れないでください。安全を確認できない場合、そのような地形で走行する前に降車させてください。



V00A1KQ

危険な行為

不適切な方向転換を行う。

起こり得ること

ATV のコントロールを失い、衝突や転倒、同乗者の転落の原因となる可能性があります。

危険を避けるには

『オペレーター・ガイド』に記載されている方向転換の正しい手順に従ってください。高速での方向転換を試みる前に、低速で方向転換の練習をしてください。

運転者には同乗者の安全に対する責任があることを忘れないでください。同乗者を乗せてこの操縦をしないでください。同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

速すぎる速度で方向転換を行わないでください。



V00A1LQ

危険な行為

勾配の急すぎる斜面を走行する。

起こり得ること

勾配の急な斜面では、平地や緩やかな斜面よりもはるかに車両が転倒しやすくなります。

危険を避けるには

そのATVやあなたの技術に対して、急すぎる斜面を走行しないでください。

勾配の急な斜面の登坂を試みる前に、まず同乗者を乗せてないで、次に乗せて緩やかな斜面で十分に練習を積んでください。

急な斜面を登ることはできますが、同乗者を乗せて登坂することは推奨されていません。その前に必ず降車させてください。適切な判断をしてください。



V00A1MQ

危険な行為

不適切な運転で坂を登る。

起こり得ること

コントロールを失ったり、同乗者が転落したり、ATVが転倒したりする可能性があります。

危険を避けるには

『オペレーター・ガイド』に記載されている登坂の正しい手順に従ってください。

斜面を登り始める前に、地形を注意深く確認してください。運転者には同乗者の安全に対する責任があることを忘れないでください。安全を確認できない場合、登坂前に降車させてください。同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

表面が極端に滑りやすかったり、崩れやすいような斜面は登らないでください。

運転者と同乗者の体重移動を利用して重心を前寄りに移しましょう。

急激にスロットルを開けたり、急激なギアチェンジをしないでください。ATVが仰向けに転倒する可能性があります。

斜面の頂上付近を減速せずに走り抜けてはいけません。向こう側には障害物、急な勾配、または車両があったり、人がいたりするかもしれません。



V00A1N0

危険な行為

不適切な運転で坂を下る。

起こり得ること

コントロールを失ったり、同乗者が転落したり、ATVが転倒したりする可能性があります。

危険を避けるには

『オペレーター・ガイド』に記載されている坂の下り方の正しい手順に従ってください。

注：下り斜面でのブレーキングには特別なテクニックが必要です。

斜面を下り始める前に、地形を注意深く確認してください。運転者には同乗者の安全に対する責任があることを忘れないでください。安全を確認できない場合、斜面を下りる前に降車させてください。同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

運転者と同乗者の体重移動を利用して重心を後寄りに移しましょう。グラブハンドルをしっかりと握ってください。

下り坂では速度を出しすぎないようにしてください。

車両の左右のどちらか一方に大きく傾くような角度で下り坂を走行するのは避けてください。下り坂は可能な限りまっすぐに降りるようにします。



V00A10Q

危険な行為

不適切な運転で斜面を横断したり、斜面で方向転換する。

起こり得ること

コントロールを失ったり、同乗者が転落したり、ATVが転倒したりする可能性があります。

危険を避けるには

同乗者が乗っている場合、この操縦を試みないでください。操縦実施前に、同乗者を降車させてください。

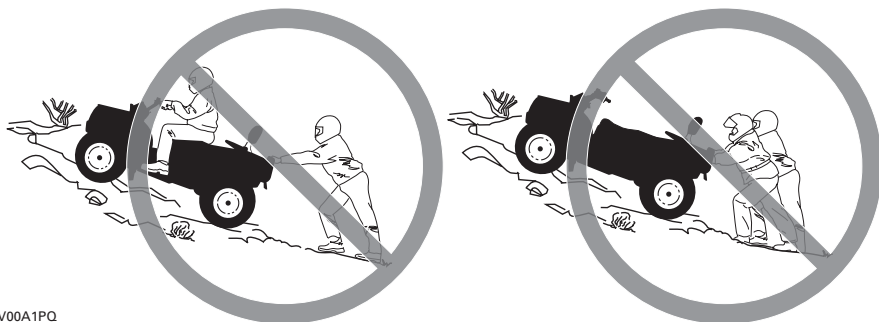
『オペレーター・ガイド』に記載されている方向転換の技術を平地でマスターするまでは、斜面での方向転換を試みないでください。斜面での方向転換は特に慎重に行ってください。

急な斜面での横断はできるだけ避けてください。

斜面を横断する場合：

『オペレーター・ガイド』に記載されている斜面横断の正しい手順に従ってください。

表面が極端に滑りやすかったり、崩れやすいような斜面は避けてください。運転者と同乗者の体重移動を利用して、重心をATVの山側に移します。



V00A1PQ

危険な行為

上り坂の途中でのエンスト、後退、または不適切な降車。

起こり得ること

ATV の転倒につながる可能性があります。

危険を避けるには

斜面を登る時は適切なギアを使用し、できるだけ速度を一定に保ってください。

前進中にとまりそうになった時は：

運転者と同乗者は、重心を山側に維持します。急激にスロットルを開けたり、急激なギアチェンジをしないでください。ATV が仰向けに転倒する可能性があります。

ブレーキを掛けてください。

車両が停止したら、パーキングブレーキを掛けてロックしてください。

初めに同乗者を降車させてから、車両が斜面の上を向いている場合は、運転手は山側か車両の左右のどちらかに降車してください。

後向きに下がり始めた時は：

運転者と同乗者は、重心を山側に維持します。急激にスロットルを開けたり、急激なギアチェンジをしないでください。ATV が仰向けに転倒する可能性があります。

後向きに下がっている時は絶対にリアブレーキを掛けないでください。

少しずつフロントブレーキを掛けます。

完全に停止したところでリアブレーキを掛け、パーキングブレーキを掛けてロックしてください。

初めに同乗者を降車させてから、車両が斜面の上を向いている場合は、運転手は山側か車両の左右のどちらかに降車してください。

『オペレーター・ガイド』に記載されている手順に従って、ATV の向きを変えてから再乗車してください。



V00A10Q

危険な行為

不適切な運転で障害物を乗り越える。

起こり得ること

コントロールを失ったり、同乗者が転落したり、衝突の原因となる可能性があります。

また、ATVが転倒する原因となる可能性があります。

危険を避けるには

運転者には、同乗者の安全に対する責任があります。安全を確認できない場合、障害物を乗り越える前に降車させてください。同乗者を乗せると、車両のハンドリングと安定性に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

未知の地域を走行する前に、障害物がないことを確かめてください。

大きな岩や倒木など、大きな障害物を乗り越えようとししないでください。

障害物を乗り越えなければならない場合は、『オペレーター・ガイド』に記載されている正しい手順に従ってください。



V00A1RQ

危険な行為

不適切な運転で車両を横滑りやスリップさせる。

起こり得ること

ATV のコントロールを失う可能性があります。

また、横滑りした後で急激に接地力が回復し、ATV が転倒するまたは同乗者を落下させる可能性があります。

危険を避けるには

同乗者を乗せて横滑りやスリップさせないでください。同乗者を乗せると、車両のハンドリングと安定性に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

平らで滑らかな場所を探し、低速で練習しながら、スリップや横滑りを安全にコントロールする方法を学んでください。

氷などの極端に滑りやすい表面の上では、できるだけ速度を落とし、車両が滑ったりスリップして制御できなくなることがないように最大限の注意を払ってください。



V00A1SQ

危険な行為

この ATV で水深の深いところや流れの速い川を横断する。

起こり得ること

タイヤが浮いて接地力とコントロールを失い、事故につながる可能性があります。

危険を避けるには

流れの速い川や、『オペレーター・ガイド』で指定された水深よりも深い水の中では、ATV を走らせないでください。

水深のあるところや流れのある川を横断する前に、水深と流れを確認してください。フットレストよりも上に水がきてはいけません。

ブレーキが濡れると、制動力が低下する可能性があることを忘れないでください。水から上がった後、ブレーキのテストを行ってください。もしそうする必要があれば、何度かブレーキを掛けてみて、摩擦熱でパッドを乾かしてください。同乗者を乗せている場合、制動距離を長めにとってください。



V00A1TQ

危険な行為

不適切な運転で後退する。

起こり得ること

後方の障害物や人と衝突し、重大なケガにつながるおそれがあります。

危険を避けるには

リバースギアに入れる場合は、後方の障害物や人の存在を確認してください。安全を確認した上で、ゆっくりと後退しましょう。同乗者が運転者の視界を妨げる可能性があることを考慮に入れてください。



V00A00Q

危険な行為

この ATV に不適切なタイヤを装着したり、不適切または不均等なタイヤ空気圧で走行する。

起こり得ること

この ATV に不適切なタイヤを装着したり、タイヤ空気圧が不適切または不均等な状態で走行すると、コントロールを失ったり、バンクやリム周りでタイヤが回るおそれがあり、事故の危険性が高まります。

危険を避けるには

『オペレーター・ガイド』で指定された形式とサイズのタイヤを使用してください。

このガイドで指定されている正しいタイヤ空気圧を維持してください。

損傷したホイールやタイヤをすぐに交換してください。



V00A26Q

危険な行為

この ATV に不適切な改造を施して走行する。

起こり得ること

不適切なアクセサリを取り付けたり、車両を改造したりすると、操縦性が著しく変化したり、場合によっては事故につながる可能性があります。

危険を避けるには

不適切なアクセサリを取り付けたり、ATV を改造したりしないでください。この車両に追加する部品やアクセサリは、BRP が認可した部品であることが望ましく、取扱説明書に従って正しく取り付け、使用されなければなりません。ご不明な点は、最寄りの Can-Am 正規ディーラーへお問い合わせください。

同乗者席を取り付けたり、同乗者を乗せるラックを取り付けたりしてはいけません。

速度や性能の向上を図るために車両を改造するなら、車両限定保証の契約条項に違反するおそれがあります。また、エンジンやエキゾーストコンポーネントの取り外しを含む一部の改造はたいていの法律では違法行為とみなされます。



V00A1UQ

危険な行為

この ATV に過大な荷重を与えたり、不適切な方法で荷物を積んだり、けん引したりする。

起こり得ること

車両の操縦性が著しく変化する可能性があり、事故につながるおそれがあります。

危険を避けるには

表示されている ATV の荷重制限を超えないようにしてください。これには運転者と同乗者、その他の荷物と追加アクセサリを含みます。

荷物を積む場合は、バランスよく配分して、しっかりと固定してください。

荷物を運んだり、トレーラーをけん引したりする場合は、普段よりも速度を落としてください。また、制動距離がいつもより長くなることに注意してください。

『オペレーター・ガイド』に記載されている荷物の運搬、またはトレーラーのけん引に関する注意事項に従ってください。

 警告



V03M01Q

危険な行為

可燃物または爆発する可能性がある危険物を輸送する。

起こり得ること

重大なケガや死亡事故の原因になることがあります。

危険を避けるには

可燃物または危険物を輸送してはいけません。

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

 警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

運転前のチェック

警告

運転前のチェックは、非常に大切な前装に、エンジン、ブレーキ、ハンドル、シートの正しく動作するかどうかを確認してください。また、エンジン、ブレーキ、ハンドル、シートの正しく動作するかどうかを確認してください。また、エンジン、ブレーキ、ハンドル、シートの正しく動作するかどうかを確認してください。

運転の前に、次の点を必ず確認してください：

- パーキングブレーキを掛け、正常に作動しているかをチェックしてください。
- タイヤの空気圧およびコンディションをチェックしてください。
- ホイールおよびホイールベアリングの磨耗および損傷をチェックしてください。
- コントロール類の位置および正しく作動するかをチェックしてください。
- ステアリングがスムーズに動くかをチェックしてください。
- スロットルコントロールレバーを数回動かして、スムーズに作動するかをチェックしてください。放した時に自動的にアイドル位置に戻らなければなりません。
- フロントブレーキレバーおよびリニアブレーキフットペダルを作動させて、ブレーキが効くことを確認してください。レバーおよびペダルは、放した時に自動的に元の位置に戻らなければなりません。
- トランスミッションレバーが機能することを確認し、PARK位置に戻します。
- 燃料、オイル、冷却液のレベルをチェックしてください。
- エンジン、トランスミッション、およびドライブシャフトのコンポーネントからのオイル漏れをチェックしてください。

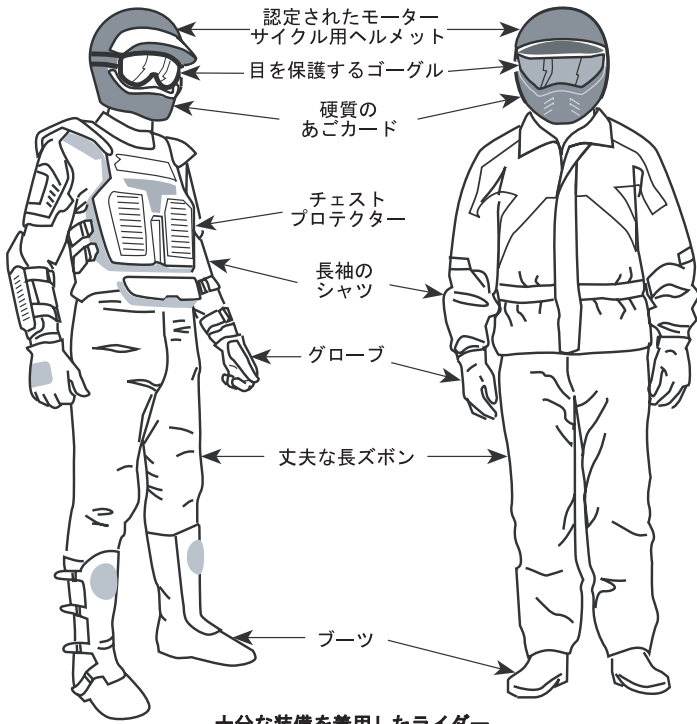
- ヘッドライトとテールランプを清掃します。
- フロントアクセスコンパートメントカバーとリアストレージカバーのラッチがしっかりと掛かっているかをチェックしてください。
- 運転者および同乗者のシートまたシートレジャーボックスが正しい位置に取り付けられ、ラッチがしっかりと掛かっていることを確認してください。
- 荷物を運搬する場合は、許容積載重量を守ってください。荷物がしっかりと固定されているかをチェックしてください。
- トレーラーなどをけん引する場合、は、タンクの許容重および許容けん引荷重を守ってください。トレーラーがしっかりと固定されているかをチェックしてください。
- エンジン停止状態で、ゆるんでいるパーツがないかを目視および触る感覚でチェックしてください。ねじ類をチェックしてください。
- これから走行しようとしている経路に、障害物あるいは人がいないかをチェックしてください。
- イグニッションスイッチ、スタートボタン、エンジンストップスイッチ、ヘルメットランプスイッチ、テールランプ、インジケータランプが正常に作動するかをチェックしてください。
- 同乗者のシートと背もたれの状態を確認してください。
- グラブハンドルの状態を確認してください。
- 安全な運転に関する基本的なルールを同乗者に知らせます。
- 同乗者が1人の場合、指定された同乗者シートに座っていることを確認してください。
- (リアシートの代わりに) ストレージボックスを取り付けている場合、ラッチがしっかりと掛かっているかをチェックしてください。

- エンジンを始動し、ゆっくり前方に1m程度運転して、すべてのブレーキを別々に掛け、効き具合をチェックしてください。
- 2WD/4WD セレクターの作動を確認してください。

以上のチェックで何らかの問題が発見されたら、調整してください。必要に応じて、最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

衣服

実際の天候条件に応じて、どのような衣服を着用するべきかを決める。ATVを運転する際には、必ずヘルメット、ゴーグル、保護服を着用し、必要に応じてグローブ、ブーツ、チェストプロテクター、ハードアゴガードを装着する。また、長袖のシャツと丈夫な長ズボン、認定されたモーターサイクル用ヘルメット、目を保護するゴーグル、硬質のあごガード、チェストプロテクター、長袖のシャツ、グローブ、丈夫な長ズボン、ブーツを装着する必要がある。また、地形の変化に応じて、必要に応じて、長袖のシャツと丈夫な長ズボン、認定されたモーターサイクル用ヘルメット、目を保護するゴーグル、硬質のあごガード、チェストプロテクター、長袖のシャツ、グローブ、丈夫な長ズボン、ブーツを装着する必要がある。



十分な装備を着用したライダー

V00A0RN

荷物/同乗者の積載

車両のキャリアラックに積み込まれた荷物は車両の安定性とコントロールに影響を与えます。このため、車両のメーカーが指定する積載制限を超えてはいけません。荷物がしっかりと固定されていることと、正しいコントロールを妨げないことを必ず確認してください。荷物が滑ったり、落下したりして、事故が発生する可能性があることについて注意してください。荷物が道に、突き出て茂みや他の障害物に当たったり、からんだりしないようにしてください。荷物をヘッドランプやテールライトが隠れたり、ジャマになったりしないようにしてください。ストレージコンパートメントのラッチが閉じられていることを常に確認してください。荷物を積載するために取り外し可能なコンパートメントカバーを取り外す場合、荷物がしっかりと固定され、小さな荷物が“飛び”ことがないように確認してください。コンパートメントカバーを固定します。

この車両は、運転者と同乗者1人専用で設計されました。同乗者は指示された同乗者席に必ず座り、常にグラブハンドルをつかんでください。同乗者席をBRPが推奨する1つ以外に取り付けしないでください。同乗者を乗せるために、ラックやその位置を使用しないでください。同乗者を2人以上乗せると、車両の安定性やコントロールに影響が出ることもあります。(リアシートの代わりに)ストレージボックスを取り付ける場合、車両は1人乗り車両となり(1-UPモデル)、同乗者は乗れません。

トレーラーのけん引(装備されている場合)

このATVをトレーラーとともに運転すると、特に斜面でひっくり返る可能性が著しく増加します。ATVの後部でトレーラーを使う場合は、トレーラーのヒッチがATVのヒッチと互換性があることを確認してください。トレーラーが車両とともに水平であることを確認します。(ATVのヒッチに特殊なエクステンションを取り付けなければならない場合があります)。トレーラーをATVに固定するには、セキュリティエーンを使用してください。このATVは、重たい負荷をけん引している場合、特に傾斜面、そして同乗者が乗っているとき追加の停止距離が必要になる場合があります。スリップや横滑りを起こさないように注意してください。停車または駐車する場合、ATVとトレーラーのホイールをブロックして動かないようにしてください。トレーラーに積んだ荷物がバランスよく配分されていることを必ず確認してください。荷物を周りの人に倒れてくる可能性があります。速い速度で方向転換を行わないでください。低速ギアを使って、速度を十分に落としてください。

ATVを使った作業

このATVは、除雪、木材のけん引、または荷物の運搬などさまざまな軽作業を支援することができます。Can-Am正規ディーラーから種々のアクセサリを購入することができます。ただし、車両の許容荷重と容量を必ず守ってください。ATVが過負荷になると、部品に過大な応力がかかり、故障を起こす可能性があります。ケガをしないように、アクセサリに付属の手順書や警告に従うことも重要です。重い荷物を持ち上げたり、引っ張ったり、ATVを縦したりする時に、体を痛めないようにしてください。(以下のリクリエーション運転を引き続きお読みください)。

レクリエーション運転

ほかの人の権利や制限を尊重しましょう。他の種類のオフロード用途に指定されている地域には近づかないでください。これには、スノーモービルコース、乗馬コース、クロスカントリースキークース、マウンテンバイクコースなどがあります。コースにほかのユーザーがいないと考えてはいけません。必ずコースの右側を走行し、コースの片側からもう一方の側へジグザグ走らしてはいけません。コースの別の使用者が前方に現われた場合は、停止したり、端に寄せる準備をしてください。

最寄りのATVクラブに入会しましょう。ATVクラブは、地図やアドバイスを提供したり、走行できる場所を知らせてくれます。住んでいる地域にクラブがない場合は、会の発足を支援しましょう。グループによる運転やクラブの活動は、楽しい、社会的な体験を提供してくれます。

他のライダーとの安全な距離を必ず保ってください。速度、地形条件、天候、車両の機械的条件の判断および周りの他のライダーの“判断に対する信頼”は、適切な安全走行間隔をうまく選択するのに役立ちます。このATVは、他の原動機付き車両と同様に“すぐには”止まりません。同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出ることもあります。同乗者を乗せる際には、安全に留意して速度を落としてください。また、制動距離がいつもより長くなることに注意してください。

運転の前に、走行する予定の場所と予定帰着時間を誰かに伝えてください。ATVを運転する前、または運転中に、アルコールや薬物を服用しないでください。

運転の距離に応じて、追加のツールや非常用の機器を携帯してください。補給用のガソリンやオイルを入手できる場所を見つけておいてください。発生する可能性のある条件に対して準備をしてください。応急処置用品を必ず用意してください。

環境

このATVの利点の1つは、ほとんどの地域社会の踏みならされた道を外れて走行できることにあります。ただし、自然や自然に親しんでいる他の人の権利を必ず尊重する必要があります。環境に敏感な地域で走行してはいけません。ATVで森の作物や低木を踏み付けて走行したり、木を折ったり、フェンスを壊してはいけなければならず、ホイールをスピンスさせたり、地形を破壊してはいけません。“環境にやさしく運転しましょう”。

多くの地域では、野生生物を追いかけるのは違法です。野生生物は、原動機付きの車両で追いかけられると疲れて死んでしまう可能性があります。コース上で動物に遭遇した場合は、停車し、静かに注意して見守ってください。この経験は、人生の貴重な思い出の1つになることでしょう。

規則を守りましょう「持ってきた物は持ち帰ってください」。ごみを捨ててはいけません。許可されていない限り、キャンプファイアをしてはいけません。許可されている場合のみ、乾燥した場所から離れて行ってください。コース上であなたが起こした危険により、その日以降であっても、他の人やあなた自身がケガする可能性があります。

農地は尊重しなければなりません。個人の土地を走行する前に、土地の所有者の許可を必ず得てください。農作物、家畜、土地の境界線を尊重してください。閉じられたゲートがあった場合は、通過した後に再び自分自身で閉じてください。

最後に、小川、湖、川を汚してはいけません。エンジンやマフラーシステムを改造したり、車両の部品を取り外してはいけません。

設計の限界

このATVは、そのクラスの中でも並外れて丈夫ですが、定義によってライトビークルに分類されており、ATVの運転は正しい目的に制限されなければなりません。

車両の何らかの部分に重量を追加すると、重力的安定性が変わり、性能が変化します。

オフロード運転

オフロード運転の本質は危険です。車両が走行するよう特に用意されていない地形は、傾斜度、地形の内容、正確な勾配を予測できない特有の危険があります。地形自体は、絶えることのない危険要素を備えています。地形の上を走行する人は誰でもこのことを意識して受け入れなければなりません。

ATVをオフロードで操作する運転者は、最も安全な経路の選択とその先の地形を注視することに最大限の注意を払う必要があります。どのようなことがあっても、ATVに適用可能な運転手順に完全に慣れていない人がATVを運転してはいけなければならず、急勾配の地形や不安定な地形で運転してはいけません。

一般的な操作と安全に関する注意事項

配慮、注意、経験、運転技能は車両運転の危険に対する最善の予防になります。

障害物や地形の特定の部分を乗り越えられるかどうか少しでも疑わしい場合は、必ず別な経路を選択してください。

オフロード運転では、速度ではなく、パワーと接地力が重要です。視認性や許される安全な経路を選択するあなた自身の能力以上に速く運転してはいけません。

勾配や、岩または切り株などの障害物の急な変化がないか、その先の地形をつねに監視します。これらの障害物により、安定性が失われ、ひっくり返ったり、横転したりする原因になることがあります。

同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出ることもあります。同乗者を乗せる際には、安全に留意して速度を落としてください。また、制動距離がいつもより長くなることに注意してください。

コントロール類が正常に機能しない場合は、ATVを運転してはいけません。

後退している時は、後方の経路に人や障害物がないことを確認してください。ゆっくりと進み、急に方向転換をしないでください。同乗者が運転者の視界を妨げる可能性があることを考慮に入れてください。必要なら、降車させてください。

停車または駐車する場合は、必ずパーキングブレーキを掛けてください。斜面で駐車する時は、パーキングブレーキを掛けることが特に重要です。勾配の急な斜面や荷物を積んでいる場合は、ホイールを岩やレンガでブロックする必要があります。燃料バルブを閉の位置にすることを忘れないでください。

上り坂の運転

ATVは、上り坂ではその構成により、すぐれた登坂性能を発揮します。したがって、接地力を失う前にひっくり返る可能性があります。例えば、坂の上側で勾配が極めて急に立ち上がった位置まで坂の上側が侵食されている地形状況に遭遇することがよくあります。このATVは、そのような条件を乗り越えることができますが、乗り越える時、車両のフロント側がその位置をさしかかると、車両のバランスが変化し、後方にひっくり返る可能性があります。

同じ状況は、地面に埋められている物体により車両のフロント部が必要以上に上がった場合にも当てはまります。このような場合は、別な経路を選択してください。斜面を横断するのは危険なことに注意してください。

坂や土手の反対側の地形条件を理解することも必要です。このような場所には、乗り越えたり、下ったりできない急な斜面が存在することがよくあります。

下り坂の運転

このATVは、安全に下ることが出来る以上に急勾配の斜面を登ることができません。このため、斜面を登る前に下りの安全な経路が存在することを確認することが極めて重要です。

滑りやすい下り坂を通り抜けている時に減速すると、ATVが滑り落ちる可能性があります。一定速度を維持するか、少し加速したりして、コントロールを回復させてください。

坂の横断

可能な限り、坂での横断は避けなければなりません。万が一必要な場合は、十分すぎるほどの注意を払ってください。この操作を行う前に、同乗者を降車させてください。急な斜面を横断すると、横転につながる可能性があります。加えて、滑りやすい面や不安定な面では、横滑りをコントロールできなくなる可能性があります。下り坂でATVを滑らせて方向転換させてはいけません。ATVの片側が反対側よりも持ち上がりやすくなって、横転につながるような障害物やくぼみは必ず避けてください。

がけ

このATVは、フロントまたはリアホイールががけにさしかかると、底が地面について通常は停止します。がけが急な場合や深い場合、ATVは落ちてひっくり返ります。



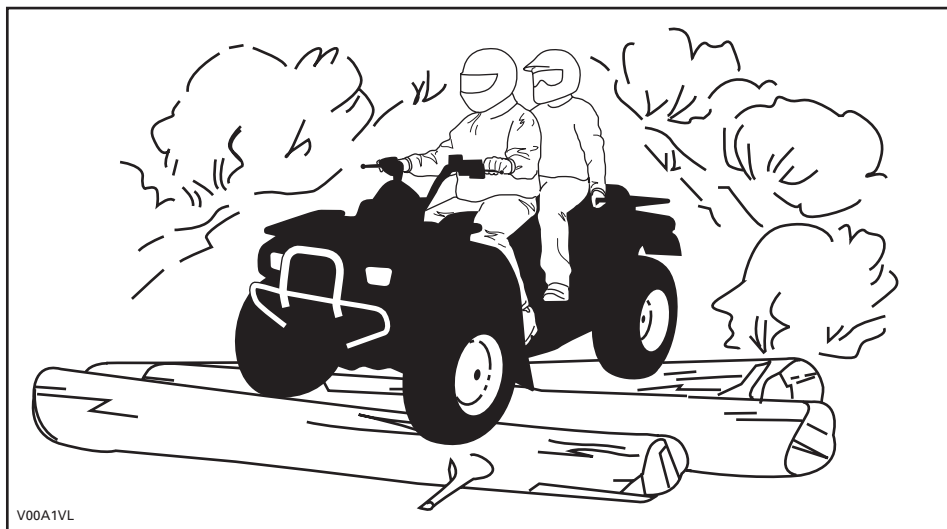
がけを通り抜けようとしてはいけません。後退して、別の経路を選択してください。

運転テクニック

条件に合わない速度で運転をすると、ケガにつながる可能性があります。安全に走行できる程度にスロットルレバーを操作してください。通常、統計によると、高速での方向転換で事故やケガが発生しています。このATVは重いことをつねに覚えておいてください。ATVが倒れて運転者がはさまると、ATVの重量だけで運転者は動けなくなってしまいます。

このATVはジャンプできるように設計されていないばかりでなく、ATVや運転者はジャンプなどの大きな衝撃のエネルギーを緩和することはできません。「ウィリー」を行うと、ATVが運転者にひっくり返ってくる可能性があります。あなたにとっても、また同乗者にとってもジャンプやウィリーは極めて危険であり、このような運転は避けなければなりません。

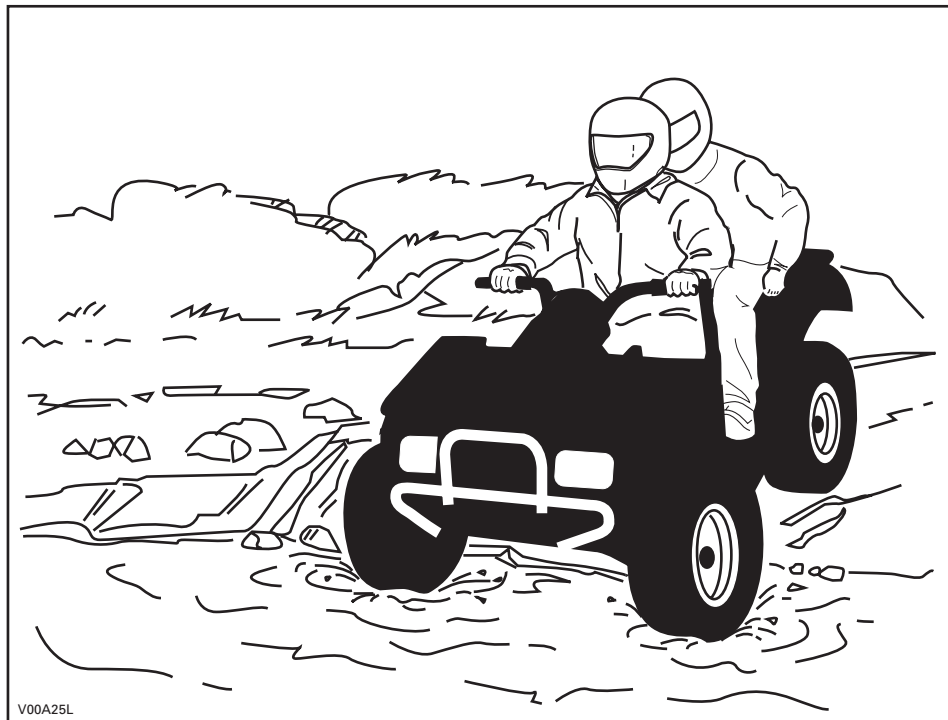
正しいコントロールを維持するために、ハンドルバーに手を掛けていて、すべてのコントロール類に簡単に手が届くようにしておくことを強く推奨します。同じことは足にも当てはまります。脚部や足がケガをする可能性を最小限度に抑えるために、足をフットレストの上につねに置いてください。つま先を外側に向けてはいけないうばかりでなく、方向転換しやすいように足を外側に置いたりしてはいけません。障害物を通過する時に足が当たったり、ひっかかったりしたり、ホイールに接触したりする可能性があります。同乗者は手をグラブハンドルから離さず、足をフットレストの上につねに置いてください。



このATVには、適切なサスペンションシステムが装着されていますが、「洗濯板」状の地形や荒地条件では、乗り心地が悪く感じたり、背中を痛めたりします。身をかがめた姿勢や運転が必要になることが多くあります。速度を落とし、曲げた脚部で衝撃を緩和するようにしてください。

このATVは一般道路または高速道路で運転するよう設計されていません。(多くの地域では違法行為です)。ATVを一般道路または高速道路で運転するならば、他の車両と衝突する可能性があります。このATVのタイヤは舗装面の使用には適していません。舗装は車両のハンドリングとコントロールに重大な影響を及ぼすおそれがあります。一般道路や軟路肩を走行するならば、特にライトを点灯している場合は他の車両運転者を混乱させるおそれがあります。道路を横断する必要がある場合は、先頭の運転者が車両から降りて、確認し、他の運転者に指示を与える必要があります。最後の運転者は横断した後、先頭の運転者が横断するのを支援します。歩道を走行してはいけません。歩道は歩行者用に設計されています。

水には独特の危険があります。水深が深すぎると、ATVが「浮いたり」、倒れる可能性があります。水深のあるところや流れのある川を横断する前に、水深と流れを確認してください。フットレストよりも上に水がきずてはいけません。水の中や浅瀬では、岩、草、丸太などの滑りやすい面に注意してください。接地力が失われる可能性があります。速い速度で水に入らないでください。水がブレーキのように作用して、運転者が投げ出されるおそれがあります。



V00A25L

水はATVのブレーキ能力に影響を及ぼします。ATVが水から出たら、ブレーキを数回掛けてブレーキを乾かすようにしてください。同乗者を乗せると、車両の制動距離に影響が出ることもあります。同乗者を乗せる際には、安全に留意して速度を落としてください。また、制動距離がいつもより長くなることに注意してください。

水辺では、ぬかるみや湿地がある場合があります。突然「穴」や深さの変化に注意してください。植物で部分的に隠れた岩や丸太などの危険に注意することも大切です。

凍結した河川を横断する場合は、氷が運転者、同乗者、ATV、および荷物の合計重量を支持できるだけの十分な厚みと強度を備えていることを確認してください。氷が割れて水面が見える場合は、氷の厚みが変化している印です。運転者には、同乗者の安全に対する責任があります。疑わしい場合は、横断しないようにしてください。

氷はATVのコントロールにも影響を及ぼします。速度を落とし、スロットルを急に開けてはいけません。スロットルを急に開けると、タイヤがスピンし、ATVがひっくり返る可能性があります。急ブレーキは避けてください。急ブレーキでも、コントロールできない滑りが生じたり、車両がひっくり返る。また同乗者が転落する可能性があります。雪解ける場所は、ATVの操作やコントロールを妨げる可能性があるため、必ず避ける必要があります。同乗者を乗せてこの操縦を試みないでください。同乗者を乗せると、車両のハンドリングと安定性に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

砂地や砂丘または雪の上は別な独特の経験ですが、守らなければならない基本的な注意事項がいくつかあります。湿った、深いまたは細かい砂や雪によってATVの接地力が失われ、滑ったり、はまり込んだり、立ち往生する可能性があります。このような現象が起こった場合は、安定した地盤を探してください。ここでも、速度を落とし、条件に十分注意することをお奨めします。同乗者を乗せて走行するとき、ゆっくり走行してください。

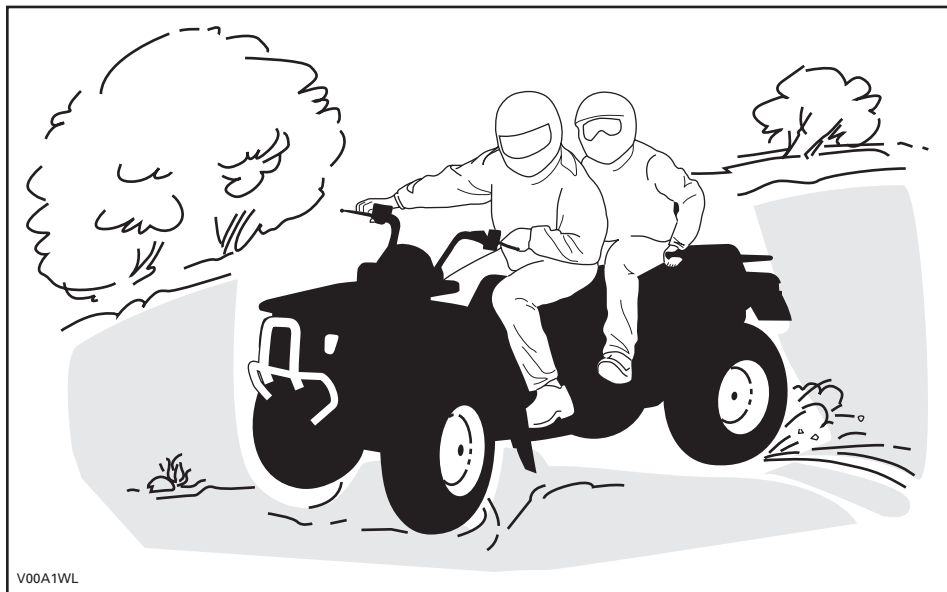
砂丘で運転する時は、アンテナ型のセーフティフラグを装着することをお奨めします。セーフティフラグを装着すると、次の砂丘を越える他の人から目で確認しやすくなります。前方にセーフティフラグが見える場合は、慎重に進んでください。アンテナ型のセーフティフラグは引っかかった場合、体障のじゃまになったり、跳ね返る可能性があるため、低く垂れ下がった枝や障害物がある場合は使用してはいけません。同乗者を乗せると、車両のハンドリングと安定性に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

浮石や浮いた小石の上を運転するのは、氷の上を運転するのとはよく似ています。このような条件はATVのステアリングに影響を及ぼし、特に速い速度では滑ったり、同乗者が転落したり、ひっくりかえったりする可能性があります。加えて、制動距離に影響があります。スロットルを急に開けたり、滑りが発生すると、浮石が後方に飛び、別のライダーの行く手に飛び込んだりします。決してこのような行為をしてはいけません。同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。



V00A1WL

滑りや横滑りが発生した場合は、コントロールが回復するまでハンドルバーを横滑りの方向に向けることが適切です。無理にブレーキを掛けてホイールをロックさせてはいけません。

コースに掲げられているすべてのサインを遵守してください。これらのサインは、すべての人の役に立つように取り付けられています。

「コース」の障害物は慎重に越える必要があります。障害物には、浮石、倒木、滑りやすい面、フェンス、ポスト、土手、くぼみなどがあります。可能な限り、これらの障害物は避ける必要があります。一部の障害物は乗り越えるには大きすぎたり、危険すぎたりして、避けなければならないことを忘れてください。運転者には同乗者の安全に関して責任があります。安全を確認できない場合、障害物に取り組む前に降車させてください。小さい岩や倒木は安全に乗り越えられる可能性があります。これらの障害物には、90度の角度で接近してください。ひざを曲げてフットレスト上に立ちます。勢いを失わずに速度を調整し、スロットルを急に開けてはいけません。ハンドグリップをしっかりと保持します。運転者と同乗者の体を後ろ側の位置に移動して進んでください。フロントホイールを地上から持ち上げようとしてはいけません。障害物が滑りやすくないか、横断中に動いたりしないか注意してください。

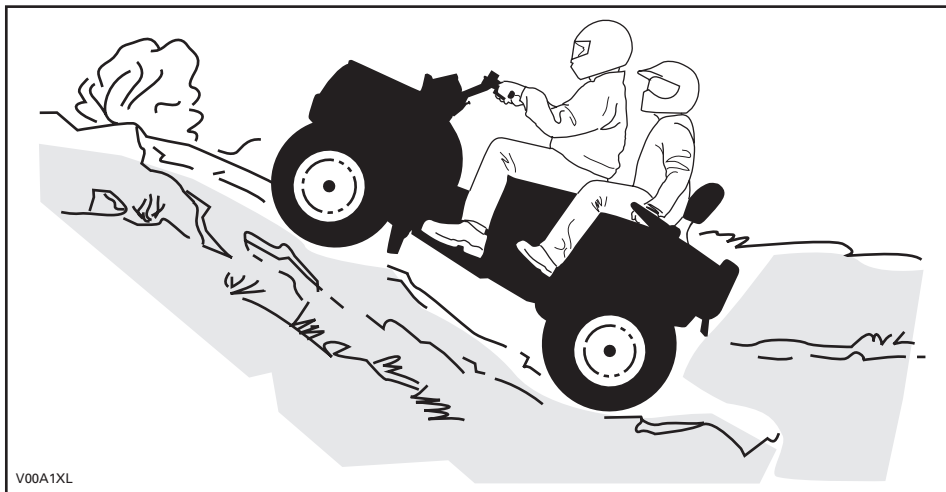
坂や斜面を運転する時は、滑りやすい面や地形の変動および障害物に対する準備をすることと、正しい位置に体を移動することの2点が極めて重要です。運転者には同乗者の安全に関して責任があります。安全を確認できない場合、障害物に取り組み前に降車させてください。

上り坂

運転者には同乗者の安全に対する責任があることを忘れないでください。安全を確認できない場合、登坂前に降車させてください。同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

同乗者を乗せたままにすると決めた場合、同乗者は運転者と同じように行動する必要があります。

運転者と同乗者は体重移動を利用して、重心を坂の頂上側に移します。足をフットレストの上置き、シフトを加速します。坂を登る時に必要に応じてすばやくギアを変えます。速度を速くしてはいけません。速度が速すぎると、ATVのフロント地面から持ち上がり、ひっくりかえって運転者に覆い被さる可能性があります。坂が急な場合に、進むことができなくなったり、後方に下がりはじめた場合は、滑らないように注意しながらブレーキを掛けてください。まず同乗者をATVから降車させて、「U」ターンまたは「K」ターンしてください（後方にゆっくり下がりながら、車両の坂の上側に立ち、ブレーキレバーに手をかけて、ゆっくりと車両のリア側を坂の上側に向けてから、下り坂を運転して下ります）。車両と回転しているホイールから離れて、必ず斜面の上側を歩くか、斜面の上側に降車してください。ATVが倒れそうになったら、支えようとしてください。ATVから離れてください。速い速度で坂の頂上を越えないでください。険しいがけなどの障害物がある可能性があります。ATVが安全な場所に戻ってから、同乗者を乗せます。



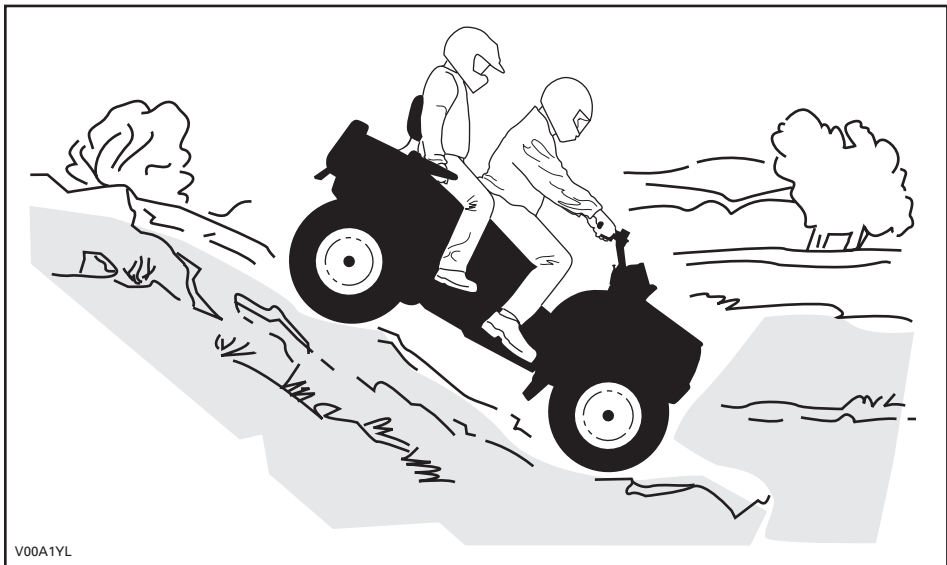
V00A1XL

下り坂

運転者には同乗者の安全に対する責任があることを忘れないでください。安全を確認できない場合、斜面を下りる前に降車させてください。同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

同乗者を乗せたままにすると決めた場合、同乗者は運転者と同じように行動する必要があります。

運転者と同乗者は、重心を後ろ側に維持します。横滑りしないようにブレーキは少しずつ掛けます。エンジブレーキだけやニュートラルギアを使って斜面を「惰性」で下ってはいけません。

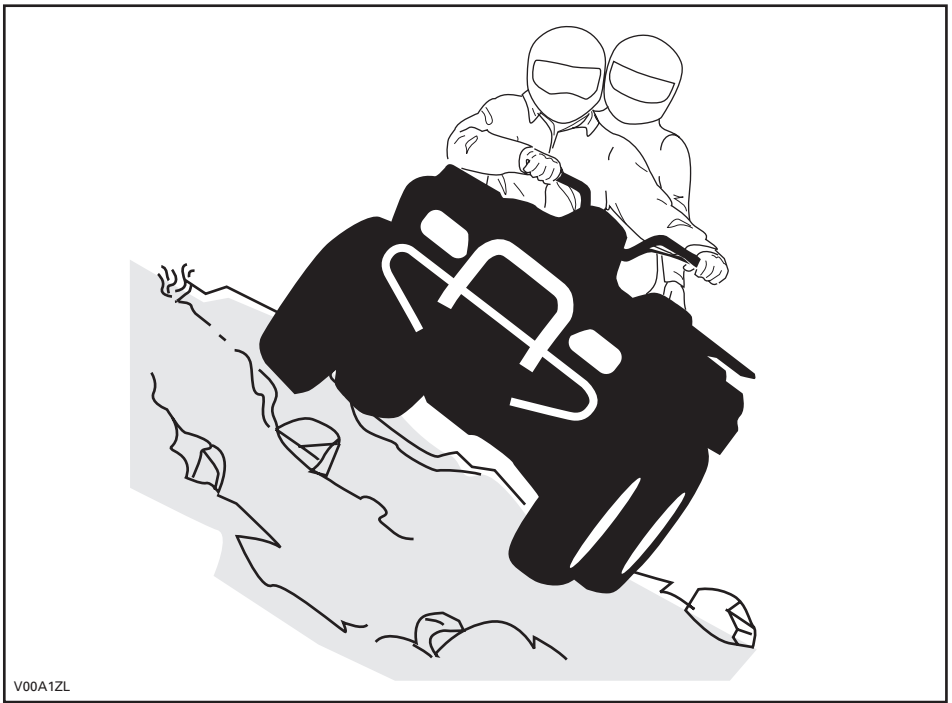


坂の横断

運転者には同乗者の安全に対する責任があることを忘れないでください。安全を確認できない場合、進行前に降車させてください。同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出る可能性があることを忘れないでください。

同乗者を乗せたままにすると決めた場合、同乗者は運転者と同じように行動する必要があります。

ATVのバランスが急に变化する可能性があるため、坂の横断は最も危険な運転の種類の一つです。可能な限り、この運転は避けなければなりません。ただし、万が一必要な場合は、体重移動を利用して、重心を斜面の上側に移すことが重要です。また、ATVがひっくり返りそうになったら、斜面の上側に降りる準備をしておくことが重要です。車両を停止しようとしたり、損傷から守ろうとしないでください。



V00A1ZL

定期メンテナンス

運転を終えたら、ATVに付いた雪、氷、泥、汚れを除去することをお奨めします。ATVの寿命が延びて、売る時の条件がよくなるばかりでなく、次回ATVを運転する時の危険性が少なくなります。温かい石鹸水でATVを洗車し、放置して乾燥させてください。（タオルが役に立ちます）。凍るような天候の時に、屋外で車両を洗車してはいけません。メンテナンスの項で説明されているように、適切に潤滑を行ってください。

安全に対する責任の一部には、『オペレーター・ガイド』の内容を遵守することも含まれます。『オペレーター・ガイド』には、ATVのお手入れの方法についての貴重なアドバイスが記載されています。さらに支援が必要な場合は、Can-Am正規ディーラーがいつでもお手伝いいたします。

速度や性能の向上を図るために車両を改造するなら、車両限定保証の契約条項に違反するおそれがあります。また、エンジンやエキゾーストコンポーネントの取り外しを含む一部の改造はたいていの法律では違法行為とみなされます。

ホイールやタイヤのサイズを変更すると、車両の安定性に影響を及ぼす可能性があります。タイヤの空気圧が間違っていると、タイヤが破裂したり、リムの周りでタイヤが動いてなくなったり、損傷したりする可能性があります。ホイールやタイヤが損傷した場合は、必ず交換してください。

同乗者を乗せると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響が出ることもあります。同乗者を乗せる際には、安全に留意して速度を落としてください。また、制動距離がいつもより長くなることに注意してください。

運転者には、同乗者の安全に対する責任があります。安全を確認できない場合、操縦前に降車させてください。常識を働かせましょう！

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください



指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

タッグ

このATVには、タッグとラベルが付いており、安全上の重要な事項が記載されています。

このATVを運転する人は、運転の前に必ずタッグおよびラベルの内容をよく読んでください。

2-UP モデル

16才未満は運転できません
才未満は同乗できません

2人以上の同乗者を乗せないで
ください

このATVはオフロード専用です。

BOMBARDIER 2-UP ATV 安全トレーニングは必須です。

『セーフティビデオカセット』を必ず見てください。運転前に、『オペレータ・ガイド』およびこの車両に貼付されているすべての警告ラベルを読んで、理解します。

ディーラーと相談して、ATV 走行に関連する法令の詳細を学んでください。

販売前にこの品質表示票を取り外さないでください。

V00M0BL

警告

ATV を不適切に使用すると、重大なケガや死亡事故につながるおそれがあります。



運転者と同乗者は認定されたシートベルト用ヘルメットと保護具をつねに着用してください。

公道で使用しては2人以上の同乗者を乗せないでください。

薬物やアルコールを服用して運転しないでください。

次のような運転をしてはなりません：

- 適切な 2-UP ATV トレーニングや指導を受けずに運転する。
- 運転者の能力や条件に対して速すぎる速度で運転する。
- 公道で運転する一他の車両と衝突する可能性があります。

は、次の事柄を必ず遵守してください

- 正しい運転技術を使用して、坂や荒地および方向転換での車両の横転を防止してください。
- 舗装面を避けてください。舗装は操縦性とコントロールに重大な影響を及ぼす可能性があります。
- 同乗者を乗せるときは、常に減速して、特に注意を払います。状況によっては同乗者を降車させます。
- 同乗者がこのラベルおよび同乗者の安全に関するラベルを読んで、理解したことを確かめます。

『オペレータ・ガイド』をよくお読みください。
すべての注意事項と警告に従ってください。

販売前にこの品質表示票を取り外さないでください。 704900906

米国とカナダのみ

ATV のエンジンに関する説明:

XXXXXX

EPA 認定

NER (正規化排出率) = $\frac{X}{A}$

A は 0 から 10 の間で表示され、0 が最も清浄です

* 販売前に剥がさないでください



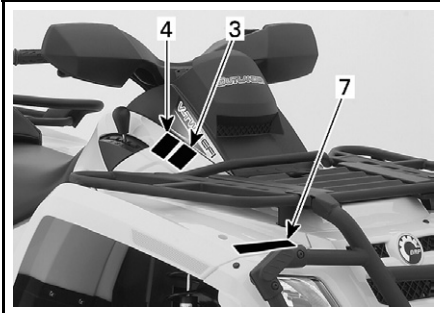
704901107

vmo2006-005-009_en

車体貼付ラベル

あなたの ATV には、以下に示すラベルが剥がれにくい場所に貼付されています。ラベルが剥がれたり読めなくなったりした場合は、新しいラベルに交換してください。最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

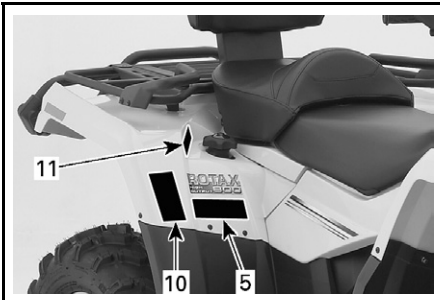
注記: この『オペレーター・ガイド』で使用されているイラストは ATV の代表例です。お手元のモデルとは異なっている可能性があります。



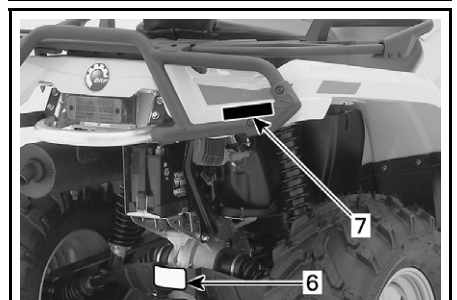
vmo2007-003-002_a



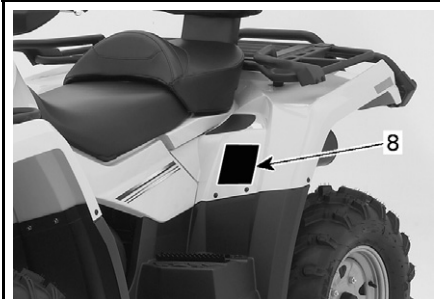
vmo2007-003-005_a



vmo2007-003-003_a



vmo2007-003-006_a



vmo2007-003-004_a




vmo2007-003-007_a


ラベル 1

警告


ATVを不適切に使用すると、重大なケガや死亡事故につながるおそれがあります。




運転者と同乗者は認定されたモーターサイクル用ヘルメットと保護具をつねに着用してください。



公道で使用してはいけません。



2人以上の同乗者を乗せてはいけません。



薬物やアルコールを服用して運転しないでください。

次のような運転をしてはなりません：

- 適切な 2-UP ATV トレーニングや指導を受けずに運転する。
- 運転者の能力や条件に対して速すぎる速度で運転する。
- 公道で運転する一他の車両と衝突する可能性があります。

は、次の事柄を必ず遵守してください

- 正しい運転技術を使用して、坂や荒地および方向転換での車両の横転を防止してください。
- 舗装面を避けてください。舗装は機械性とコントロールに重大な影響を及ぼす可能性があります。
- 同乗者を乗せるときは、常に減速して、特に注意を払います。状況によっては同乗者を降車させます。
- 同乗者がこのラベルおよび同乗者の安全に関するラベルを読んで、理解したことを確かめます。

『オペレータ・ガイド』をよくお読みください。
すべての注意事項と警告に従ってください。

70490004

V00M0CY

ラベル 2

警告



16歳未満の運転者

16歳に満たない子供がATVを運転すると、重大なケガや死亡事故につながる可能性が高くなります。

16歳未満の子供はこのATVを運転してはなりません。

2人以上の同乗者を乗せないでください。

704 900 515

V01M0RY

ラベル 3

注意

- シフトレバーを動かす前に **ATV** を停車しなければなりません。
- (N)** **(P)** およびニュートラル **(P)** 位置からシフトする前に、必ずフットブレーキを掛けてください。

704 900 470

V07M06Y

ラベル 4

注意

4WD スイッチを切り替えるには、**ATV** を停車しておかなければなりません。

走行中にスイッチを切り替えると、機械的損傷が発生する可能性があります。


704 900 471

V07M07Y


ラベル 5

警告


重傷事故や死亡事故の危険を減らすために同乗者の安全を図ってください



12歳未満は同乗できません



2人以上の同乗者を乗せないでください



薬物やアルコールを服用して運転しないでください

荷足をフットレストにしっかりと置いて、ハンドレールから手を離さないようにできない、小さな同乗者を決して乗せないでください。


同乗者は、次の事柄を必ず遵守してください：

- 認定されたモーターサイクル用ヘルメットを保護具をつねに着用してください。
- ハンドレールから手を離さないようにして、荷足をフットレストにしっかりと置いてください。
- 平地に居た場合は、運転前に減速または停止するよう伝えてください。状況によっては降車してください。

704 901 115

vmo2006-008-003_aen

ラベル 6

 **警告**

トレーラーの不適切な負荷により、車両のコントロールが失われ、重大なケガや死亡事故につながるおそれがあります。


- 最大牽引重量: xxx lb (xxx kg).
- 最大トング重量: xx lb (xx kg).

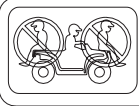
704900766

vmo2006-016-008_en

ラベル 7

米国およびカナダモデル

 **警告**




- このキャリア絶対に同乗者を乗せないでください
- 最大フロント荷重: X lb (X kg) 均等に配分します。
- 最大リア荷重: X lb (X kg) 均等に配分します。
- (適用される場合、トレーラーリングの重量を含みます)

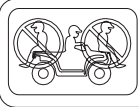
704 001 009

vmo2006-005-010_en

フロントおよびリアフェンダ

国際モデル

 **警告**




- このキャリア絶対に同乗者を乗せないでください
- 最大フロント荷重: X lb (X kg) 均等に配分します。
- 最大リア荷重: X lb (X kg) 均等に配分します。
- (適用される場合、トレーラーリングの重量を含みます)

704 001 009

vmo2006-005-010_en

フロントフェンダのみ

ラベル 8

 **警告**

不適切なタイヤ空気圧または過負荷により、車両のコントロールが失われ、重大なケガや死亡事故につながるおそれがあります。

荷重	冷間タイヤ空気圧
最大 XXX kg (XXX lb)	フロント 最大値: XX.X kPa (X.X psi) 最小値: XX.X kPa (X.X psi)
	リア 最大値: XX.X kPa (X.X psi) 最小値: XX.X kPa (X.X psi)

表に示されている適切なタイヤ空気圧を維持してください。荷物を運搬するときは、空気圧を最大にしてください。タイヤの空気圧を最小値以下に設定してはなりません。タイヤがリムから外れる可能性があります。運転者、荷物、アクセサリ、およびトレーラーリングの重量が車両積載能力の XXXX kg (XXXX lb) を超えてはなりません。

ATV の積載荷重とトレーラーの牽引

- 荷物の積載やトレーラーの牽引は車両のハンドリングおよび安定性に影響を与える可能性があります。荷物はラック上に正しく取り付けます。
- 荷物の積載や同乗者の搭載またはトレーラーの牽引時は、次の点に注意してください:
 - 速度を下げます。
 - より長い制動距離を確保してください。
 - 荒や荒地での運転を避けてください。


704901120

vmo2006-008-004_aen

ラベル 9

EMISSION CONTROL INFORMATION

THIS VEHICLE IS CERTIFIED TO OPERATE ON UNLEADED GASOLINE AND MEETS TO [XXXX] U.S., EPA AND CALIFORNIA REGULATIONS FOR ATV SI ENGINES.



ENGINE FAMILY	XXXXXX,XXXXXX	エンジンファミリ
CERTIFICATION STANDARD (FEL)	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	認証基準 (FEL)
ENGINE DISPLACEMENT	XXXXXXXXXX	エンジン排気量
EXHAUST EMISSION CONTROL SYSTEM	XXXX	排気物質制御システム

排気ガス規制に関する情報
この船舶は無鉛ガソリンでの作動が認められており、海上SIエンジンのための [XXXX] U.S. EPA およびカリフォルニア州排出規制に準拠しています。

SEE OPERATOR'S GUIDE FOR MAINTENANCE SPECIFICATIONS
メンテナンス仕様の詳細については、「オペレータガイド」を参照してください


BOMBARDIER RECREATIONAL PRODUCTS INC.

vmo2007-002-002

場所はシート下、フレームのアンバーの上です。

国際モデルのみ

ラベル 10



DA FND OG LES BRUGERVEJLEDNINGEN. OVERHOLD ALLE INSTRUKTIONER OG ADVARSLER.

NL ZOEK DE GEBRUIKERSHANDLEIDING OP EN LEES HEM. HOUD U AAN ALLE AANWIJZINGEN EN WAARSCHUWINGEN.

FR LOCALISER ET LIRE LE GUIDE DE L'OPERATEUR. SUIVRE TOUTS LES CONSIGNES ET AVERTISSEMENTS.

FI PAIKANNA JA LUE KÄYTTÄJÄN OPAS. NOUDATA KAIKKIA KÄYTTÖOHJEITA JA VAROITUKSIA.

DE BETRIEBSANLEITUNG AUSFINDIG MACHEN UND LESEN. ALLE ANWEISUNGEN UND WARNHINWEISE BEFOLGEN.



EL ΒΡΕΨΤΕ ΚΑΙ ΔΙΑΒΑΣΤΕ ΤΟΝ ΟΔΗΓΟ ΧΕΡΕΣΤΗ, ΑΚΟΛΟΥΘΗΣΤΕ ΟΛΕΣ ΤΙΣ ΟΔΗΓΙΕΣ ΚΑΙ ΠΡΟΕΙΔΟΓΜΗΧΕΙΕΣ.

IT LEGGERE IL MANUALE DELL'OPERATORE. SEGUIRE TUTTE LE ISTRUZIONI E AVVERTENZE.

PT LOCALIZAR E LER O GUIA DE OPERAÇÃO. OBSERVAR TODAS AS INSTRUÇÕES E MENSAGENS DE AVISO.

ES UBICAR Y LEER LA GUÍA DEL OPERADOR. ATENVERSE A TODAS LAS INSTRUCCIONES Y MENSAJES DE ADVERTENCIA.


SV TA REDA PÅ INSTRUKTIONSBOKEN OCH LAS DEN. UPPMÄRKSAMMA ALLA ANVISNINGAR OCH VARNINGAR.




704 901 177

vmo2006-014-003_a

ラベル 11



**警告**

• このキャリア絶対に同乗者を乗せないでください。
• 最大フロント荷重: X kg (X kg) 均一に配分します。
• 最大リア荷重: X kg (X kg) 均一に配分します。
(適用される場合、トレーラートングの重量を含みます)

704 901 080

リアフェンダのみ

ATV についての情報

あなたの ATV を識別する方法

ATV の主要な部品（エンジンおよびフレーム）は、すべての車両において異なる機番により識別されています。時として、この番号の確認が必要になることがあります。例えば、保証の適用、あるいは盗難に遭って捜索の必要が生じた場合などです。要を履行する際にこの番号を必要とします。どのような形であれ、エンジン登録番号（EIN）あるいは車両登録番号（VIN）が消されている場合、あるいは判読不能な状態にある場合は、BRP Inc. は保証を一切履行いたしません。あなたの ATV に付けられている機番をすべて記録し、保険会社に伝えておくことを強くお勧めいたします。

エンジン登録番号および車両登録番号の位置



vmo2006-011-001_a

代表的な例

1. EIN（エンジン登録番号）
2. VIN（車両登録番号）
3. モデル

コンプライアンスラベル

このラベルは、多くの国での ATV の適合性を示しています。

ラベルの場所	
Outlander MAX シリーズ	シート下、フレームのアップパーの上



米国とカナダ



他の国々

騒音制御装置規制

米国とカナダのみ

騒音防止装置の改造は禁止されています。

米国連邦法とカナダ州法は、次の行為または原因となる事柄を禁止することもあります：

1. 如何なる人であれ、最終購入者への販売か納入前あるいは使用中に、ノイズコントロールを目的として新しい車両に組み込まれた装置または設計の要素を、メンテナンス、修理または交換以外の目的で、取り外したり動作不能とすること。
2. 何者かによって装置や設計の要素を取り外したり、作動不能にした後に車両を使用すること。

次に示す行為が、改造とみなされる行為に含まれます：

1. マフラーやエンジン排気ガスを排出する他のエンジンコンポーネントの取り外し、改変、または穴開け。
2. 吸気システムの取り外し、改変、または穴開け。
3. 車両の可動部品そして排気または吸気システムの部品を、製造業者指定以外の部品と交換すること。
4. メンテナンスを適切に実施しないこと。

排出規制

米国のみ

カリフォルニア大気資源委員会 (CARB) は、あなたの車両が耐用年数中、使用説明に従って操縦、メンテナンスされるとき関連排気物質基準に適合することを要求します。

ノンコンプライアンスレッドラベル (グリーンラベルも) は、カリフォルニア車両登録中に毎年取得します。適切なラベルが車両登録番号 (8番目の文字、詳細はここで説明) に表示されます。

車両カテゴリー	VIN 8番目の文字
非適合 レッドラベル	C または 3 で表示
適合 グリーンラベル	C または 3 以外の全アルファベット文字

慣らし運転期間

エンジン

10 時間の馴らし運転が終了するまでは、フルスロットルで走行しないでください。

注意: 燃料とオイルを混合してはなりません。この ATV のエンジンは 4 ストロークです。オイル注入が必要なのはエンジンベースのみです。

馴らし期間中は、スロットル開度 3/4 以下で走行してください。しかしながら、瞬間的なフル加速や速度を変えながらの走行は、効果的な馴らし運転となります。継続的な高开度加速度、長時間に及ぶ巡航速度、エンジンの過熱などは、馴らし運転には逆効果になります。

ベルト

新しいベルトは、50 km (30 mi) の馴らし運転期間が必要です。馴らし運転期間中は、急な加速/減速、荷物の牽引、高速での定常走行を避けてください。

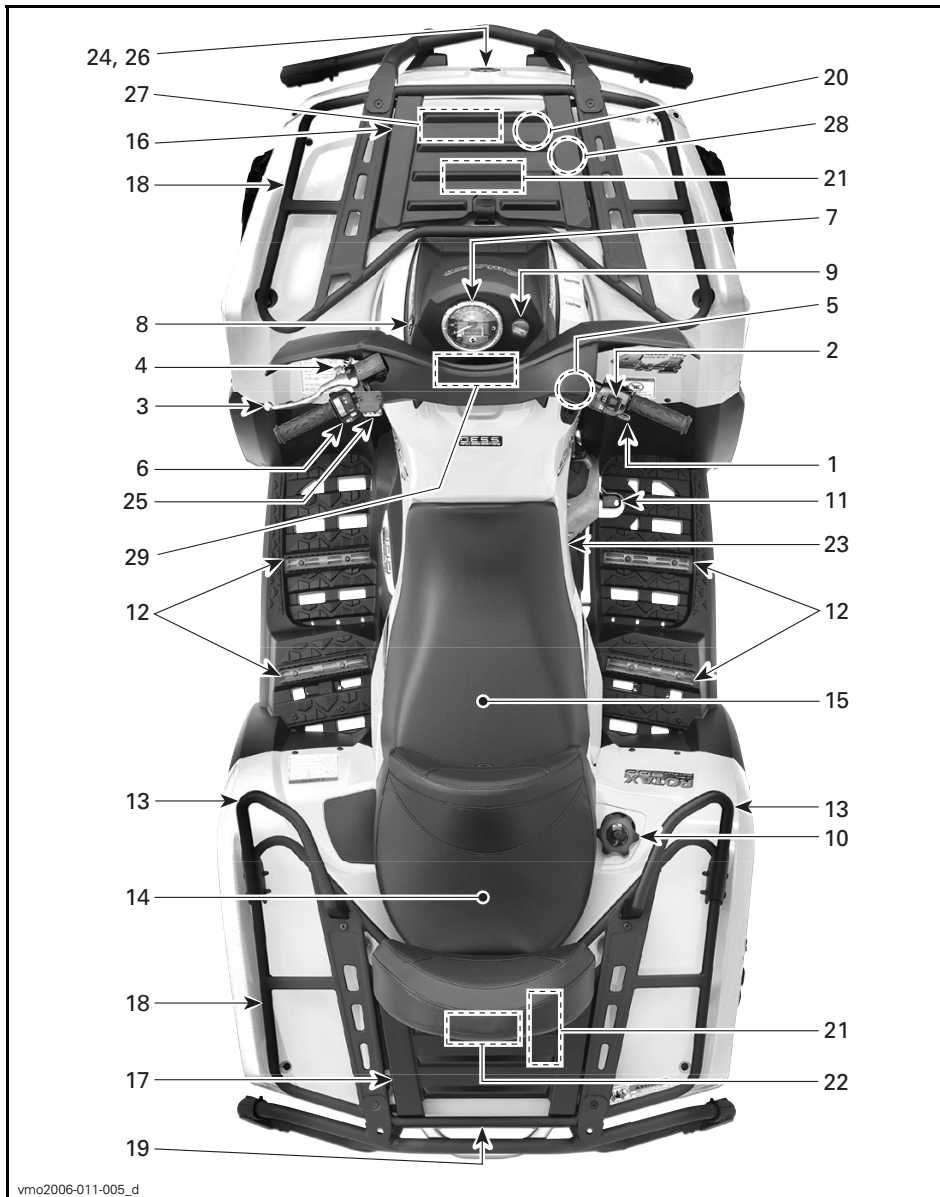
10 時間点検

注記: 10 時間点検の費用は、車両のオーナーの負担となります。

購入してから 10 時間、300 km (185 mi) または購入後 30 日の経過後のいずれか早い時点で、Can-Am 正規ディーラーに点検を依頼してください。この機会に、この ATV を使い始めてから生じた疑問点などをお尋ねください。

コントロール / 計器 / 備品

注記: 一部のコントロール / 計器 / 備品はオプションです。



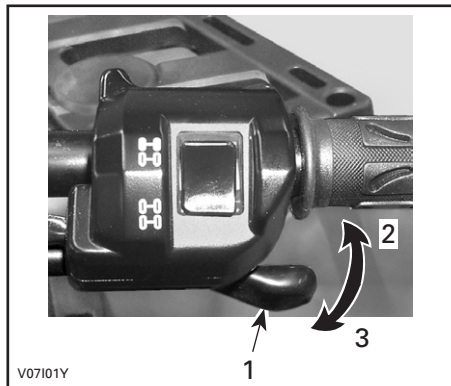
vmo2006-011-005_d

注記: この項では、あなたのATVの各種コントロールが持つ基本的機能を説明します。ある一つのコントロールを他のいくつかのコントロールと併用する場合の使用の詳細については、この『オペレーター・ガイド』に記載されている「操作の説明」のセクションを参照してください。

1) スロットルレバー

これを押しとエンジンスピードが上昇し、エンジンの回転が、選択されたギアのトランスミッションに伝達されます。

スロットルレバーを放すとエンジンスピードは自動的に下降してアイドルリング状態になり、車両は徐々にスピードダウンします。

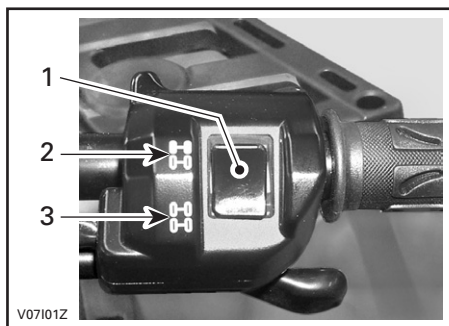


代表的な例

1. スロットルレバー
2. 加速時
3. 減速時

2) 2WD/4WD セレクター

このセレクターにより、2WDと4WDを選択します。



代表的な例

1. セレクター
2. 2WD 位置
3. 4WD 位置

3) ブレーキレバー

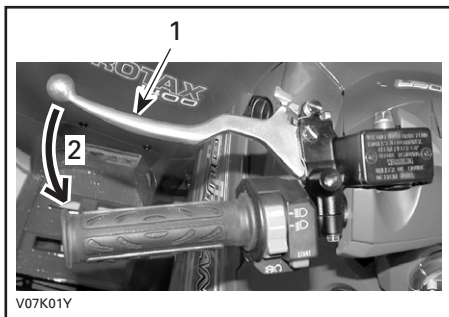
これを握ると、フロントブレーキとリアブレーキが掛かります。また、これを放すと自動的に元の位置に戻ります。ブレーキの効き具合はレバーを握る力に比例しており、地形のタイプあるいは状態によって異なります。

注記: 他のホイール付き車両と同様に、ブレーキ時は車両重量がフロントホイールに伝達されます。大きな停止効果を得るために、ブレーキシステムがフロントホイールにより大きなブレーキ力を配分します。強くブレーキを掛けると、これによりATVのハンドリングとステアリングコントロールが影響を受けます。ブレーキを掛けるときは、この点を考慮してください。

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。



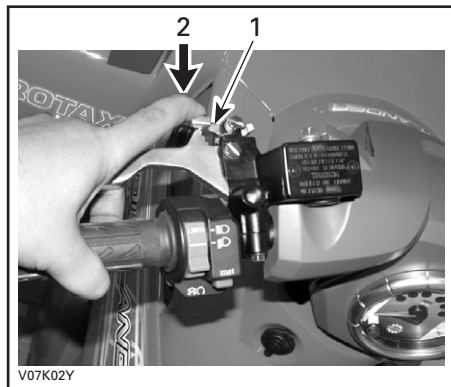
代表的な例

1. ブレーキレバー
2. ブレーキを掛けるとき

4) パーキングブレーキ

ロックを掛けると、ATVは動かなくなります。例えば、輸送中やKターンをするときやATVを運転しないときなど、ブレーキをロックする必要がある場合に役立ちます。

ブレーキ機構を効かせるには：ブレーキロックを動かしながら、ブレーキレバーを握ります。ブレーキレバーが圧縮され、すべてのブレーキが掛かります。



代表的な例

1. ブレーキレバーロック
2. パーキングブレーキを掛けるとき

警告

ATVを運転しない場合は、パーキングブレーキを使用し、トランスミッションレバーをPARK位置にシフトしてください。

警告

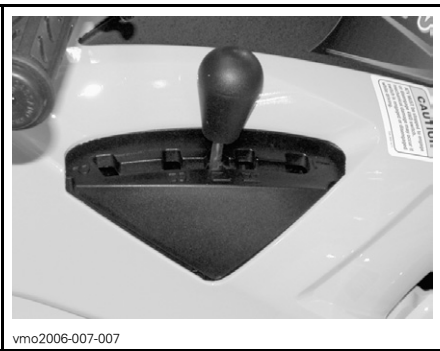
ATVを運転する前に、パーキングブレーキが完全に解除されていることを確認してください。ATVを運転するときに、レバーに継続して力がかかってブレーキがひきずられると、ブレーキシステムが損傷し、ブレーキ能力が失われるか、火災が発生する可能性があります。

ブレーキ機構を放すには：ブレーキレバーを握ります。レバーロックが自動的に元の位置に戻ります。ブレーキレバーが休止位置に戻ります。運転する前に必ずパーキングブレーキを解除してください。

5) トランスミッションレバー

5 ポジションレバー：P、R、N、H、L。

トランスミッションレバーの位置を変えるには、車両を完全に停止し、レバーを必要な位置に動かします。レバーを無理に押してはなりません。シフトできない場合、ATVを前後に動かしてトランスミッションのギアを動かし、もう一度試してください。



シフトパターン

注意: 車両を完全に停止し、トランスミッションレバーを動かす前にブレーキを掛けてください。

P:パーク

この位置ではトランスミッションがロックされ、ATVが動かないようになります。ATVを運転しないときに必ず使用してください。ある場合には、ATVを前後に動かしてトランスミッションのギアを動かし、パーク位置にかみ合うようにする必要があります。

R:リバース

この位置にして、ATVを後方に動かします。ATVの速度は制限されます。

⚠ 警告

リバースで車両を運転する前に、後方の経路に人や障害物がないことを確認してください。座ったままでいてください。

N:ニュートラル

この位置では、トランスミッションのかみ合いが解除され、手で押してATVを動かすことができます。

H:ハイギア

この位置では、ギアボックスの伝達の高速レンジが選択されます。これは、通常の運転速度範囲です。この位置では、ATVの最大速度に達することができます。

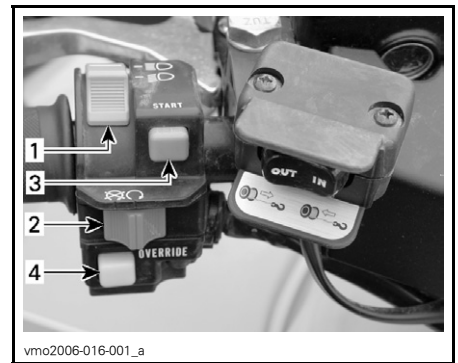
L:ローギア

この位置では、ギアボックスの伝達の低速レンジが選択されます。このレンジは作業で使用する位置です。この位置では、ATVの最大接地力と馬力で低速で運転することができます。

注記: 荷物を引っ張ったり、急な坂を上る場合にこのギアを使用してください。

6) マルチファンクションスイッチ

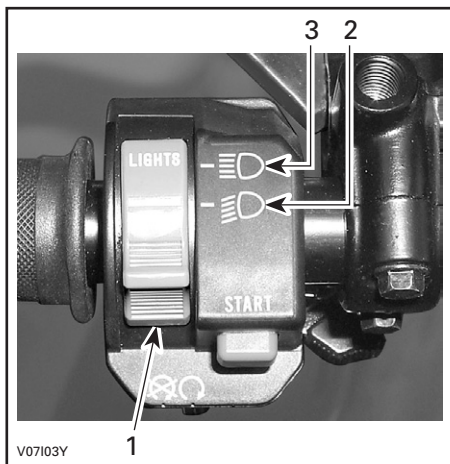
このマルチファンクションスイッチの上部に設置されているコントロールには次があります:



代表的な例 — マルチファンクションディスプレイ

1. ヘッドライトスイッチ
2. エンジンストップスイッチ
3. エンジンスタートボタン
4. オーバーライドボタン

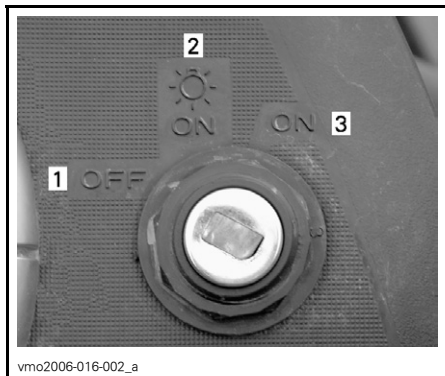
ヘッドライトスイッチ



ヘッドライトスイッチファンクション

1. ヘッドライトスイッチ
2. ロービームおよびテールランプ
3. ハイビームおよびテールランプ

注記: 「ライト消灯で」 ON 位置にイグニッションスイッチを切り替えると、ヘッドランプは消灯します。



イグニッションスイッチ位置

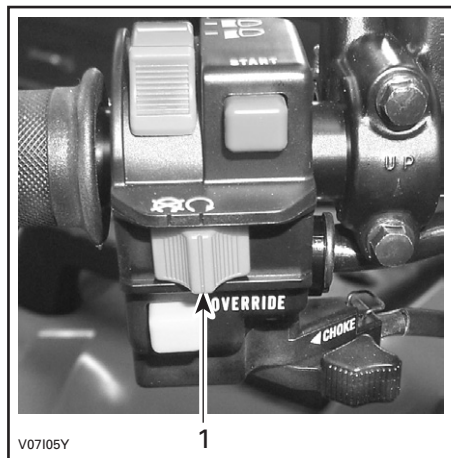
1. OFF
2. 「ライト点灯で」 ON
3. 「ライト消灯で」 ON

エンジンストップスイッチ

このスイッチはエンジンを停止するためと、非常用コントロールとして使用できます。

エンジンを停止するには、スロットルレバーを完全に戻してからエンジンストップスイッチを使用してください。

注記: エンジンはイグニッションキーを OFF の位置に回して停止できますが、エンジンストップスイッチでエンジンを停止することをお奨めします。



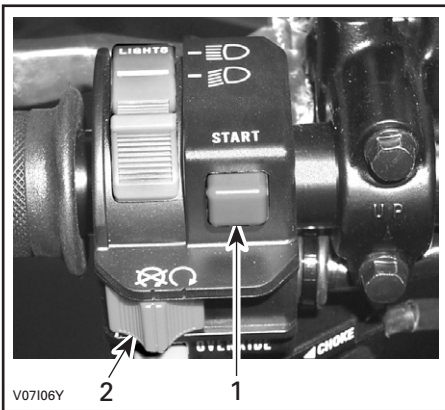
代表的な例

1. エンジンストップスイッチ

エンジンスタートボタン

エンジンを始動するには、エンジンストップスイッチを RUN 位置にします。

スタートボタンを押したままにします。エンジンが始動したら、すぐに放します。



V07106Y

代表的な例

1. エンジンスタートボタン
2. エンジンストップスイッチ

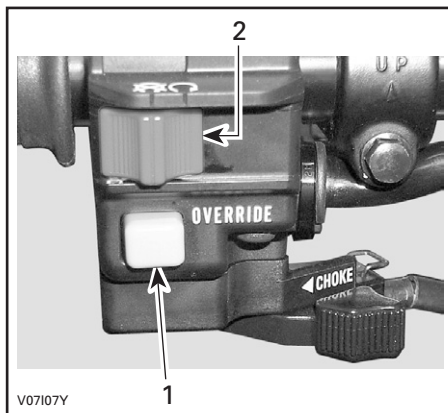
注記: エンジンストップスイッチをOFF位置に回さないとうエンジンは始動しません。

オーバーライドボタン

このボタンは、リバーススピードリミッターシステムを取り消すためと、駆動力を使ったバックアップの間に使用します。オーバーライドボタンを押し続け、次にスロットルレバーを少しずつ押します。

⚠ 警告

コントロールが失われ、重大なケガや死亡事故になることがあるので、スロットルを開いているときにオーバーライドボタンを作動させてはなりません。

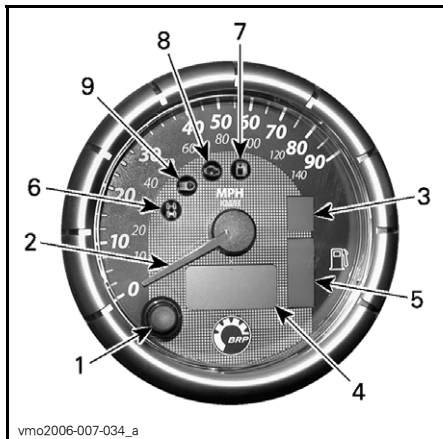


V07107Y

代表的な例

1. オーバーライドボタン
2. エンジンストップスイッチ

7) スピードメーター



vmo2006-007-034_a

代表的な例

1. ディスプレイセレクターボタン
2. ポインタモードディスプレイ
3. トランスミッションポジションディスプレイ
4. マルチファンクションディスプレイ
5. 燃料レベルディスプレイ
6. 4WD インジケータースランプ
7. 燃料レベル低下インジケータースランプ
8. エンジンチェックインジケータースランプ
9. ハイビームインジケータースランプ

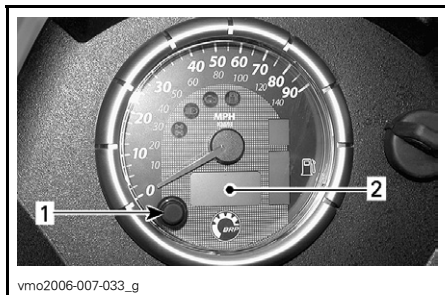
表示単位の変更 (MPH vs km/h)

スピードメーターは、工場出荷時にマイル表示で設定されていますが、キロメートル単位の表示に変更することができます。最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

ディスプレイセレクトボタン

セレクトボタンを使用すると、マルチファンクションディスプレイをお望みのモードに変更できます：

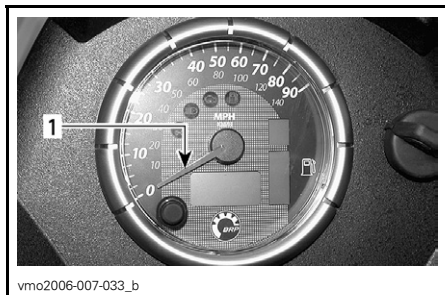
- オドメーター
- トリップメーター (リセット可能)
- アワーメーター (リセット可能)
- 車体アワーメーター
- スピードまたは RPM モード。



1. セレクトボタン
2. マルチファンクションディスプレイ

ポインタモードディスプレイ

スピードメーターポインタは、車体の速度またはエンジンの1分間あたりの回転数の2モードで表示します。



1. ポインタ

次のようにして、ポインタを別のモードに変更します：

- スピードメーターマルチファンクションディスプレイをオドメーター (ODO) モードに変更します
- ディスプレイセクターボタンを2秒間押し続けてモードを変更します。

スピードモード

このモードでは、ポインタは車体の速度を表示します。

スピードメーターは、速度を0から140 km/h および0から90 MPHで測定します。

RPM モード

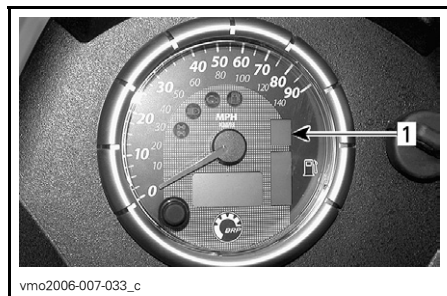
このモードでは、ポインタはエンジンRPMを表示します。

スピードメーターは、エンジンRPMを0から9000 RPMで測定します。

注記：RPMモードでは車体移動が10 km/hか6 MPHを超えると、車体の速度はマルチファンクションディスプレイに自動的に表示されます。

トランスミッションポジションディスプレイ

このディスプレイは、トランスミッションの位置を表示します。



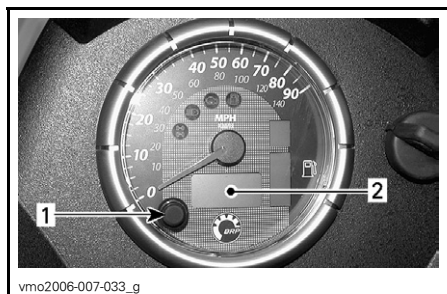
1. トランスミッションの位置

表示	ファンクション
P	パーキング
N	ニュートラル
R	リバース
H	ハイギア
L	ローギア

注記: トランスミッションポジションディスプレイに“E”が表示された場合、電氣的にトランスミッションポジションエラーがあることを意味します。最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

マルチファンクションディスプレイ

注記: セレクターボタンを使用して、ディスプレイをお望みのモードに変更できます:



1. セレクターボタン
2. マルチファンクションディスプレイ

オドメーター (ODO)

オドメーターは、走行した合計距離をマイルまたはキロメートル単位で記録します。

トリップメーター (TRIP)

トリップメーターは、リセットされてからの走行距離を記録します。走行距離は、マイルまたはキロメートルで表示されます。

トリップメーターは、燃料タンクの航続距離や2つの地点間の距離を決めるのに使用できます。

ディスプレイセレクションボタンを2秒間押したままにすると、トリップメーターがリセットされます。

アワーメーター (TRIP TIME)

アワーメーターは、電気システム作動時のエンジンの運転時間を記録します。アワーメーターは、2つの地点間の移動時間を決めるのに使用できません。

ディスプレイセレクションボタンを2秒間押したままにすると、アワーメーターがリセットされます。

アワーメーター (ENGINE HOURS)

アワーメーターは、エンジンの運転時間をECMで記録します。

スピード/RPM

RPMモードでは車体移動が10 km/hが6 MPHを超えると、車体の速度は自動的に表示されます。

スピードモードでは、ディスプレイにエンジン回転数を0から9000 RPMで表示します。

マルチファンクションディスプレイメッセージ

メッセージ	説明
X 100 RPM	スピードメーターが RPM モードで、スピード/RPM モードが選択された場合、マルチファンクションディスプレイは“X 100 RPM”を表示します。
INVALID KEY	間違ったイグニッションキーを使用したことを示します。正しいキーを使用してください。イグニッションキーの接触が悪い可能性もあります。外して清掃してください。
PARK BRAKE	パーキングブレーキが 15 秒以上かかっているときに表示されます。
LO BATT	バッテリーの電圧が低下しています。バッテリーの電圧と充電システムを確認してください。
HI BATT	バッテリーの電圧が高すぎます。バッテリーの電圧と充電システムを確認してください。
LOW OIL (1)	エンジンの油圧が低下しています。直ちにエンジンを停止して、オイルの量を点検してください。
HI TEMP (2)	エンジンがオーバーヒートしています。トラブルシューティングのエンジンのオーバーヒートを参照してください。
LIMP HOME	エンジンに重大な異常があり、正常な作動を変更するおそれがあります。エンジンチェックインジケータランプも点滅します。詳細についてはトラブルシューティングを参照してください。
CHECK ENGINE	エンジンの異常です。エンジンチェックインジケータランプも ON と表示されます。詳細についてはトラブルシューティングを参照してください。
MAINTENANCE SOON (3)	定期的なメンテナンスが必要です。最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。
NO ECM COMMUNICATION	スピードメーターとエンジン制御モジュール (ECM) の間で通信エラーがあります。最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

注意: (1) エンジンを始動した後にこのランプが消灯しない場合は、エンジンを停止してください。エンジンオイルレベルをチェックしてください。必要があれば補充します。オイルに問題がなければ、Can-Am 正規ディーラーにご相談ください。修理が完了するまで、ATV を使用しないでください。

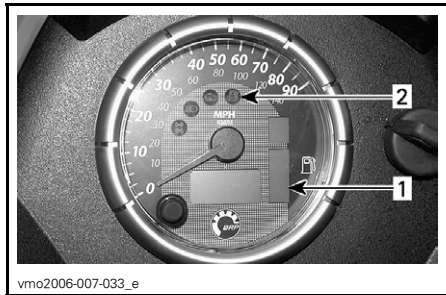
注意: (2) エンジンを始動した後にこのランプが消灯しない場合は、エンジンを停止してください。最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。修理が完了するまで、ATV を使用しないでください。

(3) メッセージの消去を Can-Am 正規ディーラーに依頼してください。

燃料レベルディスプレイ

棒状のゲージによって、運転中の燃料タンク内の残量を常時表示します。

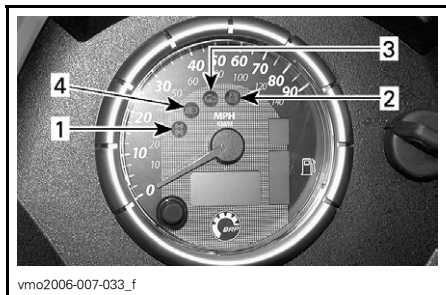
燃料レベル低下インジケータランプが ON のとき、燃料タンク内に燃料が 30% 未満、約 6 L (1.6 U.S. gal) しか残っていないことを意味します。



vmo2006-007-033_e

1. 燃料レベルディスプレイ
2. 燃料低下インジケータランプ

インジケータランプ



vmo2006-007-033_f

1. 4WD インジケータランプ
2. 燃料レベル低下インジケータランプ
3. エンジンチェックインジケータランプ
4. ハイビームインジケータランプ



このインジケータが ON のとき、4WD システムが有効になっていることを意味します。



このインジケータが ON のとき、燃料タンク内に燃料が 30% 未満、約 6 L (1.6 U.S. gal) しか残っていないことを意味します。



このインジケータが ON のとき、エンジン故障コードを意味します。マルチファンクションディスプレイのメッセージを見てください。このインジケータが点滅するときは、応急帰還モードで作動していることを意味します。詳細については、トラブルシューティングを参照してください。



このインジケータが ON のとき、ヘッドライトが強選択されていること、イグニッションキーが「点灯」の位置にあることを示します。

8) 12 ボルト電源アウトレット

この電源アウトレットは、携帯型スポットライトやほかの携帯型の備品に役立ちます。

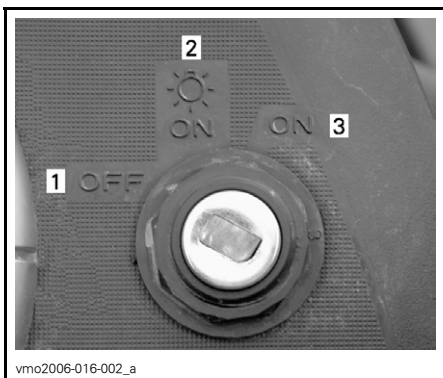
電源アウトレットを使用するには、保護キャップを取り外します。使用後は保護キャップをもう一度取り付けて、天候に対して保護してください。

定格容量を超えて使用してはなりません。詳細は、「仕様」のセクションを参照してください。

追加のアクセサリを接続するための補助装置を入手することができます。ATV のフロント側ダッシュボード下のワイヤリングハーネスに 2 本の配線が隠れて取り付けられています。詳細は、Can-Am 正規ディーラーにお問い合わせください。

9) イグニッションスイッチ

キーで作動する、3-ポジションスイッチです。



イグニッションスイッチ位置

1. OFF
2. 「ライト点灯で」 ON
3. 「ライト消灯で」 ON

スイッチにキーを挿入し、必要な位置に回します。キーを取り外すには、キーを OFF 位置に回して抜きます。

注記: キーを OFF 位置に回して抜くとき、車両の電気システムがシャットダウンするのにさらに数秒間かかります。

ライト点灯で ON 位置では、エンジンが運転されているにもかかわらず、エンジンのライトが点灯します。エンジンを運転しないでライトを点灯させると、バッテリーが放電することに注意してください。エンジンを停止したら、必ずイグニッションキーを OFF 位置に回してください。

注記: エンジンはイグニッションキーを OFF の位置に回して停止できません。エンジンを停止することをお奨めします。

デジタル暗号化セキュリティシステム (DESS™)

イグニッションキーには、固有の電子シリアルナンバーを発信する電子回路が組み込まれています。

したがって、プログラムされていなければ、このイグニッションキーは別の車両には使用できず、逆に別の車両のイグニッションキーはあなたの車両には使用できません。

しかし、DESS は見事な柔軟性も備えています。追加のイグニッションキーを購入すれば、それをあなたの車両用としてプログラムすることができます。

イグニッションキーを追加購入するには、最寄りの Can-Am 正規ディーラーへお問い合わせください。

10) 燃料タンクキャップ

注意: 燃料タンクのキャップの上に物を置いてはなりません。燃料タンクのキャップの上部にあるベントホールが塞がれて、エンジンが失火する可能性があります。

キャップを反時計方向に回して取り外し、燃料を補充してから時計方向にしっかりと締め付けます。

警告

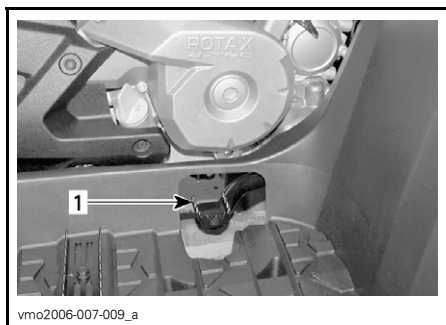
燃料を補充する前に、必ずエンジンを停止してください。キャップはゆっくり開けてください。キャップに差圧がかかっている（燃料タンクのキャップをゆるめるときにヒューヒュー音が聞こえる）ことに気付いた場合は、さらに作業をする前に ATV を点検するか、修理してください。ガソリンは可燃性であり、特定の条件下では爆発性があります。裸火を明らかにして燃焼させないでください。燃料を補充するときは絶対にやめてください。燃料タンクの周辺で喫煙したり、火を使ったり、火花を飛ばしてはなりません。必ず十分換気されている場所で作業をしてください。ATV を暖かい場所に置く前に、燃料タンクに燃料を補充してはなりません。気温が上昇すると燃料が膨張し、タンク外にあふれてしまう可能性があります。こぼれた燃料は必ずきれいに引き取ってください。

11) ブレーキペダル

ブレーキペダルを踏み込むとリアブレーキが掛かります。放すと元の位置に戻ります。ブレーキの効き具合はペダルを踏み込む力に比例しており、地形のタイプあるいは状態によって異なります。

注記: ブレーキは、ドライブトレインを介してフロントホイールにも影響を与えます。

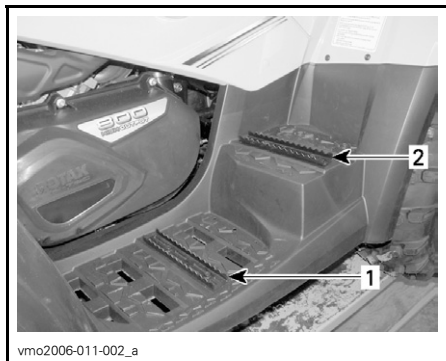
ブレーキペダルはリアブレーキだけに作用します。フロントブレーキシステムが故障した場合は、ブレーキペダルを踏み込んでリアブレーキを掛けることができます。



1. ブレーキペダル

12) フットペグ

フットペグを使って運転者と同乗者の両足を安定させます。



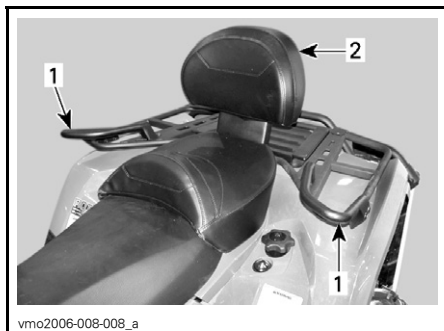
1. 運転者のフットペグ
2. 同乗者のフットペグ

13) グラブハンドル

同乗者は A T V 走行中にグラブハンドルをしっかりと握ってください。

警告

決して、運転者につかまらないでください。グラブハンドルから手を離さないでください。



1. グラブハンドル
2. 同乗者シート

14) 同乗者シート/ ストレージボックス

警告

同乗者のシートやストレージボックスを正しく取り付けないまま、ATVを運転しないでください。

同乗者シートは、1人の同乗者が安全で快適に楽しめるよう特別に設計されています。走行中、一体化した背もたれ部分が背中を支えます。

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

⚠ 警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

ストレージボックスを使用すると、2人乗りATV(2-UPモデル)は1人乗りATV(1-UPモデル)となり、積載能力も増えます。

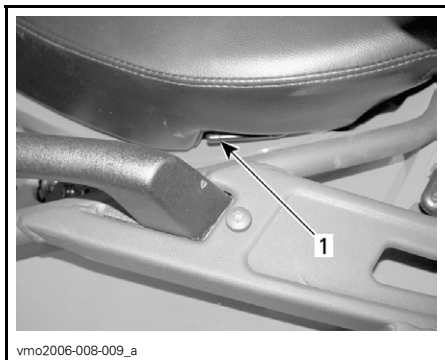
ATVの変更は簡単です。同乗者シートを取り外してからストレージボックスを取り付ける、あるいはその逆です。下記に記載されている手順に従って、正しく取り外しと取り付けを行ってください。

⚠ 警告

同乗者シートの代わりにストレージボックスを取り付ける場合、車両は1人乗り車両となり(1-UPモデル)、同乗者は乗れません。ストレージボックス上に同乗者を乗せないでください。

同乗者シートの取り外し

- 同乗者シートのハンドルを引いてください。ハンドルは、シートのRHとLH後端下にあります。



代表的な例 — LH側

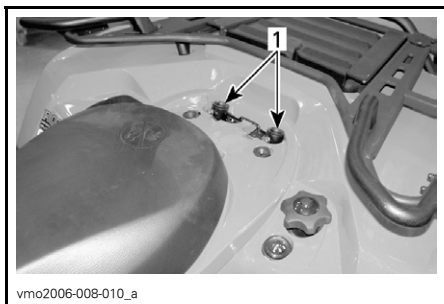
1. シートラッチ

- シートの後ろ側をゆっくりと持ち上げます。

- シートを後方に引きます。
- 同乗者シート前側のファスナーを解放できるまで引き続きシートを持ち上げ、同乗者シートを完全に取り外します。

同乗者シートの取り付け

- 同乗者シートのポジションチューブをリアフェンダ穴の中に挿入します。



vmo2006-008-010_a

代表的な例

1. 同乗者シートポジションチューブの穴

- シートを固定位置に取り付けたら、シートをしっかりと押し下げ、ラッチを掛けます。

注記: 独特の「カチッ」という感覚でラッチが掛かったことがわかります。シートをしっかりと引っ張って正しくラッチが掛かっていることを確認し、シートがしっかりと固定されていること再確認してください。

⚠ 警告

乗る前に、しっかりとラッチが掛かっていることを確認してください。

ストレージボックスの取り付け

- 同乗者シートを取り外します。

- ストレージボックスをリアフェンダ上に配置します。
- ストレージボックスを固定位置に取り付けたら、しっかりと押し下げてラッチを掛けます。
- ストレージボックスを開くには、ラバーラッチのフックを外します。



vmo2006-008-012_b

1. ラバーラッチ

ストレージボックスの取り外し

- ストレージボックスのストラップを引っ張り、車体から離します。
- ストレージボックスを取り外します。
- 同乗者シートを取り付けます。



vmo2006-008-012_a

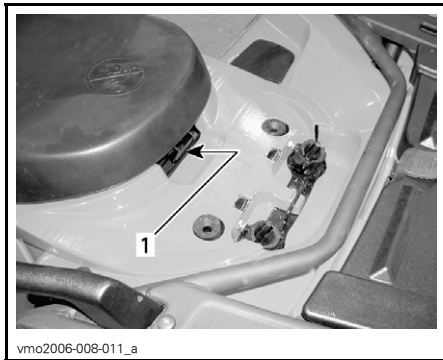
1. ストラップ

15) 運転者シート

注記: 運転者シートを取り外すには、同乗者シートを取り外さなければなりません。

シートの取り外し

運転者シートを取り外すには、ラッチを前方に押しします。ラッチはシートの後端の下に設置されています。



vmo2006-008-011_a

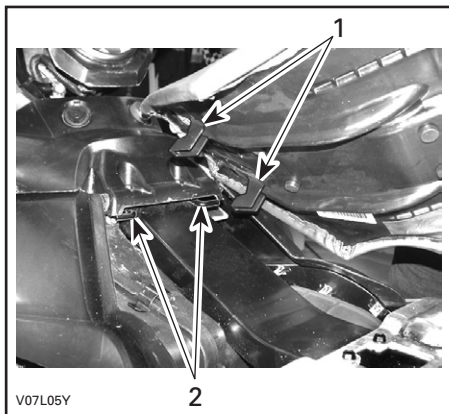
1. シートラッチ

シートを後方に引きます。シート前側のファスナーを解放できるまで引き続きシートを持ち上げ、シートを完全に取り外します。

シートの取り付け

シートのフロントタブをフレームフックの中に挿入します。シートを固定位置に取り付けたら、シートをしっかりと押し下げてラッチを掛けます。

注記: 独特の「カチツ」という感覚でラッチが掛かったことがわかります。シートをしっかりと引っ張って正しくラッチが掛かっていることを確認し、シートがしっかりと固定されていることと再確認してください。



このパネルを外すと、サービスコンパートメントに簡単にアクセスできます。サービスコンパートメントには、リアブレーキオイルリザーバー、ラジエーターキャップ、冷却液リザーバー、およびヒューズホルダーなど、さまざまなメンテナンス用品があります。

17) リアストレージコンパートメント

リアストレージコンパートメントは、予備のスパークプラグ、応急処置用品など、個人的な品物を運ぶための便利な場所です。カバーのラッチを外し、軽く上に持ち上げてカバーを取り外してください。

このコンパートメントには、ドレンプラグが用意されています。必要場合は、プラグを外して排水することができます。作業が完了したら、プラグを取り付けてください。

1. タブをフックに挿入します
2. フック

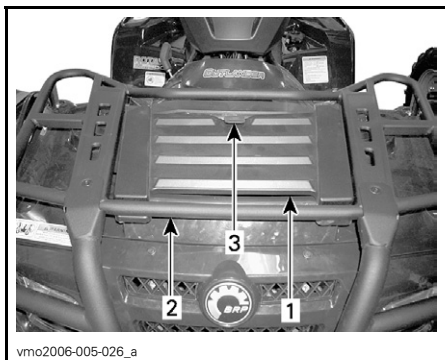


警告

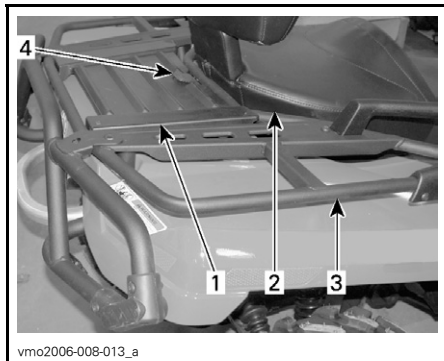
乗る前に、しっかりとラッチが掛かっていることを確認してください。

16) アクセスパネル

パネルを開くには、ラッチを外してパネルを持ち上げて外します。



1. リアストレージコンパートメントカバー
2. シート
3. リアラック
4. ラッチ



1. アクセスパネル
2. フロントラック
3. ラッチ

⚠ 警告

エンジンが運転されている場合は、必ずトランスミッションレバーをPARK位置にしてからカバーを開けてください。ストレージバスケットに重たい物や壊れて飛び散りやすい物を置いたままにはなりません。運転する前に、必ずカバーにラッチを掛けてください。運ぶためのスペースを増やすためにストレージカバーを外した場合は、荷物をしっかりと固定して凹凸のある地形でスピードを出して運転するとき「飛び」出ないようにしてください。スピードを落として運転してください。

18) カーゴラック

このラックは小物を運ぶのに便利です。

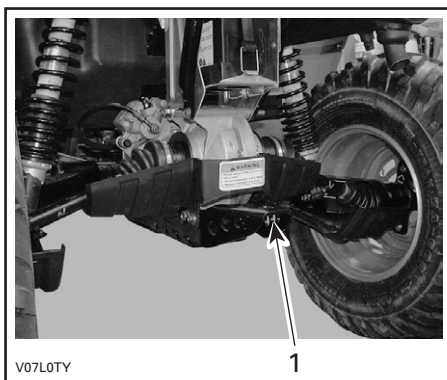
⚠ 警告

荷物がしっかりとラックに固定されていることを確認してください。荷物を積み過ぎないでください。荷物が視認性やステアリングを妨げないことを確認してください。乗員を運んではなりません。

積載荷重と積載重量配分の推奨値については、「仕様」のセクションを参照してください。

19) トレーラーヒッチ

トレーラーや他の装置を牽引するためのボールを取り付ける便利なヒッチです。トレーラーメーカーの推奨に従って、正しいサイズのボールを取り付けてください。積載荷重と牽引の推奨値については、「仕様」のセクションを参照してください。



1. トレーラーヒッチ

⚠ 警告

牽引する装置に合った正しいサイズのボールを取り付けていることを確認してください。

注記: 正しい取り付け手順については、メーカーの指示に従ってください。

20) ラジエーターキャップ

アクセスパネルの下のサービスコンパートメントに設置されています。

⚠ 警告

エンジンが暖機されているときは、やけどをしないようにラジエーターキャップを取り外してはなりません。

ラジエーターキャップを取り外すには、キャップを押しながら反時計方向に回します。取り付けは、取り外しの逆の順序で行います。



vmo2006-007-011_a

代表的な例

1. ラジエーターキャップ

21) ヒューズ

電気システムはヒューズによって保護されています。詳細は「メンテナンス」を参照してください。

ヒューズホルダーは、サービスコンパートメント（ツールボックスの背面）に設置されています。



vmo2006-007-012_a

フロント - ヒューズの場所

1. (F1) イグニッションコイル (5 A)
2. (F2) ファン (20 A)
3. (F3) 燃料インジェクター (5 A)
4. (F4) スピードメーター/スピードセンサー/テールランプ (7.5 A)
5. (F5) 燃料ポンプ (7.5 A)
6. (F6) エンジン制御モジュール (ECM) (5 A)
7. (F7) アクセサリー (20 A)



vmo2006-007-031_a

リア - ヒューズの場所

1. (F8) メイン (30 A)
(F9) メインアクセサリ (30 A)

22) ツールボックス

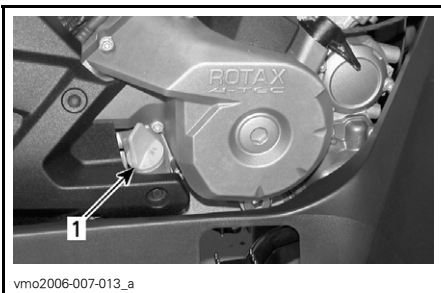
ツールボックスは、リアストレージコンパートメントに設置されています。ツールボックスには、基本的なメンテナンス用の工具、この『オペレーター・ガイド』、『ATV ウィンチオペレーター・ガイド』（XTおよび限定版モデル）が収められています。

ツールボックスの工具は次のとおりです。

- プライヤー (1)
- スクリュードライバー (1)
- オープンレンチ 10/13 mm (1)
- オープンレンチ 15/17 mm (1)
- ソケットレンチ 10/13 mm (1)
- ソケットレンチ 16/18 mm (1)
- タイヤ空気圧ゲージ (1)
- ショックアブソーバーキー (1)
- ヒューズ 30 A (1)
- ヒューズ 20 A (1)
- ヒューズ 15 A (1)。

23) デイックステック

エンジンのオイルレベルのチェックに使用します。



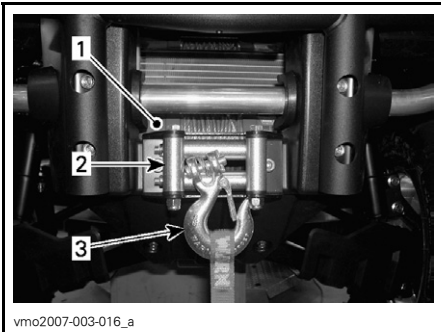
vmo2006-007-013_a

7. デイップスティック

エンジンオイルレベルを正しくチェックする手順については、「液体類」のセクションを参照してください。

24) ウインチ

XT および 限定版モデル



vmo2007-003-016_a

1. ウインチ
2. ローラーフェアリーダー
3. ウインチフック

25) ウインチコントロールスイッチ

XT および 限定版モデル

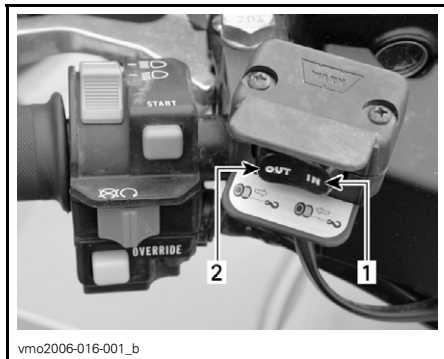
ウインチからワイヤを取り出したり、ウインチにワイヤを巻き取るために、このスイッチを使います。

ウインチからワイヤを取り出すには、スイッチの左側を押します。

ウインチにワイヤを巻き取るには、スイッチの右側を押します。

詳細については、『ATV ウインチオペレーター・マニュアル』を参照してください。

注記: ウインチ操作を簡単にするためウインチリモートコントロールも車両に装備されています。詳細は、このセクションのウインチリモートコントロールを参照してください。



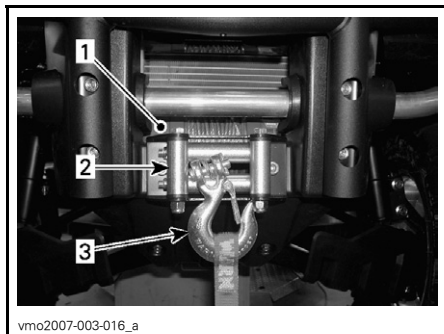
vmo2006-016-001_b

1. 取り込み
2. 取り出し

26) ローラーフェアリーダー

XT および 限定版モデル

ローラーフェアリーダーは、ATV の損傷を防止するためと、ワイヤロープをウインチにガイドするために使用されます。



vmo2007-003-016_a

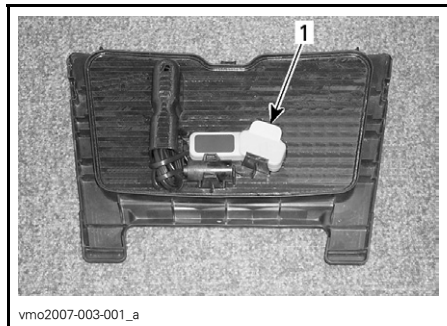
1. ウインチ
2. ローラーフェアリーダー
3. ウインチフック

27) ウインチリモートコントロール

XT および 限定版モデル

ウインチ操作を簡単にするためウインチリモートコントロールも車両に装備されています。

ウインチリモートコントロールは、フロントサービスコンパートメントのアクセスパネル内に設置されています。



vmo2007-003-001_a

フロントアクセスパネル

1. ウインチリモートコントロール

ハンドルバーコントロールスイッチの代わりにウインチリモートコントロールスイッチを使用するには、リモートコントロールをフロントサービスコンパートメントの接続部に接続します。

注意: 使用しないときには、リモートコントロールの接続を外して、保管します。



vmo2007-003-017_a

フロントサービスコンパートメント

1. リモートコントロール接続部

詳細については、『ATV ウインチオペレーター・マニュアル』を参照してください。

28) ウインチリモートコントロール接続部

XT および 限定版モデル

ウインチ操作を簡単にするために、ウインチリモートコントロールにプラグインするための接続部が使用されます。



vmo2007-003-017_a

フロントサービスコンパートメント

1. リモートコントロール接続部

29) GPS レシーバー (グローバルポジショニングシステム)

限定版モデル

⚠ 警告

GPS レシーバーサポートへの衝突による負傷を防ぐため、GPS レシーバーまたは GPS レシーバーサポート保護カバーを正しく取り付けずに ATV を運転しないでください。



1. GPS レシーバー

取り外し可能な GPS レシーバーは、ハンドルバーの上にあります。

GPS レシーバーは ATV の地球上での位置を表示します。

サポートに取り付けたときには (イグニッションスイッチが ON 位置で) 車体の電気システムから、またサポートから取り外したときにはバッテリーから動力を得ます

GPS レシーバーはレシーバーの ON/OFF ボタン使用して、または車体のイグニッションスイッチを ON が OFF 位置にして作動します (車体に取り付けるとき)。

正しい使い方については、GPS レシーバーに付属しているメーカーの取扱説明書を参照してください。

注記: この GPS レシーバーには、標準的な地図があらかじめプログラムされています。地図作製法の詳細については、Can-Am 正規ディーラーにお問い合わせになるか、Garmin 社のウェブサイト (www.garmin.com) にアクセスしてください。

⚠ 警告

GPS レシーバーを見ていると、ATV の操縦への注意が疎かになる可能性があります。特に周囲を絶えず見回すことができなくなります。衝突やその結果として生じる重大なケガまたは死亡の原因になるおそれがあります。GPS レシーバーを見る前に、まず周囲に障害物などが無いことを確認し、ATV の速度を下げてください。さらに障害物などが無いが随時確認するようにしてください。

⚠ 警告

GPS レシーバーが提供する情報は、あくまでも参考にとどめるべきであることを忘れないでください。あなた自身の安全のために、その情報だけに頼らないようにしてください。

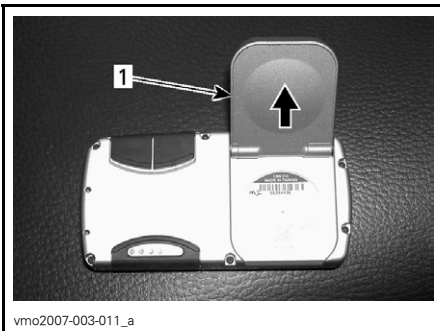
GPS レシーバーの取り付け

GPS レシーバーサポート保護カバーを取り外します。



保護カバーを外す

GPS レシーバーの背面からアンテナを開きます。



vmo2007-003-011_a

アンテナを開く
1. アンテナ

GPS レシーバーをサポートにスライドさせます。



vmo2007-003-012_a

取り付けるためにスライドする

ロックングタブを GPS レシーバー側に押すことにより、GPS レシーバーをサポート上に固定します。



vmo2007-003-013_a

タブを押してロックする

注意: 悪天候による損傷や盗難を避けるため、ATV を離れるときは必ず GPS レシーバーを取り付け位置から外すようにしてください。

GPS レシーバーの取り外し

ロックングタブを引くことにより、GPS レシーバーをサポートからロック解除します。



vmo2007-003-014_a

タブを引いてロック解除する
1. ロックングタブ

GPS レシーバーをサポートからスライドさせて、取り外します。



vmo2007-003-012_b

スライドさせて取り外す

GPS レシーバーが取り付けられていないとき、GPS レシーバーサポート上に保護カバーを取り付けることにより、電気システム接続部の損傷を防ぎます。

保護カバーは、フロントサービスコンパートメントのアクセスカバー内側に設置されています。



vmo2007-003-015_b

保護カバーを取り付ける



vmo2007-003-015_b

保護カバーを取り付ける

30) 保護カバー (GPS レシーバーサポート)

限定版モデル



警告

GPS レシーバーサポートへの衝突による負傷を防ぐため、GPS レシーバーまたは GPS レシーバーサポート保護カバーを正しく取り付けずに ATV を運転しないでください。

保護カバーは、フロントサービスコンパートメントのアクセスパネル内側に設置されています。



vmo2007-003-009_a

アクセスパネル — フロントサービスコンパートメント

1. 保護カバー

GPS レシーバーが取り付けられていないとき、GPS レシーバーサポート上に保護カバーを取り付けることによって、電気システム接続部の損傷を防ぎます。

液体類

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

注記: この項では、推奨液体類およびそれらのレベルチェック手順を説明します。液体類の交換については、「メンテナンス」のセクションを参照してください。

燃料

推奨燃料

レギュラー無鉛ガソリン、エタノールまたはメタノール含有量が 10% 未満の酸素化燃料を使用してください。これらはほとんどのガソリンスタンドで購入可能です。次の推奨最小オクタン価以上のガソリンを使用してください。

オクタン価	
北米	(87 (R + M)/2)
北米以外	92 RON

注意: 他の燃料は絶対に使用しないでください。推奨以外の燃料を使用すると、ATV の性能を低下させ、燃料システムおよびエンジンの重要な部品に損傷が発生する場合があります。

注意: 燃料とオイルを混合してはなりません。この ATV のエンジンは 4 ストロークです。オイル注入が必要なのはエンジンベースのみです。

燃料レベル

警告

燃料を補充する前に、必ずエンジンを停止してください。キャップはゆっくり開けてください。キャップに差圧がかかっている（燃料タンクのキャップをゆるめるときにヒューヒュー音が聞こえる）ことに気付いた場合は、さらに作業をする前に ATV を点検するか、修理してください。ガソリンは可燃性であり、特定の条件下では爆発性があります。裸火を明かりにして燃料レベルを確かめるのは絶対にやめてください。燃料タンクの周辺で喫煙したり、火を使ったり、火花を飛ばしてはなりません。必ず十分換気されている場所で作業してください。ATV を暖かい場所に置く前に、燃料タンクに燃料を補充してはなりません。気温が上昇すると燃料が膨張し、タンク外にあふれてしまう可能性があります。こぼれた燃料またはオイルは、必ずふき取ってください。

エンジンオイル

推奨オイル

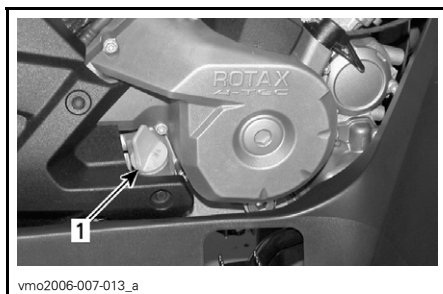
オイルは API が定めるサービス等級 SM、SL、SJ の要求条件に合致する、あるいはそれを超える 4 ストロークエンジンオイルを使用してください。オイルの容器に貼付されている API サービスラベルを必ずチェックし、SM、SL、SJ の文字があることを確認してください。

オイルの粘度

オールシーズン用の SAE 5W30 を使用することをお奨めします。

ただし、夏の最も暑い日は BRP XP-S 10W40 オイル (P/N 219 700 346) を使用可能です。

注記: 全体性能の向上とオールシーズン用途のために、XP-S 5W40 化学合成オイルを使用してください(P/N 293 600 039)。



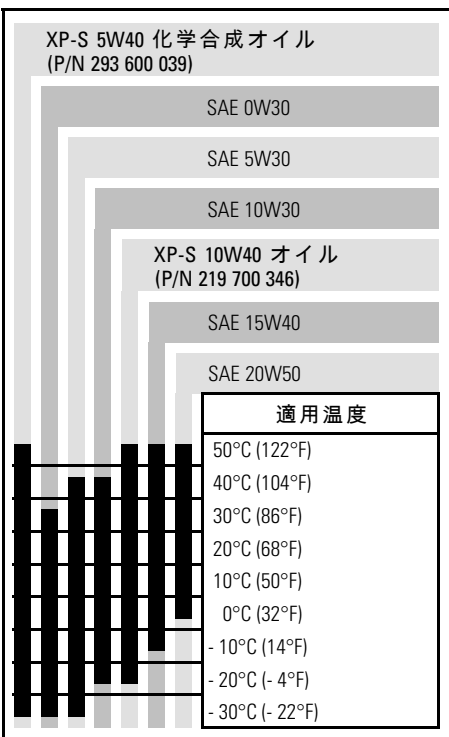
vmo2006-007-013_a

エンジンの右側

1. ディップスティック

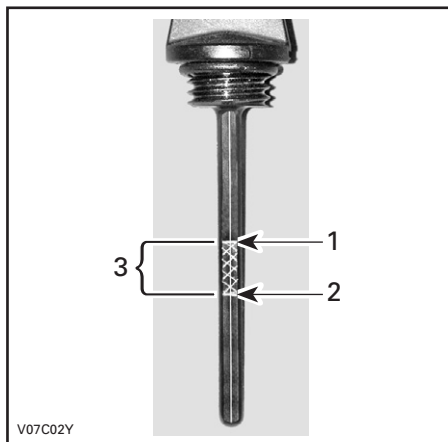
オイルレベルは、車両を水平面に置いてエンジン温度が低くエンジンを停止した状態で、以下の手順に従ってチェックしてください。

1. ディップスティックをゆるめて抜き取り、付着しているオイルをふき取ってください。
2. ディップスティックを取り付け、ネジを完全に締め付けてください。
3. オイルゲージをもう一度抜き取り、オイルレベルをチェックしてください。オイルレベルは、アップマークと同じかその近くになればなりません。



オイルレベル

注意: オイルレベルは頻りにチェックし、必要に応じて補充してください。入れすぎた状態ではなりません。オイルを入れすぎた状態で運転すると、エンジン/トランスミッションに重大な損傷が発生する可能性があります。こぼれたオイルは必ずふき取ってください。



V07C02Y

代表的な例

1. フル
2. 追加
3. 運転範囲

オイルを追加するには、ディップスティックを取り外します。じょうごをディップスティックチューブに差し込み、オイルがこぼれないようにしてください。

推奨オイルを少量補充し、オイルレベルをもう一度チェックします。

ディップスティックのアップマークにオイルレベルが達するまで、以上の手順を繰り返します。入れすぎではありません。

ディップスティックをしっかりと締め付けてください。

トランスミッションオイル

推奨オイル

XP-S チェーンケースオイル (P/N 413 801 900) が同等品を使用してください。

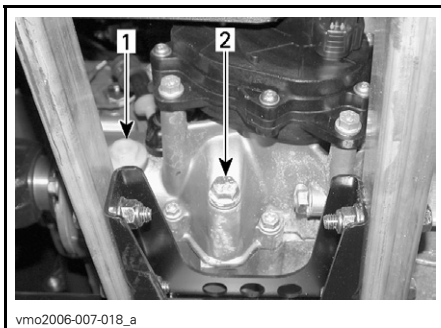
注意: 推奨されていない他の種類のオイルを補充しないでください。オイルは異なる種類と混ぜないでください。

トランスミッションオイルレベル

注意: オイルレベルをチェックし、必要に応じて補充してください。入れすぎではありません。オイルを入れすぎた状態で運転すると、トランスミッションに重大な損傷が発生する可能性があります。こぼれたオイルは必ずふき取ってください。

車両を水平面に置いてください。ニュートラル位置を選択して、パーキングブレーキを掛けます。

トランスミッションオイルレベルプラグを取り外して、トランスミッションオイルレベルをチェックします。



vmo2006-007-018_a

1. オイルレベルプラグ
2. オイルドレンプラグ

オイルはオイルレベルホルルの底部と同じ高さになります。トランスミッションオイルレベルからオイルレベルホルルを通して流出するまで、補充します。

トランスミッションオイル交換には、「メンテナンス」のセクションを参照してください。

エンジン冷却液

推奨冷却液

内燃アルミニウムエンジン専用の腐食防止剤入りエチレングリコール不凍液を必ず使用してください。

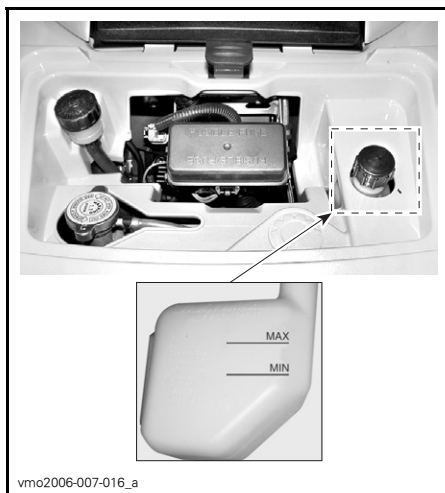
BRP のプリミックス冷却液 (P/N 219 700 362) または水と不凍液を混合した溶液 (蒸留水 50%、不凍液 50%) で冷却システムを満たしてください。

冷却液レベル



冷却液レベルは、エンジンが冷めている状態でチェックしてください。エンジンが暖機されているときに、冷却液を冷却システムに注ぎ足してはなりません。

アクセスパネルを取り外します。



vmo2006-007-016_a

冷却液レベルは、車両を水平面に置いた状態で、冷却液リザーバーのレベルマーク MIN. と MAX. との間でなければなりません。

注記: 20°C (68°F) 未満の気温でチェックすると、冷却液レベルは MIN. マークよりも若干低いことがあります。

必要に応じて、MAX. マークまで注ぎ足してください。こぼさないようにじょうごを使ってください。入れすぎではありません。

フィルターキャップを取り付けて、しっかりと締め付けてからアクセスパネルを取り付けてください。

冷却液リザーバーに冷却水を追加する場合は、ラジエーターのレベルも確認してください。必要に応じて、ラジエーターに冷却水を追加してください。

警告

やけどをしないように、エンジンが暖機されているときは、ラジエーターキャップを取り外さないでください。

注記: 頻繁に冷却液を注ぎ足す必要がある場合、冷却システムに漏れがあるか、エンジンに問題がある可能性があります。最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

冷却液の交換

「メンテナンス」のセクションを参照してください。

ブレーキオイル

推奨ブレーキオイル

必ず DOT 4 の仕様に適合するブレーキオイルのみを使用してください。

注意: ブレーキシステムに重大な損傷が発生しないように、推奨ブレーキオイル以外を使用してはならないばかりでなく、補充のために種類の異なるオイルを混合してもなりません。

ブレーキオイルレベル

車両を水平面に置き、リザーバーのブレーキオイルレベルが適正であることをチェックしてください。レベルは MIN. マークよりも上でなければなりません。

必要に応じて、ブレーキオイルを補充してください。入れすぎではありません。

フィルターキャップを取り外す前に、汚れを取り除いてください。

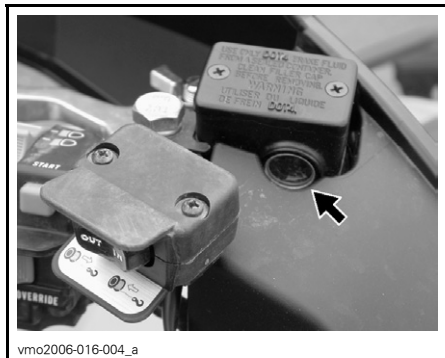
注意: 密閉された容器で保存されていた DOT 4 ブレーキフルードだけを使用してください。古い容器や開封された容器に入っているフルードを使用してはなりません。

注記: ブレーキオイルレベルが低下している場合、ブレーキシステムに漏れがあるか、ブレーキパッドが磨耗している可能性があります。最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

ブレーキレバーオイルリザーバー

ステアリングを直進状態にして、リザーバーが水平であることを確認してください。ブレーキオイルレベルを確認してください。オイルが窓の上部に達している場合、リザーバーはいっぱいです。

レバーブーツの状態を目視で点検してください。クラック、破れなどがないかをチェックします。損傷が認められる場合は交換してください。



代表的な例

ブレーキペダルオイルリザーバー



バッテリー

この車両には、メンテナンスフリーのドライバッテリーが装備されています。

取り付け / 取り外しの手順については、「メンテナンス」のセクションを参照してください。

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください



指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

操作の説明

一般的事項

エンジンを始動するには、トランスミッションレバーが PARK または NEUTRAL 位置でなければなりません。

注記: ユーザーの利便性を図るために、トランスミッションレバーがどの位置でもエンジンを始動できるようにするオーバーライドモードが用意されています。始動ボタンを押している間、ブレーキレバーまたはブレーキペダルを押して保持し、ブレーキを掛けてください。

エンジンを始動するには、エンジンストップスイッチを RUN 位置にし、キーをイグニッションスイッチに挿入し、ON 位置に回してから始動ボタンを押してください。

運転前のチェック

警告

運転前のチェックは、非常に大切なものです。エンジンを始動させる前装に、重要なコントロール類、安全装置類、メカニカル部品などが正常に作動することをチェックしてください。ここで説明するチェックを実施しなかった場合、重大なケガあるいは死亡を伴う事故が発生する可能性があります。

運転の前に、次の点を必ず確認してください:

- パーキングブレーキを掛け、正常に作動しているかをチェックしてください。
- タイヤの空気圧およびコンディションをチェックしてください。
- ホイールおよびホイールベアリングの磨耗および損傷をチェックしてください。
- コントロール類の位置および正しく作動するかをチェックしてください。

- ステアリングがスムーズに動くかをチェックしてください。
- スロットルコントロールレバーを数回動かして、スムーズに作動するかを確認してください。放したときに自動的にアイドリング位置に戻らなければなりません。
- フロントブレーキレバーおよびリアブレーキフットペダルを作動させて、ブレーキが効くことを確認してください。レバーおよびペダルは、放したときに自動的に元の位置に戻らなければなりません。
- トランスミッションレバーが機能することを確認し、PARK 位置に戻します。
- 燃料、オイル、冷却液のレベルをチェックしてください。
- エンジン、トランスミッション、およびドライブシャフトのコンポーネントからのオイル漏れをチェックしてください。
- ヘッドライトとテールランプを清掃します。
- フロントアクセスコンパートメントカバーとリアストレージカバーコンパートメントのラッチがしっかりと掛かっているかをチェックしてください。
- 運転者および同乗者のシートまたはストレージボックスが正しい位置に取り付けられ、ラッチがしっかりと掛かっていることを確認してください。
- 荷物を運搬する場合は、許容積載重量を守ってください。荷物がしっかりと固定されているかを確認してください。
- トレーラーなどをけん引する場合は、タンクの許容荷重および許容けん引荷重を守ってください。トレーラーがヒッチにしっかりと固定されているかを確認してください。

- エンジン停止状態で、ゆるんでい
るパーツがないかを目視および触
感でチェックしてください。ねじ
類をチェックしてください。
- これから走行しようとしている経
路に、障害物あるいは人がいない
かを確認してください。
- イグニッションスイッチ、スタート
ボタン、エンジンストップスイッ
チ、ヘッドライトスイッチ、テー
ルランプ、インジケータランプが
正常に作動するかをチェックし
てください。
- 同乗者のシートと背もたれの状態
を確認してください。
- グラブハンドルの状態を確認して
ください。
- 安全な運転に関する基本的なルー
ルを同乗者に知らせます。
- 同乗者が1人の場合、指定された同
乗者シートに座っていることを確
認してください。
- (リアシートの代わりに) スト
レージボックスを取り付けている
場合、ラッチがしっかりと掛かっ
ているかを確認してください。
- エンジンを始動し、ゆっくり前方
に1m程度運転して、すべてのブ
レーキを別々に掛け、効き具合を
チェックしてください。
- 2WD/4WD セレクターの作動を確
認してください。

以上のチェックで何らかの問題が発見されたら、調整してください。必要に応じて、最寄りのCan-Am正規ディーラーに問い合わせてください。

エンジンの始動方法

キーをイグニッションスイッチに挿入し、ON位置にしてください。
エンジンストップスイッチをRUN位置にします。
スタートボタンを押し、エンジンが始動するまで押し続けます。

注意: スタートボタンを30秒以上押し続けてはなりません。クランクキングの間の待ち時間を守り、スターターの熱を冷ましてください。バッテリーが放電してしまわないように注意してください。

エンジンが始動したら、エンジンスタートボタンを直ちに放します。

注記: バッテリーが上がっている場合、エンジンを始動できません。バッテリーを充電するか、交換します。

トランスミッションのシフト

エンジンをアイドル状態にして暖機します。

ブレーキを掛けて、必要なギアレンジHまたはLを選択します。

注記: トランスミッションレバーをPARK位置にしている場合は、ブレーキを掛ける必要があります。

ブレーキを放します。

注意: ATVを運転する前に、パーキングブレーキが完全に解除されていることを確認してください。

スロットルレバーをゆっくり押し、エンジン回転数を増加させます。これにより、無段変速機(CVT)がかみ合います。

反対に、スロットルレバーを放すと、エンジン回転数が減少します。

リバースギアの使用法

注意: 前進から後退またはその逆に変更するときは、車両を完全に停止し、トランスミッションレバーを動かす前にブレーキを掛けてください。

リバースギアの使用手順は、次の点を除き、「トランスミッションのシフト」のセクションと同じです。

トランスミッションレバーをREVERSE位置にします。

2WD/4WD セレクター

ATV 停車時、4WD モードが選択または選択解除されます。

注意：2WD/4WD セレクターを切り替えるには、ATV を停車しておかなければなりません。走行中にセレクターを切り替えると、機械的損傷が発生する可能性があります。

注意：リアホイールがスピンしている場合、4WD モード選択前にスロットルを解除して、エンジンがアイドルリング状態に戻るまで待ちます。

セレクターを押し下げるとき、4WD モードに替わります。



2WD モード

セレクターが 2WD に位置しているとき、ATV は常に二輪駆動です。

ウインチの操作

XT および限定版モデル

『ATVウインチオペレーター・マニュアル』を参照してください。このマニュアルはツールボックスに保管し、必ず車両に残しておいてください。

エンジンの停止



警告

斜面で駐車しないでください。



4WD モード

4WD モードを選択解除するには、セレクターを 2WD で押します。

スロットルを放し、車両を完全に停止させます。

パーキングブレーキを掛けてください。

トランスミッションレバーを PARK 位置にします。

エンジンストップスイッチを OFF 位置にします。

イグニッションスイッチのキーを OFF 位置に回します。

イグニッションスイッチからキーを外します。

運転後の手入れ

塩水にさらされる環境で使用（海岸で走行、あるいはボートの積み下ろしなどに使用）した場合、車両と部品の腐食を防ぐために、真水による洗浄が必要です。金属パーツへの油脂塗布が特に大切です。XP-S Lube (P/N 293 600 016) が同等品を使用してください。これは、運転した日の終わりに必ず実施してください。

泥が付着する条件で使用した場合、車両と部品の劣化を防ぎ、ライトを明るく保つために、真水による洗浄が推奨されます。

注記: ATV を洗浄するときに、高圧洗浄機を使用してはなりません。水圧を低めて使用してください（散水用ホースのように）。高圧の水は電気や機械系統の損傷につながる可能性があります。

特殊作業の手順

転倒

ATV が転倒した後、あるいは側方に傾いた場合は、通常の運転状態（4輪すべてが接地している状態）に戻し、3～5分待ってからエンジンを始動してください。

エンジンを始動する前に、エンジンオイルレベルをチェックし、必要に応じて補充してください。エンジンの始動後にオイルプレッシャーランプが点灯したままの場合は、エンジンを停止させ、お早めに Can-Am 正規ディーラーにご相談ください。

ATV の浸水

ATV が浸水した場合は、できるだけ早く Can-Am 正規ディーラーに運ぶ必要があります。エンジンを始動してはなりません。

注意: ATV が浸水したときに、正しい再始動手順に従わないと、重大な損傷が発生する可能性があります。

荷物の積載と本車両の運搬

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

荷物の積載

警告

ATV にラックを積載して使用すると、車両のハンドリング、安定性、制動距離に影響があります。このため、正しい積載と重量配分が重要です。過積載や不適切な荷物の運搬をしてはなりません。荷物が正しく固定されていることと、ラックに正しく配分されていることを確認してから ATV を運転してください。荷物を積載、あるいはトレーラーを牽引する場合は、地形の条件に応じて速度を下げてください。十分な制動距離を確保してください。荷物はラック上にできるだけ低く固定して、重心が高くないようにしてください。ここに記載されている推奨事項を守らないと、車両のハンドリングが変化し、重大なケガや死亡の可能性につながる事故を招く場合があります。

荷物を積載して走行するときは、最大許容荷重を守ってください。

最大許容荷重

許容総荷重	272 kg (600 lb)	運転者、同乗者の体重、荷物、アクセサリ、トレーラートングの重量を含みます。
前部荷重	45 kg (100 lb)	均一に配分します。
後部荷重	90 kg (200 lb)	均一に配分します。 リアラック、リアストレージボックス、トングの荷重を含みます。

本車両の運搬

本車両を運転するときには、適切なタイダウンベルトを使用してトレーラーまたはピックアップボックスをしっかり固定してください。普通のロープを使用することはお奨めできません。

警告



V00A174

本車両を直立した状態で運搬してはなりません。運搬するときは、通常の運転状態（4輪すべてが接地している状態）で固定してください。

パーキングブレーキを掛け、トランスミッションを PARK 位置にしてください。

車両のフロントバンパーとリアバンパーを固定します。

注意: これら以外の場所を固定すると、車両に損傷を与える可能性があります。

車両を運搬する前に、ラックの荷物を降ろしてください。

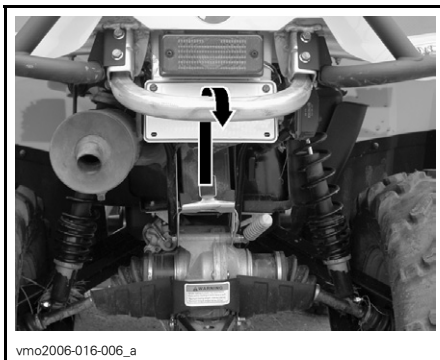
前側の場所



vmo2006-016-005_a

代表的な例

後ろ側の場所



vmo2006-016-006_a

代表的な例

警告

この車両を、自動車あるいは他のATVで牽引してはなりません。トレーラーに乗せて運搬してください。

トラブルシューティング

エンジン始動の際、クランクが回らない。

1. イグニッションスイッチが **OFF** 位置になっている。
 - イグニッションスイッチを **ON** 位置にしてください。
2. エンジンストップスイッチ。
 - エンジンストップスイッチが **ON** の位置にあることを確かめます。
3. トランスミッションレバーが **PARK** または **NEUTRAL** 位置になっていない。
 - トランスミッションレバーを **PARK** または **NEUTRAL** 位置にするか、ブレーキレバーを握ってください。
4. ヒューズ切れ。
 - メインヒューズのコンディションをチェックしてください。
5. バッテリーの電圧が低い、あるいは接続がゆるんでいる。
 - 充電システムのヒューズが切れていないかをチェックしてください。
 - バッテリーの接続および端子のコンディションをチェックしてください。
 - バッテリーをチェックしてください。
 - 最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。
6. 間違ったイグニッションキー、スピードメーターマルチファンクションディスプレイが **INVALID KEY** を表示する。
 - この車両の正しいキーを使用してください。

エンジン始動の際、クランクは回るが始動しない。

1. エンジンがかぶっている (スパークプラグを外すと、燃料で濡れている)。
 - (ドラウンドモード) エンジンが始動せず、燃料がかぶっている場合、この特殊モードが作動して燃料噴射を防ぎ、クランク中にイグニッションをカットします。次の手順に従ってください:
 - キーをイグニッションスイッチに挿入し、**ON** 位置にしてください。
 - スロットルレバーを完全に押し続けます。
 - エンジンスタートボタンを押します。エンジンは 20 秒間クランクします。エンジンスタートボタンを放します。
 - スロットルレバーを放して、もう一度エンジンをスタート / クランクして、始動します。
 - それでも始動しない場合は次のようにします:
 - スパークプラグキャップ部分を清掃し、取り外します。
 - スパークプラグを取り外します (スパークプラグレンチはツールボックスに入っています)。
 - エンジンのクランキングを数回行ってください。
 - 可能な場合は新品のスパークプラグを取り付けるか、スパークプラグを清掃して乾燥させます。
 - 上記の手順で、エンジン始動を再度試みてください。
 - それでもかぶってしまう場合は、*Can-Am* 正規ディーラーにお問い合わせください。
- 注: エンジンには燃料が無いことを確かめ、エンジンオイルを交換します。

エンジン始動の際、クランクは回るが始動しない。(続き)

2. 燃料がエンジンに供給されていない (スパークプラグを外すと、乾いている)。
 - 燃料タンクの残量をチェックします。
 - 燃料ポンプにトラブルが発生している可能性があります。
 - 最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。
3. スパークプラグあるいはイグニッションシステムのトラブル (火花が飛ばない)。
 - メインヒューズのコンディションをチェックしてください。
 - スパークプラグを取り外し、イグニッションコイルに接続します。
 - イグニッションスイッチとエンジンストップスイッチが ON 位置になっていることを確認します。
 - スパークプラグを、エンジンのスパークプラグホールから離れた場所に接触させ、エンジンをスタートしてください。火花が飛ばない場合は、スパークプラグを交換します。
 - それでも火花が飛ばない場合は、最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。
4. スピードメーター **CHECK ENGINE** インジケータランプがオンであり、マルチファンクションディスプレイが **CHECK ENGINE** を表示する。
 - 最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。
5. エンジンは保護モードである。
 - スピードメーター **CHECK ENGINE** インジケータランプがオンであり、マルチファンクションディスプレイが **CHECK ENGINE** を表示します。最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

加速力、あるいはパワーの低下。

1. スパークプラグの汚れまたは損傷。
 - エンジン始動の際、クランクは回るが始動しないの項目を参照してください。
2. エンジンに十分な燃料が供給されていない。
 - エンジン始動の際、クランクは回るが始動しないの項目を参照してください。

3. エンジンのオーバーヒート。

- *CHECK ENGINE* インジケータライトがオンになり、マルチファンクションディスプレイに *HI TEMP* が表示されます。

次のように実行してください:

- ラジエーターのフィンをチェックして、清掃します。「メンテナンス」のセクションを参照してください。
- スピードを下げますが、停止させないで、ラジエーターに空気があたるようにしてください。この状態で約 1分間待ってもオーバーヒートが解消しない場合は、車両を停止させてトランスミッションを *PARK* 位置にしてください。エンジンを停止させてください。
- イグニッションスイッチを *ON* 位置にします (エンジンを再始動しないでください)。ラジエーターファンによって、ラジエーターが冷却されず。
- エンジンを冷却させます。冷却液のレベルをチェックし、必要に応じて補充してください。「エンジン冷却液」を参照してください。お早めに *Can-Am* 正規ディーラーにご相談ください。
- それでもオーバーヒートが解消しない場合は、最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

4. エアフィルター / ボックスの閉塞または汚れ。

- エアフィルターをチェックし、必要に応じて清掃してください。
- エアボックスドレンに堆積物がないことをチェックしてください。
- エアインテークチューブの位置をチェックしてください。

5. CVT の汚損または磨耗

- 最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

6. エンジンは保護モードである。

- スピードメーターマルチファンクションディスプレイのメッセージを確認します。
- スピードメーター *CHECK ENGINE* インジケータランプがオンであり、マルチファンクションディスプレイが *CHECK ENGINE* か *LIMP HOME* を表示します。最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

バックファイアの発生

1. エキゾーストシステムの漏れ。

- 最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

2. エンジンの運転温度が高すぎる。

- 「加速力、あるいはパワーの低下」を参照してください。

3. イグニッションタイミングが適正でない、あるいはトラブルがある。

- 最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

ミスファイアの発生。

1. スパークプラグのトラブル / 損傷 / 劣化。

- スパークプラグを清掃およびチェックし、熱価を確認します。必要に応じて、交換してください。

ミスファイアの発生。(続き)

2. 燃料に水が混入。

- 燃料システムから燃料を完全に抜き取り、新しい燃料を入れてください。

最高速度の低下。

1. エンジンのトラブル。

- 「加速力、あるいはパワーの低下」を参照してください。

2. パーキングブレーキが掛かっている。

- ブレーキレバーロックが完全に解除されているかを確認してください。

3. エアフィルター / ボックスの閉塞または汚れ。

- エアフィルターをチェックし、必要に応じて清掃してください。
- エアボックスドレンに堆積物がないことをチェックしてください。
- エアインテークチューブの位置をチェックしてください。

4. CVT の汚損または磨耗。

- 最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

5. エンジンは保護モードである。

- スピードメーターマルチファンクションディスプレイのメッセージを確認します。
- スピードメーター *CHECK ENGINE* インジケータランプがオンであり、マルチファンクションディスプレイが *CHECK ENGINE* か *LIMP HOME* を表示します。最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

トランスミッションレバーがスムーズに動かない。

1. トランスミッションレバーが作動しない位置にトランスミッションのギアがかみ合っている。

- ATV を前後に動かしてトランスミッションのギアを動かし、もう一度トランスミッションレバーをシフトしてください。

2. CVT の汚損または磨耗。

- 最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

エンジン回転数を高くしても車両が動かない。

1. トランスミッションレバーが **PARK** または **NEUTRAL** 位置になっている。

- *R*、*H/I*、*LO* 位置にしてください。

2. CVT の汚損または磨耗。

- 最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

3. CVT ハウジングに水が混入。

- 最寄りの *Can-Am* 正規ディーラーに問い合わせてください。

仕様

モデル		OUTLANDER™ MAX 500/650/800 シリーズ
エンジン		
タイプ	4ストローク、V-ツイン、水冷式、4バルブ SOHC	
シリンダ数	2	
バルブ数	8バルブメカニカルリフター（調整可能）付き	
排気量	MAX 500	499.6 cc (30.49 cu. in)
	MAX 650	649.6 cc (39.64 cu. in)
	MAX 800	800 cc (48.82 cu. in)
ボア	MAX 500/650	82 mm (3.23 in)
	MAX 800	91 mm (3.58 in)
ストローク	MAX 500	47.3 mm (1.86 in)
	MAX 650/800	61.5 mm (2.42 in)
圧縮比	10.3:1	
潤滑	ウェットサンプ、交換式オイルフィルター	
排気システム	米国農務省森林サービス認可のスパークアレスター	
エアフィルター	ステージフォームフィルター	
トランスミッション		
トランスミッション	無段変速機（CVT）および高、低、パーキング、ニュートラル、リバースの有段変速機	
冷却		
タイプ	液冷式	
ラジエーター	サーモスタット制御 ファン付きフロントマウント	
燃料システム		
タイプ	シングルスロットルボディ (46 mm) およびシリンダ当たり1インジェクター付きの電子燃料噴射	
アイドル回転数	± 50	1250 RPM (調整不可)

モデル		OUTLANDER™ MAX 500/650/800 シリーズ
燃料ポンプ	メーカー	Bosch
	タイプ	電気システム (燃料タンク)
電気システム		
マグネトージェネレータ	メーカー	デンソー
	タイプ	400 W @ 6000 RPM
イグニッションタイプ		IDI (誘導デジタルイグニッション)
イグニッションタイミ ング		調整不可
エンジン回転リミッ ター		8000 RPM (前進の任意のギア)
車両速度リミッターリバースギア		15 km/h (9 MPH)
スパークプラグ	メーカー	NGK
	タイプ	DCPR8E
	ギャップ	0.6 から 0.7 mm (0.024 か ら 0.686 mm)
スパークプラグ本数		2
バッテリー	タイプ	ドライタイプバッテリー
	ボルト	12 ボルト、18 Ah
始動システム		エレクトリックスタートP、 R、N、H、L 位置で始動可能 (ブレーキを掛けて)
ヘッドライト		2 x 35 W
テールランプ		8/27 W
ヒューズ	(F1) イグニッションコ イル	5 A
	(F2) ファン	20 A
	(F3) 燃料インジェク ター	5 A
	(F4) スピードメーター /スピードセンサー/ テールランプ	7.5 A
	(F5) 燃料ポンプ	7.5 A
	(F6) エンジン制御モ ジュール (ECM)	5 A
	(F7) アクセサリ	20 A
	(F8) メイン	30 A
	(F9) メインアクセサリ	30 A

モデル		OUTLANDER™ MAX 500/650/800 シリーズ	
ドライブトレイン			
フロントデファレンシャル		シャフト駆動 / シングルオートロックデファレンシャル (シャーポンブ)	
リアアクスル		シャフト駆動	
回転半径		2.16 m (84 in)	
サスペンション			
フロント	MAX 500	タイプ	独立懸架 マクファーソンタイプ
		トラベル	178 mm (7 in)
	MAX 650/800	タイプ	ダブル A-アーム
		トラベル	203 mm (8 in)
リア	タイプ		TTI™ 独立
	トラベル		228.6 mm (9 in)
タイヤ			
メーカー/タイプ	MAX 500	XT	Carlisle ACT/ラジアル
		他	オーツ/バイアス
	MAX 650/800	XT	Carlisle ACT/ラジアル
		他	Carlisle Badland/ラジアル
空気圧	最大 272 kg (272.16 kg)	フロント	34.5 kPa (5 PSI) 最大 31 kPa (4.5 PSI) 最小
		リア	48 kPa (7 PSI) 最大 34 kPa (5 PSI) 最小
サイズ	MAX 500	フロント	25 x 8 x 12
		リア	XT:25 x 11 x 12 他:25 x 10 x 12
	MAX 650/800	フロント	26 x 8 x 12
		リア	26 x 10 x 12
ホイール			
サイズ	フロント		12 x 6
	リア		12 x 7.5
ホイールナット締め付けトルク		90 N•m (66 lbf•ft)	
ブレーキ			
フロント		油圧、2 ディスク	

モデル		OUTLANDER™ MAX 500/650/800 シリーズ
リア		油圧、1 ディスク
パーキング装置		トランスミッションをパーク位置にしてパーキング。 左側ブレーキレバーにロック機構付き
許容荷重		
フロントラック		45 kg (100 lb)
リアラック (トング荷重を含む)		90 kg (200 lb)
リアストレージボックス		10 kg (22 lb)
最大積載量 (運転者、全荷物、追加アクセサリを含みます)		272 kg (600 lb)
GVWR (車両総重量)	MAX 500	581 kg (1280 lb)
	MAX 650/800	649 kg (1430 lb)
牽引能力		591 kg (1300 lb)
タンク能力 (リアラックを含む)		23 kg (50 lb)
寸法		
乾燥重量	MAX 500	310 kg (684 lb)
	MAX 650	318 kg (699 lb)
	MAX 800	313 kg (689 lb)
全長		2.39 m (94 in)
全幅		1.17 m (46 in)
全高		1.14 m (45 in)
シート高		877 mm (34.5 in)
ホイールベース		1.50 m (59 in)
ホイールトラック	フロント	965 mm (38 in)
	リア	914 mm (36 in)
最低地上高		305 mm (12 in)
重量配分 (フロント / リア)		48/52%

モデル		OUTLANDER™ MAX 500/650/800 シリーズ
液体およびグリース		
エンジンオイルタイプ		SAE 5W30 API 等級 SM、SL、SJ。 「オイル粘度チャート」を参 照してください。
トランスミッションオ イルタイプ		XP-S 合成チェーンケースオイル
冷却液		エチレングリコールおよび水の 混合液 (50% 冷却剤、50% 蒸留 水。BRP プリミックス冷却液ま たはアルミニウムエンジン専用 冷却剤をご使用ください。
燃料	タイプ	無鉛レギュラーガソリン
	オクタン 価	北米:(87 (R + M)/2) 以上 北米以外:92 RON
デフアレンシャル	フロント	BRP デフアレンシャルオイル または化学合成ポリエステルオ イル 75W90 (API GL-5)
	リア	
ブレーキ		ブレーキオイル、DOT 4
プロペラーシャフトジョイントグ リース		サスペンション化学合成グリース (P/N 293 550 033)
容量		
燃料タンク		20 L (5.3 U.S. gal)
エンジン		フィルタとともにオイル交換: 2 L (2.1 U.S. quarts)
トランスミッションオ イル		400 mL (14 U.S. oz)
冷却液		2.2 L (2.32 U.S. quarts)
デフアレンシャル	フロント	500 mL (17 U.S. oz)
	リア	250 mL (8.5 U.S. oz)
ブレーキフルード		250 mL (8.5 U.S. oz)

A: アンペア

Ah: アンペア時

RPM: 1 分間の回転数

USDA: 米国農務省

W: ワット

BRP ではつねに製品品質の向上と技術革新に努めているため、予告なく設計および仕様の変更になったり、製品への機能の追加または改良が行われたりすることがあります。BRP は、これらの変更、追加、改良を過去の製品に遡って適用する義務を負いません。

メンテナンス情報

メンテナンスチャート

メンテナンスは極めて重要です。安全なメンテナンス作業の手順および調整手順に不慣れな場合は、Can-Am 正規ディーラーにお問い合わせください。

定期点検チャート

10 時間、30 日、300 km (185 mi) のいずれかの初期点検
(実施者は Can-Am 正規ディーラーです。初期メンテナンスは極めて重要ですので、必ず実施してください。)

25 時間または 750 km (470 mi)

50 時間または 1500 km (930 mi)

100 時間、1 年または 3000 km (1865 mi)

200 時間、2 年または 6000 km (3730 mi)

実施者

A: 調整
C: 清掃
I: 点検
L: 潤滑
R: 交換

部品/タスク

説明

エンジン

エンジンオイルレベル ⁽²⁾	運転毎				お客様	(2) 運転前点検項目。 (3) 100 時間毎に、冷却液の濃度をチェックしてください。 (4) ほこりのある場所、砂、雪、濡れる条件や泥だらけの条件など、過酷な条件では、より頻繁に行ってください。	
	エンジンオイルとフィルタ	R			R		お客様
バルブの調整	I、 A				I、 A		ディーラー
エンジンマウントファスナー	I				I		ディーラー
エアフィルター ⁽²⁾		C ⁽⁴⁾	R ⁽⁴⁾				お客様
排気システム	I				I		ディーラー
スパークアレスター					C		お客様
シールのコンディション	I				I		ディーラー
冷却液 ⁽²⁾	I				I ⁽³⁾ R		お客様
冷却システム圧漏れテスト	I				I		ディーラー
ラジエーターのコンディション / 清掃 (ラジエーターフィン) ⁽⁴⁾	I		I			お客様	
エンジンマネージメントシステム							
センサー ⁽¹⁾	I				I		ディーラー
故障コードの読出し ⁽¹⁾	I				I	ディーラー	

定期点検チャート

A: 調整
C: 清掃
I: 点検
L: 潤滑
R: 交換

10 時間、30 日、300 km (185 mi) のいずれかの初期点検
(実施者は Can-Am 正規ディーラーです。初期メンテナンスは極めて重要ですので、必ず実施してください。)

25 時間または 750 km (470 mi)

50 時間または 1500 km (930 mi)

100 時間、1 年または 3000 km (1865 mi)

200 時間、2 年または 6000 km (3730 mi)

実施者

部品/タスク

説明

燃料システム

スロットルボディ	I			I、L	ディーラー	(1) 排出ガス関連 コンポーネント。 (2) 運転前点検項目。
スロットル/ハウジング/ケーブルのコンディション ⁽²⁾	I、A		I、A、L		ディーラー/お客様	
燃料ライン、燃料レール、接続部、バルブ、燃料タンクの加圧テスト ⁽¹⁾	I			I	ディーラー	
インライン燃料フィルタ				R	ディーラー	
燃料ポンプ圧漏れテスト				I	ディーラー	

電気システム

スパークプラグ ^{(1) (5)}	I				R	お客様	(1) 排出ガス関連 コンポーネント。 (2) 運転前点検項目。 (5) スパークプラグの ギャップが正しいこと を確かめます。
バッテリーのコネクション	I		I			お客様	
ECM コネクター					I	ディーラー	
電気系コネクター類の状態と締め付け (イグニッションシステム、始動システム、燃料インジェクターなど)	I				I	ディーラー	
デジタル暗号化セキュリティシステム (DESS)	I				I	ディーラー	
イグニッションスイッチ、スタートボタンおよびエンジンストップスイッチ ⁽²⁾	I				I	お客様	
ライトシステム (HI/LO 切り替え、ブレーキランプ、ヘッドライト調整など) ⁽²⁾	I				I	お客様	
ウインチ						『ATVウインチオペレーター・マニュアル』を参照	お客様

定期点検チャート

10 時間、30 日、300 km (185 mi) のいずれかの初期点検
(実施者は Can-Am 正規ディーラーです。初期メンテナンスは極めて重要ですので、必ず実施してください。)

25 時間または 750 km (470 mi)

50 時間または 1500 km (930 mi)

100 時間、1 年または 3000 km (1865 mi)

200 時間、2 年または 6000 km (3730 mi)

実施者

A: 調整
C: 清掃
I: 点検
L: 潤滑
R: 交換

部品/タスク

説明

トランスミッション						
ドライブベルト				I		ディーラー
ドライブプーリーとドリブンプーリー				I、L		ディーラー
ワンウェイベアリングインサイド CVT				I、L		ディーラー
CVT エアインレット	I			I、C		ディーラー
トランスミッションオイル ⁽⁴⁾	R			I	R	ディーラー
4x4 結合ユニット	I			I		ディーラー
ドライブトレイン						
ドライブシャフトブーツおよびプロテクター ⁽²⁾	I	I				お客様
ドライブシャフトジョイント				I		ディーラー
リアプロペラーシャフトジョイント ⁽⁴⁾	I			I、L		ディーラー
ホイールベアリングのコンディション				I		お客様
ホイールナット/スタッド	I			I		お客様
タイヤの空気圧および磨耗 ⁽²⁾	運転毎					お客様
フロント/リア ディファレンシャル (オイルレベル、シール、ベント)	I			I		R ディーラー

(4) ほこりのある場所、砂、雪、濡れる条件や泥だらけの条件など、過酷な条件では、より頻繁に行ってください。

(2) 運転前点検項目。
(4) ほこりのある場所、砂、雪、濡れる条件や泥だらけの条件など、過酷な条件では、より頻繁に行ってください。

定期点検チャート

A: 調整
C: 清掃
I: 点検
L: 潤滑
R: 交換

10 時間、30 日、300 km (185 mi) のいずれかの初期点検
(実施者は Can-Am 正規ディーラーです。初期メンテナンスは極めて重要ですので、必ず実施してください。)

25 時間または 750 km (470 mi)

50 時間または 1500 km (930 mi)

100 時間、1 年または 3000 km (1865 mi)

200 時間、2 年または 6000 km (3730 mi)

実施者

部品/タスク

説明

ステアリングシステム

ハンドルバーファスナー				I		ディーラー	(4) ほこりのある場所、砂、雪、濡れる条件や泥だらけの条件など、過酷な条件では、より頻繁に行ってください。
ステアリングシステム (コラム、ベアリングなど) ⁽⁴⁾	I				I	ディーラー	
タイロッドエンド				I		ディーラー	
フロントホイールのアライメント	I			I、A		ディーラー	

サスペンション

トレーリングアーム				I		ディーラー	—
トレーリングアームベアリング					I	ディーラー	
マクファーソンストラット (MAX 500 のみ)				I		ディーラー	
ショックアブソーバー				I		ディーラー	
A-アーム				I、L		お客様	
ボールジョイント		I				ディーラー	

ブレーキ

ブレーキフルード (フロントとリア) ⁽²⁾	I	I				R ⁽⁶⁾	お客様/ ディーラー	(2) 運転前点検項目。 (4) ほこりのある場所、砂、雪、濡れる条件や泥だらけの条件など、過酷な条件では、より頻繁に行ってください。 (6) ブレーキフルードの交換またはブレーキシステムの修理を Can-Am 正規ディーラーに依頼してください。
ブレーキパッド		I ⁽⁴⁾					お客様	
ブレーキシステム (ディスク、ホースなど)					I		お客様	

定期点検チャート

10 時間、30 日、300 km (185 mi) のいずれかの初期点検
 (実施者は Can-Am 正規ディーラーです。初期メンテナンスは極めて重要ですので、必ず実施してください。)

25 時間または 750 km (470 mi)

50 時間または 1500 km (930 mi)

100 時間、1 年または 3000 km (1865 mi)

200 時間、2 年または 6000 km (3730 mi)

実施者

A: 調整
 C: 清掃
 I: 点検
 L: 潤滑
 R: 交換

部品/タスク

説明

ボディ / フレーム

エンジンコンパートメント	I、 C		I、 C			お客様	(4) ほこりのある場所、砂、雪、濡れる条件や泥だらけの条件など、過酷な条件では、より頻繁に行ってください。
フレーム				I		ディーラー	
ヒッチ / トレーラー ボールのコンディション (装着されている場合)					運転毎	お客様	
シャーシのねじ類				I		お客様	
グラブハンドル					運転毎	お客様	
同乗者シートカストレージボックスとファスナー					運転毎	お客様	
運転者シートとファスナー					運転毎	お客様	
車両の清掃と保護				C ⁽⁴⁾		お客様	

全般

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

警告

特に指示がない限り、メンテナンス作業中はエンジンを停止させておいてください。
車両のサービスや点検を行う前に、やけどをしないようにエンジンと排気管が冷めるまで待機してください。

警告

分解 / 組み立て作業中にロック用部品（例えば、ロックワッシャ、セルフロックねじなど）を取り外した場合は、必ず新品に交換してください。

以下に、お客様自身により実施可能なメンテナンス項目について説明します。それ以外のメンテナンスチャートの項目は、Can-Am 正規ディーラーにご依頼ください。

注記: このセクションでは、液体類の交換手順を取り扱います。レベルチェックあるいは補充の手順については、「液体類」のセクションを参照してください。

エンジン

オイルおよびオイルフィルター交換

オイルおよびオイルフィルターは同時に交換してください。オイル交換は、エンジンを暖機してから行う必要があります。

⚠ 警告

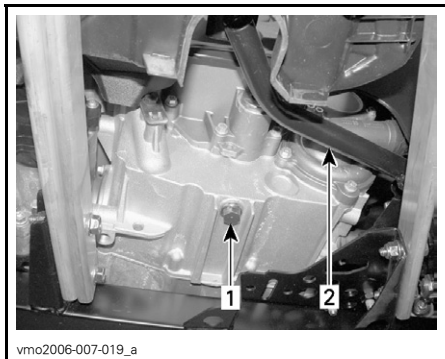
エンジンオイルは極めて高温になります。やけどをしないように、エンジンが熱いときは、エンジンドレンプラグやフィルターカバーを取り外さないでください。エンジンオイルが暖かい程度に冷めるまで待ちます。

車両を水平面上に置いてください。ディップスティックを取り外してください。

オイルドレンプラグの周辺から汚れを取り除いてください。

オイルドレンプラグ周辺の下にドレンパンを置いてください。

オイルドレンプラグをゆるめて取り外します。



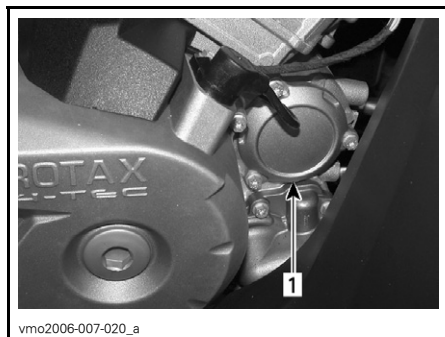
代表的な例

1. オイルドレンプラグ
2. ブレーキペダル

しばらく放置して、オイルフィルターからのオイルを完全に流れ出させてください。

右側のエンジンカバーを取り外します。

オイルフィルターカバーをゆるめて取り外します。



1. オイルフィルターカバー

オイルフィルターを取り外し、新品のフィルターを取り付けます。

カバーのOリングをチェックし、必要に応じて交換してください。

オイルフィルターカバーを締めます。

エンジンにオイルがこぼれた場合は拭き取ってください。

オイルドレンプラグのガスケットを交換します。エンジンとオイルドレンプラグのガスケット付近を清掃し、プラグを取り付けます。エンジンに推奨オイルを適切なレベルまで補充します。オイルの容量については、「仕様」を参照してください。

エンジンを始動し、数分間アイドルで放置します。オイルフィルター周辺とオイルドレンプラグ周辺からオイルが漏れていないことを確認します。

エンジンを停止させてください。オイルがクランクケースに流れて下りるまでしばらく待ってから、オイルレベルをチェックします。必要に応じてオイルを補充してください。

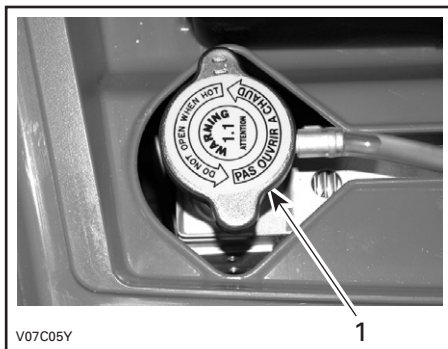
地域の環境規則に従ってオイルを廃棄してください。

冷却液の交換

警告

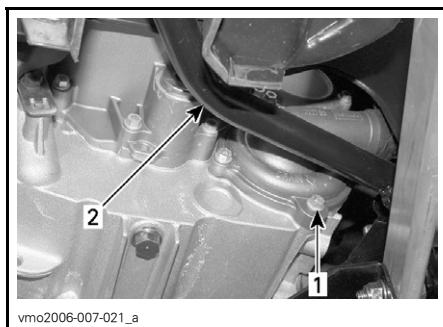
やけどをしないように、エンジンが熱くなっているときはラジエターキャップを外したり、冷却液のドレンプラグを緩めたりしないでください。

アクセスパネルを開き、ラジエターキャップを取り外します。



1. ラジエターキャップ

冷却液ドレンプラグをゆるめて、冷却液を適切な容器に排出させます。



vmo2006-007-021_a

1. 冷却液ドレンプラグ
2. ブレーキペダル

注記: 冷却液ドレンプラグはゆるめて完全に取り外してはなりません。

右側のパネルを外してください。

サーモスタットハウジングの上部エア抜きスクリューをゆるめます。



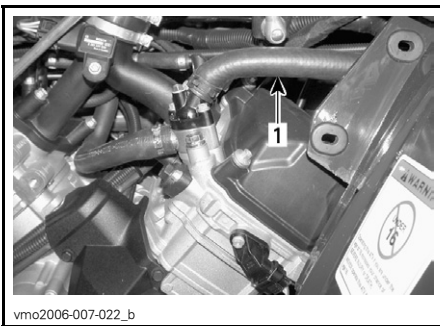
vmo2006-007-022_a

1. エア抜きスクリュー

冷却システムから冷却液を完全に排出させ、冷却液ドレンプラグを取り付けます。

大型のホースピンチャー (P/N 529.032.500) が同等品を使用してください。

注意: ホースを挟むのにバイスグリッププライヤーを使用してはなりません。



vmo2006-007-022_b

7. ホースピンチャー

サーモスタットハウジング穴から冷却液が出てくるまで、ラジエーターに冷却液を補充します。エアー抜きスクリューを取り付けて、ホースピンチャーを取り外します。

ラジエーターに冷却液を完全に補充します。

クーラントリザーバーでレベルをチェックし、必要により再度補充します。

ラジエーターキャップを外した状態で、エンジンをアイドルで運転します。必要に応じて、冷却液をラジエーターに徐々に追加してください。

この時点で、エンジンが通常の運転温度に達するまで待機してください。2、3回スロットルレバーを押し下げて、必要に応じて冷却液を追加します。

ラジエーターキャップを取り付けます。漏れがないかすべての接続部を点検し、リザーバーの冷却液レベルをチェックします。

エアーフィルター

取り外し

注意: エアーボックス内の部品の取り外し、あるいは改造を行ってはなりません。取り外し、あるいは改造を行うと、エンジン性能が低下したり、エンジンが損傷する可能性があります。エンジンは、これらの部品により厳密に動作するように調整されています。

シートを取り外します。

セントラルパネルタブをフレームから解放します。

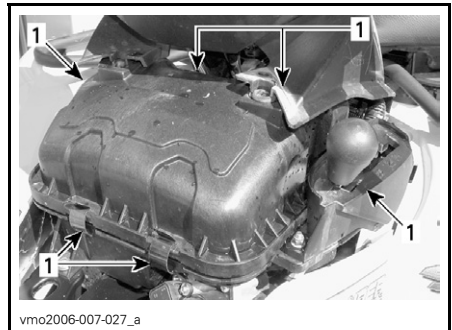
セントラルパネルを車体の後向きに引いて、取り外します。



vmo2006-007-026_a

1. セントラルパネル
2. タブ

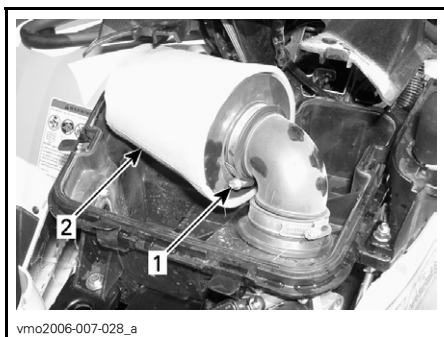
クランプをゆるめて、エアーフィルターボックスカバーを取り外します。



vmo2006-007-027_a

1. クランプを解放します

クランプをゆるめて、エアーフィルターを取り外します。



vmo2006-007-028_a

1. クランプ
2. エアフィルター

清掃

クリーニング剤 (P/N 219 700 341) または同等品をバケツに入れます。フィルターをバケツの中に浸します。

フィルターを浸している間に、エアボックスの内側を清掃します。

洗浄液が完全にとれるまで、フィルターを温水ですすぎます。

次に、フィルターを完全に乾かします。

取り付け

取り外した部品を、取り外しの手順とは逆の順序で取り付けます。

ドライブベルト

ドライブベルトの幅とコンディションの点検については、Can-Am 正規ディーラーにご相談ください。

CVT カバードレンスクリュー

CVT カバーに水が入ったと思われるときは、ドレンスクリューを取り外して CVT ハウジングから排出してください。



vmo2007-004-003_a

- 左側フットレストの裏側
1. ドレンスクリュー

バルブの調整

バルブの調整に関しては、Can-Am 正規ディーラーにお問い合わせください。

清掃が不十分なら、パワー不足やバルブの損傷を引き起こすおそれがあります。清掃のやり過ぎは、雑音につながります。

スパークアレスター

マフラー内に堆積しているカーボンを定期的に取り除いてください。

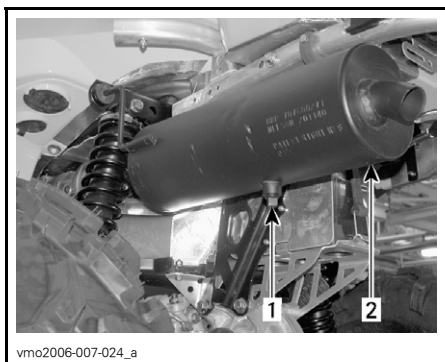
警告

密閉された場所でエンジンを運転させてはなりません。走行の直後、エキゾーストシステムは高温になっています。十分に冷却させてから作業を開始してください。作業場所に可燃物がないことを確認してください。保護ゴーグルとグローブを着用してください。排気システムをバージしているときは、車両の後部に立ってはなりません。適用される法律および規制を遵守してください。

十分に換気された場所を選択し、マフラーが冷めていることを確認してください。

トランスミッションレバーを PARK 位置にします。

マフラーのクリーンアウトプラグを取り外します。



vmo2006-007-024_a

代表的な例

1. クリーンアウトプラグ
2. マフラー

マフラーの端部をウエスで塞ぎ、エンジンを始動します。

エンジン回転数を数回瞬間的に上昇させて、堆積していたカーボンをマフラーから排出させます。

エンジンを停止し、マフラーを冷まします。

クリーンアウトプラグを取り付けます。

ラジエーター

定期的にラジエーター部分が清浄であることをチェックしてください。



vmo2006-016-007_a

代表的な例

1. ラジエーター

ラジエーターフィンが汚れていないかを点検します。ラジエーターフィンは、つねに清潔に保ち、泥、ほこり、枯葉などの異物が堆積することのないようにします。異物はラジエーターの冷却性能を低下させます。

ラジエーターに堆積している異物を、手でいねいに取り除きます。可能であれば、ラジエーターフィンを水洗いしてください。

ガーデンホースでフィンに水をあてると効率良く洗浄できます。

⚠ 警告

ラジエーターが熱いとき、手で清掃してはなりません。清掃する前に十分に冷却させてください。

注意：ラジエーターフィンを清掃するときは、フィンに損傷を与えないように注意してください。清掃の際にフィンを傷つけるような道具を使用してはなりません。ラジエーターのフィンは、冷却性能を向上させるために薄く作られているので、非常にデリケートです。ホースで水をかける場合は、水圧を低く保つようにしてください。

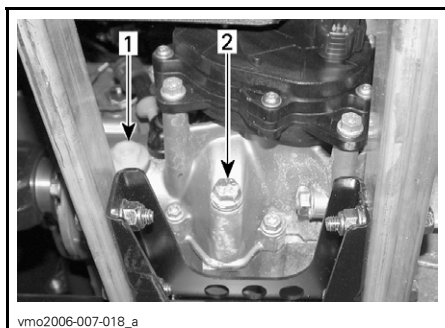
冷却システムの性能点検については、Can-Am 正規ディーラーにご相談ください。

トランスミッション

オイル交換

車両を水平面に置いてください。

ドレンプラグ部分とオイルレベルプラグを清掃して、次にトランスミッションドレンプラグを取り外します。



1. オイルレベルプラグ
2. オイルドレンプラグ

注記: トランスミッションを完全に排水するため、左フットレストの下にジャッキを設置して、車体を右側に傾けます。トランスミッションから完全に排水したら、ドレンプラグを取り付けて、その場で車体を元に戻します。

トランスミッションに、XP-S チェーンケースオイル (P/N 413 801 900) が同等品を使用してください。

注意: 推奨されていない他の種類のオイルを補充しないでください。オイルは異なる種類と混ぜないでください。

オイルはオイルレベルホールの底部と同じ高さになります。トランスミッションオイルレベルからオイルレベルホールを通して流出するまで、補充します。

オイルレベルプラグをもう一度取り付けます。

燃料システム

スロットルケーブルの潤滑

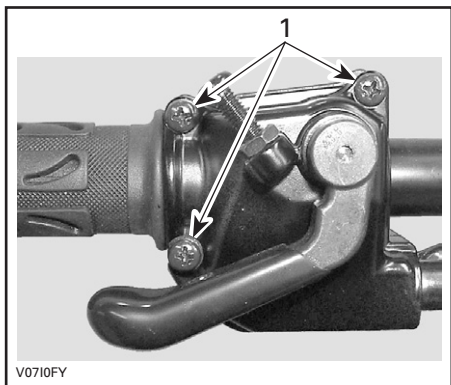
潤滑

スロットルケーブルは、シリコン潤滑剤 (P/N 293 600 041) か同等品を使用してください。

⚠ 警告

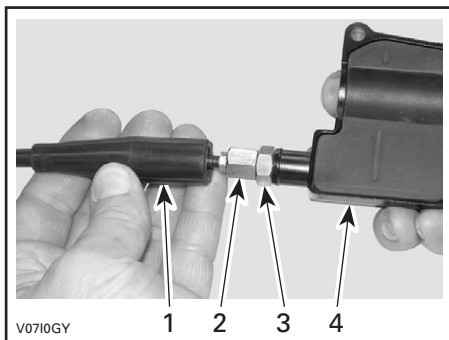
必ずシリコンベースの潤滑剤を使用してください。別の潤滑剤（水性の潤滑剤など）を使用すると、スロットルレバー / ケーブルが固着したり、硬直する可能性があります。

スロットルレバーハウジングを開けます。



1. 各スクリューを取り外します

ハウジングを分離します。ラバープロテクターをスライドさせて戻し、スロットルケーブルアジャスターを露出させます。

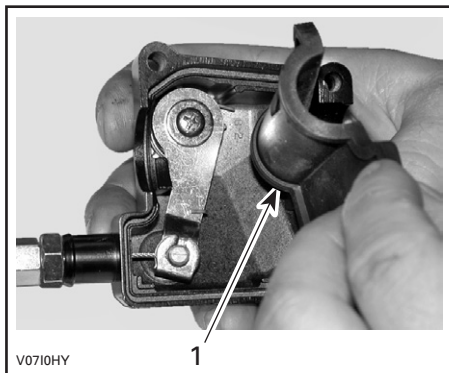


1. ケーブルプロテクター
2. スロットルケーブルアジャスター
3. ロックナット
4. スロットルレバーハウジング

スロットルケーブルアジャスターにねじ込みます。

取り外し:

- インナーハウジングプロテクターを取り外します



1. インナーハウジングプロテクター

- スロットルレバーハウジングからケーブルを取り外します。

注記: クリップの溝のケーブルをスライドさせ、クリップからケーブルの端を取り外します。



V0710IY

スロットルボディーサイドカバーを取り外します。



vmo2006-007-032_a

1. スロットルボディ
2. サイドカバースクリュー

潤滑剤の缶の管をスロットルケーブルアジャスターの端部に挿入します。

⚠ 警告

ケーブルを潤滑するときに、必ず保護ゴーグルとグローブを着用してください。



V0710JY

代表的な例

注記: スロットルケーブルアジャスターの周囲をウエスで覆い、潤滑剤が飛ばないようにしてください。

スロットルケーブルのキャブレター側の端から潤滑剤が出てくるまで、潤滑剤を追加します。

ケーブルを取り付けて調整します。

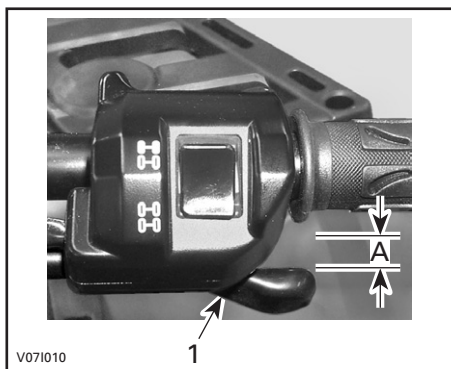
スロットルレバーの調整

ラバープロテクターをスライドさせて戻し、スロットルケーブルアジャスターを露出させます。

ロックナットをゆるめてアジャスターを回し、スロットルレバーの遊びを正しく調整してください。

注記: スロットルの遊びは、スロットルレバーの先端で測定してください。

ロックナットを締め付けて、プロテクターを取り付けてください。



1. スロットルレバー

A. 3 ~ 6 mm (1/8 ~ 7/32 in)

トランスミッションレバーを PARK 位置にして、エンジンを始動します。ハンドルバーを左右にいっぱいまで回転させ、スロットルケーブルが正しく調整されているかどうかを確認してください。エンジン回転数が高くなった場合は、スロットルレバーの遊びをもう一度調整してください。

電気システム

⚠ 警告

特に指示がない限り、電気システムのメンテナンスまたは修理を行う前に、必ずイグニッションスイッチをOFF位置に回してください。

スパークプラグ

取り外し

サイドパネルを取り外します。

スパークプラグケーブルを取り外します。

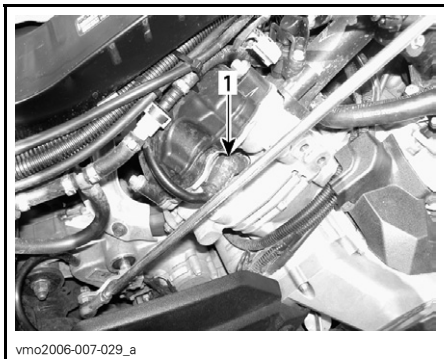
スパークプラグを1回転だけゆるめます。

可能な場合は、スパークプラグとシリンダーヘッドを圧縮空気を使って清掃してください。

⚠ 警告

圧縮空気を使用するときは、必ず保護ゴーグルを着用してください。

スパークプラグを完全にゆるめて取り外します。



右側—リアシリンダ
1. スパークプラグ



左側—フロントシリンダ
1. スパークプラグ

取り付け

エアフィルタースパークプラグを取り付ける前に、シリンダーヘッドとスパークプラグの接触面に汚れがないことを確認してください。

フィラーゲージを使って、スパークプラグのギャップを0.6から0.7 mm (0.024 から 0.686 mm) に設定してください。

スパークプラグのねじに固着防止潤滑剤を塗布して、焼き付きを防止してください。

スパークプラグをシリンダーヘッドに手でねじ込み、トルクレンチと適切なソケットを使って締め付けます。

スパークプラグを20 N•m (15 lbf•ft) のトルクで締め付けます。

バッテリー

⚠ 警告

車両に取り付けた状態でバッテリーを充電してはなりません。

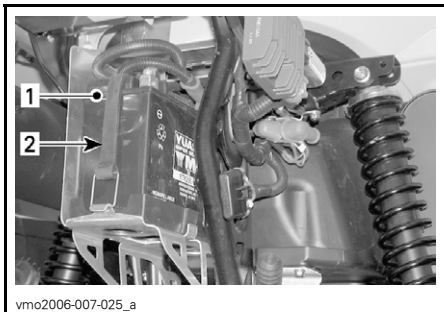
取り外し

黒の (-) ケーブルを最初に外し、次に赤の (+) ケーブルを外します。

⚠ 警告

バッテリーケーブルを取り外す場合は、必ずこの順序を守ってください。黒 (-) ケーブルを必ず先に取り外します。

固定ストラップを取り外し、バッテリーをフレームから取り出します。



vmo2006-007-025_a

1. バッテリー
2. 固定ストラップ

清掃

重曹の水溶液を使って、バッテリー、バッテリーケーシング、バッテリーポストを清掃します。

硬いワイヤブラシを使って、バッテリーケーブルターミナルとバッテリーポストから腐食を取り除きます。バッテリーケーシングは、軟らかいブラシと重曹の水溶液で清掃する必要があります。

取り付け

バッテリーを車両に取り付けます。

⚠ 警告

赤の (+) ケーブルを最初に接続し、次に黒の (-) ケーブルを接続します。必ず赤の (+) ケーブルを最初に接続してください。

ヒューズ

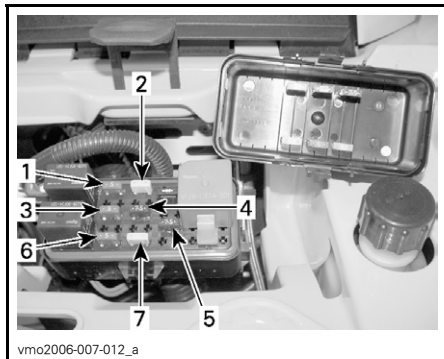
⚠ 警告

切れたヒューズを交換する前に、必ずイグニッションスイッチを OFF 位置にしてください。

ヒューズが損傷した場合は、同じ定格のものに交換してください。

注意: 規定よりも高い定格のヒューズを使用してはなりません。重大な損傷を招く可能性があります。

ヒューズは、ツールボックスの背面のサービスコンパートメントに設置されています。



vmo2006-007-012_a

フロント - ヒューズの場所

1. (F1) イグニッションコイル (5 A)
2. (F2) ファン (20 A)
3. (F3) 燃料インジェクター (5 A)
4. (F4) スピードメーター/スピードセンサー/テールランプ (7.5 A)
5. (F5) 燃料ポンプ (7.5 A)
6. (F6) エンジン制御モジュール (ECM) (5 A)
7. (F7) アクセサリー (20 A)

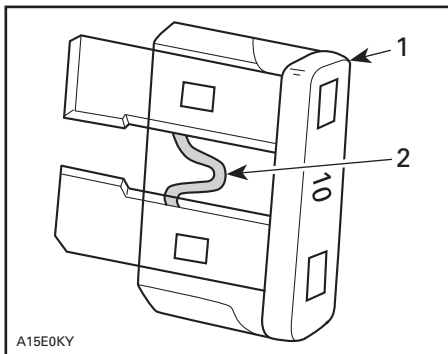


vmo2006-007-031_a

リアーヒューズの場合

1. (F8) メイン (30 A)
(F9) メインアクセサリ (30 A)

ホルダーからヒューズを取り外すには、ヒューズホルダーカバーを取り外して、ヒューズを取り出します。ヒューズのフィラメントが溶けていないかどうかをチェックしてください。



A15E0KV

代表的な例

1. ヒューズ
2. 溶けていないか確認

バルブの交換

警告

切れたバルブを交換する前に、必ずイグニッションスイッチを OFF 位置にしてください。

バルブを交換したあとは、必ずライトが点灯するかを確認してください。

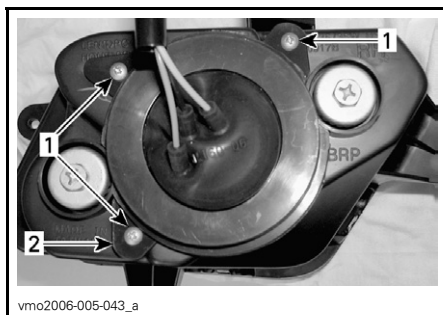
ヘッドランプ

注意: ハロゲンバルブのガラス部分に素手で直接触ってなりません。バルブの寿命が短くなります。万一触ってしまった場合は、イソプロピルアルコールで拭いてください。イソプロピルアルコールは完全に蒸発するので、バルブの表面に薄膜を残しません。

次の手順で、ヘッドランプバルブを交換してください。

注記: 次の図では、わかりやすくするためヘッドランプが取り外されています。

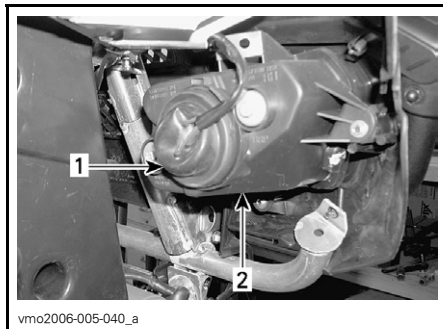
カバースクリューを取り外します。



vmo2006-005-043_a

1. スクリュー
2. ホルダー

ヘッドランプハウジング上のラバープロテクターを外します。

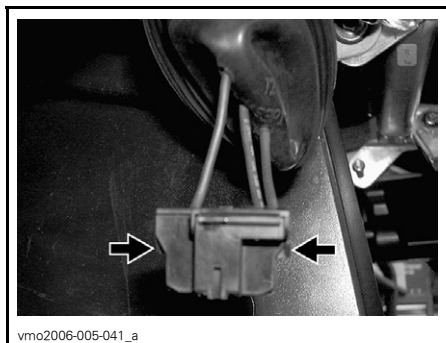


vmo2006-005-040_a

1. ラバープロテクター
2. ヘッドランプハウジング

ヘッドランプからコネクタのプラグを抜きます。

注記: 小さなロックングタブを押してコネクタをロック解除してから、コネクタを引きます。

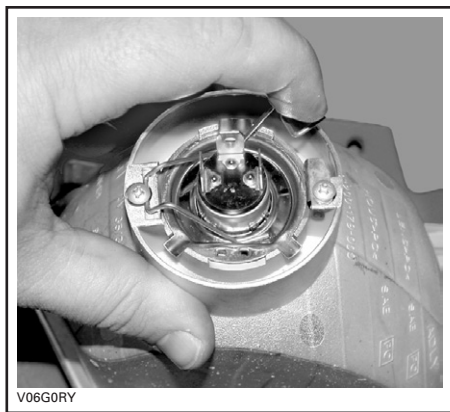


vmo2006-005-041_a

ロックングタブを押してコネクタをロック解除する

注記: 次の図では、わかりやすくするためフロントのダッシュボードが取り外されています。

スピンドルを押して、サイドを押して、ヘッドランプバルブをロック解除します。



V06G0RY

代表的な例

スピンドルを持ち上げてから、バルブを外します。



V06G0SY

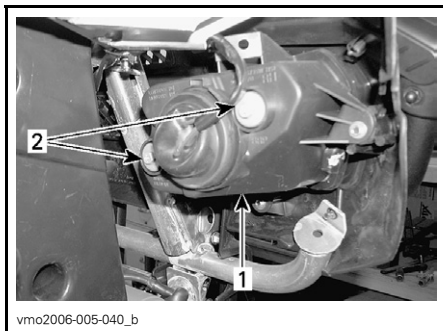
代表的な例

取り外した部品を、取り外しの手順とは逆の順序で取り付けます。

光軸調整

以下の手順に従って、光軸を調整してください。

ノブを回して、光軸高さや横方向の向きをお好みの位置に調整してください。両方のヘッドランプを均等に調整してください。



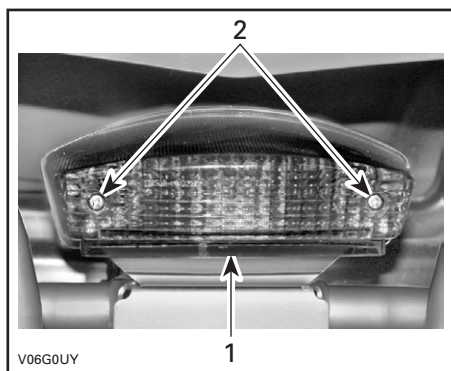
vmo2006-005-040_b

代表的な例

1. ヘッドランプカバー
2. 調整用スクリュー

テールランプ

スクリューをゆるめてレンズを外し、バルブを露出させてください。



1. レンズ
2. スクリュー

バルブを押し込んでそのまま反時計方向に回して、外してください。

新しいバルブを押し込み、次に時計方向に回して取り付けてください。

スピードメーター

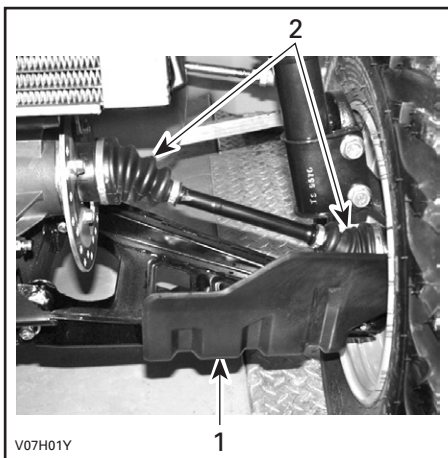
スピードメーターは LED で点灯されます。LED の 1 つが切れた場合は、スピードメーターを交換してください。LED は個別に入手することはできません。

ドライブトレイン

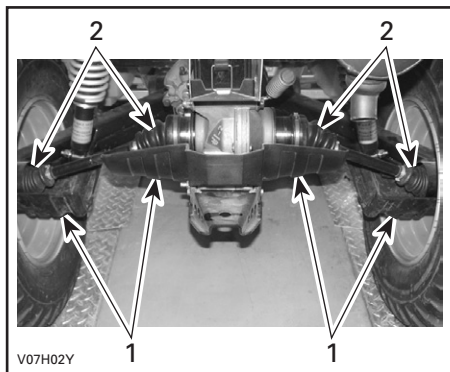
ドライブシャフトブーツ / プロテクター

点検

ドライブシャフトプロテクターとブーツのコンディションを目視で点検してください。プロテクターが損傷していないかまたはシャフトと接触していないかをチェックしてください。ブーツの亀裂、破れ、グリス漏れがないかどうかをチェックしてください。必要に応じて、損傷した部品を交換してください。



代表的な例 — 車両のフロント側
1. ドライブシャフトプロテクター
2. ドライブシャフトブーツ



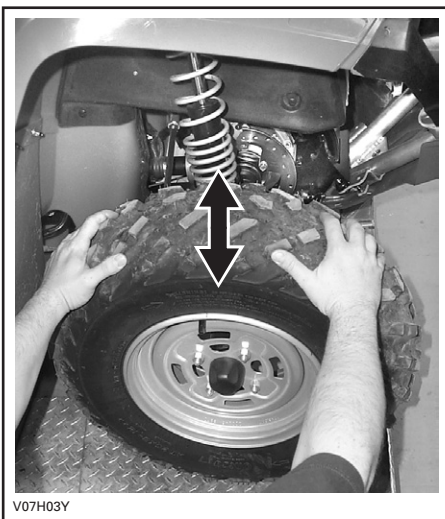
代表的な例 — 車両のリア側
1. ドライブシャフトプロテクター
2. ドライブシャフトブーツ

ホイール

ホイールナットは、時々取り外して固着防止潤滑剤を塗布し、将来取り外しやすいようにする必要があります。これは、車両を塩水環境やぬかるみで使用する場合に特に重要です。一度に1つのナットを取り外し、潤滑剤を塗布してから締め付けてください。

ホイールベアリングのコンディション

ホイールの上端を持って押したり引いたりして、遊びがないかを確認してください。遊びが認められる場合は、最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。



V07H03Y

代表的な例

タイヤ / ホイール

警告

タイヤを交換する場合は、ラジアルタイヤと一緒にバイアスタイヤを取り付けてはなりません。このような組み合わせでは、ハンドリングまたは安定性あるいはその両方で問題が発生する可能性があります。サイズやデザインが異なるタイヤを同じアクスルで組み合わせて使ってはなりません。フロントタイヤとリアタイヤのペアは同じモデルとメーカーでなければなりません。一方向トレッドパターンの場合、タイヤが正しい回転方向で取り付けられていることを確認してください。ラジアルタイヤは、完全なセットで取り付けなければなりません。これらの注意が守られていないと、重大なケガや死亡事故の原因になることがあります。

タイヤ圧力

警告

タイヤ空気圧は、車両のハンドリングおよび安定性に大きく影響します。低すぎると、タイヤが張力を失い、ホイールの上で回ってしまう可能性があります。また、高すぎると、タイヤがバーストしてしまう可能性があります。つねに推奨空気圧を維持してください。このタイヤは低圧タイヤなので、空気をいれるときには手動ポンプを使用してください。

タイヤ空気圧のチェックは、車両に乗る前のタイヤ温度が“上昇していない”ときに行ってください。タイヤ空気圧は、気温あるいは標高に応じて変化します。これらのコンディションの1つでも変化したら、再チェックしてください。

ツールボックスに空気圧ゲージが入っています。

タイヤ圧力

		フロント	リア
		最大 272 kg (272.16 kg)	最大 34.5 kPa (5 PSI)
	最小	31 kPa (4.5 PSI)	34 kPa (5 PSI)

このタイヤはオフロード専用設計されたものですが、それでもパンクは起こり得ます。タイヤポンプとパンク修理キットを携帯されることをお奨めします。

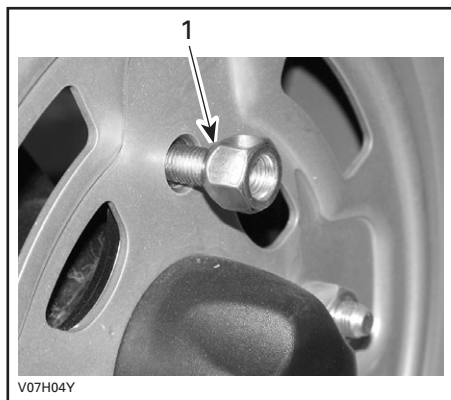
タイヤ / ホイールのコンディション
タイヤに損傷あるいは磨耗が認められないかをチェックします。必要に応じて交換してください。

タイヤのローテーションを行ってはなりません。フロントとリアとではサイズが異なっています。タイヤには回転方向が指定されており、これを守らない場合は、操縦性が損なわれます。

ホイールの取り外し

まずナットをゆるめ、それから車両をリフトしてください。車両の下にサポートを置きます。ナットを外し、ホイールを取り外してください。

ホイールを取り付けるときには、ねじに固着防止潤滑剤を塗布することをお奨めします。ナットは対角線状の順番に徐々に締め込んでいき、最終的には $90 \text{ N}\cdot\text{m}$ ($66 \text{ lbf}\cdot\text{ft}$) のトルクで締め付けます。



代表的な例

7. ナットのテーバー側

注意：必ず推奨ホイールナット (P/N 250 100 039) を使用してください。別のナットを使用すると、リムが損傷する可能性があります。

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください

警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

サスペンション

潤滑

フロント A アームを潤滑してください。サスペンション用化学合成グリース (P/N 293 550 033 が同等品を使用してください)。各 A アームに 2 個のグリースフィッティングがあります。

点検

フロントサスペンション

マクファーソンストラットを点検し、油が漏れや損傷がないかどうかを確認してください。ねじ類がしっかりと締まっていることをチェックしてください。必要に応じて、最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

リアサスペンション

ショックアブソーバーを点検してオイル漏れやねじ類の締め具合を確認してください。ねじ類がしっかりと締まっていることをチェックしてください。必要に応じて、最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

トレーリングアーム

トレーリングアームの変形、亀裂、曲がりがないことを確認してください。問題が見つかった場合は、最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

A-アーム

A アームの亀裂、曲がり、損傷がないことを確認してください。必要に応じて、最寄りの Can-Am 正規ディーラーに問い合わせてください。

調整

警告

左右の調整カムが必ず同じ位置に設定されていなければなりません。片方のカムだけを調整してはなりません。調整が均一でないと、ハンドリングが悪化して安定性が失われ、事故が発生する危険性が増大します。

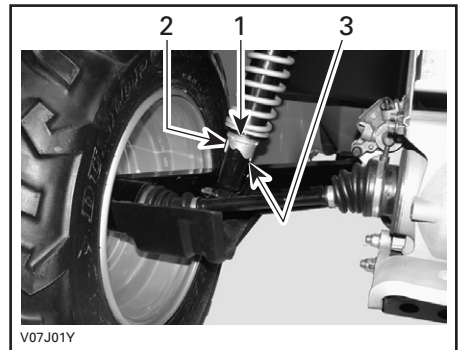
プリロードの調整

注記: Outlander MAX 500 モデルでは、フロントショックは調整できません。

ATV のツールボックスにある調整レンチを使って、調整カムを状況に合わせて回転させ、プリロードを調整します。

乗り心地が固めにする場合やラフロード向きの場合、荷物を運搬したり、トレーラーを牽引する場合は、調整カムを時計方向に回します。

軽荷重の場合や路面がスムーズな場合は、調整カムを反時計方向に回します。



代表的な例 — リアショック

1. 調整カム
2. スムーズ調整
3. 固めの調整

ブレーキ

調整 / 点検

フロントブレーキ、リアブレーキ共に、油圧式ディスクブレーキです。このブレーキはセルフアジャストタイプなので、調整は不要です。

ブレーキレバーとブレーキペダルは調整する必要がありません。

次の点をチェックして、ブレーキを良好な状態に維持してください。

- ブレーキシステムからのオイル漏れ
- ブレーキの効き具合があまい感じがする
- ブレーキディスクの磨耗と表面の状態
- ブレーキパッドの磨耗、損傷、ゆるみ

使用限界値	
ブレーキパッドの厚み	1 mm (.040 in)
フロントディスクの厚み	3.5 mm (.138 in)
リアディスクの厚み	4.3 mm (.170 in)
ディスクの反りの最大値	0.2 mm (.010 in)

ブレーキシステムで問題が見つかった場合は、Can-Am 正規ディーラーにご相談ください。

ブレーキオイルの交換

警告

ブレーキオイルの交換やブレーキシステムの修理は、Can-Am 正規ディーラーにご依頼ください。

ボディ / フレーム

エンジン周辺

エンジン周辺に損傷あるいは漏れがないかをチェックしてください。ホースのクランプがすべてしっかりと締まっているか、ホースに亀裂、折れ、損傷がないかを確認してください。マフラー、バッテリー、リザーバーなどの固定具を点検してください。

電気部品の接続部に腐食あるいはゆるみがないかをチェックしてください。

損傷が認められるパーツは、交換あるいは修理してください。

ヒッチ / トレーラーボールのコンディション

トレーラーボールの固定具の締め付け具合やトレーラーボールのゆるみがないこと / コンディションを確認してください。必要に応じてボールをしっかり締め付け、ボールが磨耗している場合は交換してください。

シャーシのねじ類

車両のねじ類の状態と締め付け具合をチェックしてください。必要に応じて、締め付けてください。

シートファスナー

シートまたストレージボックスを取り外し、ラッチ機構とピンに磨耗がないことをチェックしてください。パーツが損傷している場合は、交換について、Can-Am 正規ディーラーにお問い合わせください。

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください



警告

指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

車両の清掃と保護

ATV を洗浄するときに、高圧洗浄機を使用してはなりません。水圧を低めて使用してください（散水用ホースのように）。高圧の水は電気や機械系統の損傷につながる可能性があります。

塗装パーツに損傷がある場合は、錆を防ぐために適切な再塗装が必要です。

必要に応じて、ボディを湯と石鹸で洗浄してください（必ず中性洗剤を使用してください）。研磨材を含有していないワックスを使用してください。

注意: プラスチックパーツを、強力な洗剤、脱脂剤、シンナー、アセトンなどで洗浄してはなりません。

保管、シーズン前の準備

警告

「メンテナンスチャート」で指定されているように、Can-Am 正規ディーラーで燃料システムが正しく機能しているかどうかの点検を受けてください。

1 カ月以上運転しない場合は、適切な保管手順を取ることが必要です。

適切な手順については、最寄りの Can-Am 正規ディストリビューター / デイラーにお問い合わせください。

保管の后再使用するときには、準備が必要です。適切な手順については、最寄りの Can-Am 正規ディストリビューター / デイラーにお問い合わせください。

保証

BRP 北米限定保証:2007 CAN-AM™ ATV

1) 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (『BRP』)は、2007 Can-Am ATV の材料あるいは製造上の欠陥について以下の期間および条件により保証します。

これ以降で定義されているCan-Am 正規ディストリビューター / デイラーによって取り付けられたすべての Can-Am ATV 純正部品とアクセサリーは、2007 Can-Am ATV が納入される際にCan-Am ATV の保証と同じ保証が適用されます。

BRP は、特定の 2007 Can-Am ATV に GPS レシーバーを標準装備として提供します。GPS レシーバーには、GPS レシーバー製造業者の限定保証が適用され、本限定保証は適用されません。

2007 Outlander™ 400 XT、Outlander 400 XT Max、Outlander 500 XT、Outlander 500 XT Max、Outlander 650 HO EFI XT、Outlander 650 HO EFI XT Max、Outlander 800 XT、Outlander 800 XT Max Can-Am ATV に Carlisle+ タイヤを初めに装備している場合、タイヤはタイヤ製造業者によって独自に保証を受けます。そのようなタイヤが Can-Am ATV に取り付けられている場合、保証適用情報と援助について製造業者に相談するか、Can-Am 正規ディーラーにお尋ねください。

Carlisle Tire & Wheel Company (特定の 2007 Outlander 400 XT、Outlander 400 XT Max、Outlander 500 XT、Outlander 500 XT Max、Outlander 650 HO EFI XT、Outlander 650 HO EFI XT Max、Outlander 800 XT、Outlander 800 XT Max Can-Am ATV)、

23 Windham Boulevard,
Aiken, SC 29805.

保証情報:

米国 1 800 260-7959

カナダ 1 800 265-6155

ケベック 1 (877) 997-4999

2007 Outlander 400 XT、Outlander 400 XT Max、Outlander 500 XT、Outlander 500 XT Max、Outlander 650 HO EFI XT、Outlander 650 HO EFI XT Max、Outlander 800 XT、Outlander 800 XT Max Can-Am ATV に別のメーカーのタイヤが初めに装備されている場合、タイヤはタイヤ製造業者ではなく、BRP によって直接保証を受けます。

この製品を一度でもレースやその他の競技活動に使用した場合は、以前の所有者による行為である場合も含めて、この保証は無効になります。

2) 保証対象期間

この保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはその製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の期間有効です：

個人使用または業務用の使用者に対して 6 ヶ月間。

下のチャートに含まれる、米国で登録された EPA 認定の Can-Am ATV に取り付けられた排出ガス制御を操作する排出ガス関連コンポーネント (下記のリストを参照) は、連続する 30 ヶ月間適用されます。

EPA 認定 Can-Am ATV' は、次を装備しています:400 (Outlander)、500 (Outlander)、650 HO EFI (Outlander)、800 (Outlander) エンジン:

排出ガス関連コンポーネント	400	500/650 HO EFI/800
キャブレタ	X	
キャブレタエアインテークアダプター	X	
エンジンエアインテークアダプター	X	
燃料ポンプ	X	
イグニッションコイル	X	
TPS (スロットルポジションセンサー)		X
TMAPS (気温およびマニホールド気圧センサー)		X
燃圧レギュレータ		X
燃料インジェクター		X
ECM (エンジン制御モジュール)		X
クランクケースベンチレーションシステム		X
シリンダーヘッドガスケット		X
インテークランナーシール		X

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

3) 保証の適用を受けるための条件

この保証対象は、販売された国にあるCan-Am ATV 製品を販売することを許可されたCan-Am デイラー (『Can-Am ATV デイラー』) から最初の所有者により新品かつ未使用として購入され、BRP が指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成した 2007 Can-Am ATV だけに適用されます。保証対象は、Can-Am 正規ディーラーによって製品が正しく登録された場合のみご利用可能になります。さらに、この保証対象は、購入者が居住する国でCan-Am ATV が購入された場合のみご利用できます。BRP は、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRP が製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

保証の有効性を維持するには、『オペレーターズガイド』で概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていなければなりません。BRP は、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

4) 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は欠陥の発現から2日以内に、整備を行う Can-Am デイラーにその旨を通知し、合理的と認められる製品へのアクセスと修理の機会をディーラーにあたえなければなりません。また、保証修理を行うためには、Can-Am デイラーに製品の購入証明を提示し、修理開始前に修理 / 作業注文書にサインしなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべて BRP の所有となります。

5) BRP が行うこと

この保証の下での BRP の義務は、Can-Am 正規ディーラーにて、BRP 自身の判断により、通常の使用、メンテナンス、サービス中に見つかった部品の修理、あるいは新品の Can-Am ATV 純正パーツへの交換を部品代および工賃を無償で行うことに限定されます。

BRP は、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

6) 除外規定 (以下は保証修理の対象とはなりません)

以下は保証対象ではありません:

- 通常の磨耗および消耗品;
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整;
- 『オペレーター・ガイド』に示されている適正なメンテナンス / 保管を怠ったために発生した損害;
- 不適切な修理、改造、純正でない部品の使用、Can-Am 正規ディーラー以外の業者による修理によって発生した損害;
- 誤用、乱用、過失、または Can-Am ATV 『オペレーター・ガイド』で説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害;
- 事故、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷;
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転 (『オペレーター・ガイド』を参照);
- 水または雪の吸い込み;
- 間接的な損害、付随的な損害、つまり、牽引、保管、電話、レンタル、タクシー、不便性、保険対象、ローンの支払い、時間の損失、所得喪失等それらだけに限定されないその種の損害。

7) 責任の範囲

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含めながら、それらのみには限定されない明示的または黙示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認され得ない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められていないため、それらはあなたには適用されない可能性があります。この保証は特定の権利を付与するものであり、あなたは国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

Can-Am デイラー、またはその他の人物のいずれにおいても、この限定保証に含まれるもの以外に、製品に関する確認、表示、保証を行う権限は与えられておらず、それが行われた場合にも BRP に対する強制力はありません。

BRP はこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更されないことに同意します。

8) 所有権の移転

保証期間中に製品の所有権が移転された場合は、この保証も同時に移転され、以下のような方法で所有権の移転が BRP に通知されることを条件に、残りの保証期間の間も有効となります：

- a) 旧所有者が BRP (下記の電話番号) または正規 Can-Am デイラーへ連絡し、新しい所有者の連絡先を知らせる；
- b) BRP または正規 Can-Am デイラーが、旧所有者が所有権の移転に同意したことの証明書、および新しい所有者の連絡先を受領する。

9) 消費者支援

- a) 本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。認定ディーラーのサービスマネージャーあるいは店主と話し合われるようお願い申し上げます。
- b) さらに支援が必要な場合は、問題の解決を図るためディストリビューターのサービス部門と連絡を取ってください。

カナダ
BOMBARDIER RECREATIONAL
PRODUCTS INC.
CAN-AM ATV
Consumer Services Group
VALCOURT QC J0E 2L0
Tel: (819) 566-3366

米国
BRP US Inc.
CAN-AM ATV
Consumer Services Group
7575 BOMBARDIER COURT
WAUSAU WI 54401
Tel: (715) 848-4957

* 米国内では、製品の流通とサービスは BRP US Inc が行います。

© 2006 Bombardier Recreational Products Inc. 全権保留。

® Bombardier Recreational Products Inc および子会社の登録商標および™ 登録商標です。

† Carlisle は Carlisle Tire & Wheel Company の商標です。

BRP 国際限定保証:2007 CAN-AM™ ATV

1) 限定保証の範囲

Bombardier Recreational Products Inc. (『BRP』) は、2007 Can-Am ATV の材料あるいは製造上の欠陥について以下の期間および条件により保証します。

これ以降で定義されているCan-Am 正規ディストリビューター / ディーラーによって取り付けられたすべての Can-Am ATV 純正部品とアクセサリーは、2007 Can-Am ATV が納入される際にCan-Am ATV の保証と同じ保証が適用されます。

BRP は、特定の 2007 Can-Am ATV に GPS レシーバーを標準装備として提供します。GPS レシーバーには、GPS レシーバー製造業者の限定保証が適用され、本限定保証は適用されません。

レースや他の競技用製品をいずれかの時点で装着した場合は、前の所有者が装着した場合でも、保証が無効になります。

2) 保証対象期間

この保証は、最初に購入した消費者に納入された日、またはその製品が最初に使用された日のいずれか早い日から、次の期間有効です：

個人使用または業務用の使用者に対して 6 カ月間。有効な保証期間は、適用される現行の国または地域の法律によって異なることに留意してください。

1. 保証期間の詳細については、ディストリビューターかディーラーにお尋ねください。

この保証によるパーツの修理または交換、あるいはサービスの実施によって、保証の本来の有効期限を超えてこの保証が延長されることはありません。

3) 保証の適用を受けるための条件

この保証対象は、販売された国にあるCan-Am ATV 製品を販売することを許可されたCan-Am ディストリビューター / ディーラー(『Can-Am ディストリビューター / ディーラー』)から最初の所有者により新品かつ未使用として購入され、BRP が指定した納入前点検を完全に実施し、納入前点検チェックリストを作成した 2007 Can-Am ATV だけに適用されます。保証対象は、Can-Am 正規ディストリビューター / ディーラーによって製品が正しく登録された場合のみご利用可能になります。さらに、この保証対象は、購入者が居住する国でCan-Am ATV が購入された場合のみご利用できます。BRP は、上記条件が満たされない場合、個人使用の所有者または業務用に使用する所有者に対して限定保証を与えません。このような制限は、BRP が製品の安全ばかりでなく、消費者と一般の人々の安全を確保するためにも必要です。

1 EU 加盟国では保証期間は車両の納入日から 24 ヶ月であり、欠陥通知期間は 2 ヶ月です；保証の他の条件は、消費財の販売に適用される関連する法令に従います。

保証の有効性を維持するには、『オペレーターズガイド』で概説されている定期メンテナンスが適切な時期に実施されていなければなりません。BRPは、この保証を適用する際の条件として、適切なメンテナンス実施の証明を求める権利を留保します。

4) 保証を受けるためにしていただくこと

お客様は、欠陥の出現から2日以内にサービスを行う Can-Am ディストリビューター/ディーラーに知らせて、1製品に対する妥当なアクセスと修理のための妥当な機会を提供しなければなりません。また、保証修理を行うためには、Can-Am ディストリビューター/ディーラーに製品の購入証明を提示し、修理開始前に修理/作業注文書にサインしなければなりません。この限定保証に基づいて交換された部品は、すべて BRP の所有となります。

5) BRP が行うこと

この保証の下での BRP の義務は、Can-Am 正規ディストリビューター/ディーラーにて、BRP 自身の判断により、通常の使用、メンテナンス、サービス中に見つかった部品の修理、あるいは新品の Can-Am ATV 純正パーツへの交換を部品代および工賃を無償で行うことに限定されます。

BRP は、それ以前に製造された製品に同様の改良を加える義務を負うことなく、製品の改良または変更を継続して行う権利を留保します。

6) 除外規定 (以下は保証修理の対象とはなりません)

以下は保証対象ではありません:

- 通常の磨耗および消耗品;
- 定期メンテナンス項目、チューンアップ、調整;
- 『オペレーター・ガイド』に示されている適正なメンテナンス/保管を怠ったために発生した損害;
- 不適切な修理、改造、純正でない部品の使用、Can-Am 正規ディストリビューター/ディーラー以外の業者による修理によって発生した損害;
- 誤用、乱用、過失、または『オペレーター・ガイド』で説明されている推奨事項に一致しない方法による製品の操作によって発生した損害;
- 事故、水没、火災、盗難、破壊行為、またはあらゆる天災や不可抗力の結果として生じた損傷;
- 製品に適さない燃料、オイル、または潤滑剤を使つての運転 (『オペレーター・ガイド』を参照);
- 水または雪の吸い込み;
- 間接的な損害、付随的な損害、つまり、牽引、保管、電話、レンタル、タクシー、不便性、保険対象、ローンの支払い、時間の損失、所得喪失等それらだけに限定されないその種の損害。

¹ EU 加盟国では保証期間は車両の納入日から 24 ヶ月であり、欠陥通知期間は 2 ヶ月です; 保証の他の条件は、消費財の販売に適用される関連する法令に従います。

7) 責任の範囲

この保証は明示的に付与されるものであり、商品性または特定の目的への適合性の何らかの保証を含めながら、それらのみには限定されません。明示的または黙示的なその他のすべての保証に代わるものとして受諾されます。それらが否認されない限りにおいて、暗示的保証は明示的保証の有効期限内のみに限定されます。付随的および間接的損害は、この保証の範囲から除外されます。ただし、一部の国では上述の否認、制限、除外が認められておらず、それがあなたにも適用される可能性があります。この保証は、お客様に特定の権利を付与するものであり、あなたは国ごとに異なるその他の法的権利を留保することができます。

ディストリビューター、BRP 正規ディーラー、そしていかなる個人も、この限定保証に含まれていない確約、表明、または保証を、BRP あるいはその他の個人に対して行ってはならず、万一行った場合、それらの内容は BRP に対して強制できるものではありません。

BRP はこの保証をいつでも変更する権利を留保します。ただし、すでに販売された製品に適用される保証条件は、その保証が有効な間は変更されないことに同意します。

8) 所有権の移転

保証期間中に製品が譲渡される場合は、本保証も譲渡されるものとし、新しい所有者の連絡先情報に加えて所有権移転の証明書を BRP または Can-Am ディストリビューター / ディーラーが受領することを条件として、保証の残りの期間が有効になります。

9) 消費者支援

- a) 本限定保証に関して論争または紛争が生じた場合、まずはディーラーレベルで問題解決を試みてください。認定ディーラーのサービスマネージャーあるいは店主と話し合われるようお願い申し上げます。
- b) さらに支援が必要な場合は、ディストリビューターのサービス部門にご相談ください。ディストリビューターの連絡先を www.brp.com でご覧になれます。
- c) それでも解決できない場合は、問題の内容を書面にして、下記に提出してください。

ヨーロッパ、中東、アフリカ、ロシアおよび CIS の方々は、ヨーロッパオフィスまでご連絡ください:

BRP Europe N.V.
Consumer Service Center
Skaldenstraat 125
9042 Gent
Belgium
Tel: +32 9 218 26 00

北欧諸国の方々は、フィンランドオフィスまでご連絡ください:

BRP Finland Oy
Service Department
Ahjotie 30
FIN-96320 Rovaniemi
Finland
Tel: +358163208111

上記以外の国の方々は、北米オフィスまでご連絡ください:

Bombardier Recreational Products Inc.
Consumer Services Group
Valcourt QC J0E 2L0
Tel: +1-819-566-3366

プライバシーに関する情報

あなたのご連絡先情報は安全性の確保と保証のために使わせていただきます。お客様のご連絡先情報を利用して、当社製品のご案内やご提供情報を送らせていただくことがあります。このような当社製品、サービス、ご提供に関する情報を希望されない場合は、下記まで書面にてお知らせください。

また、厳選された信頼できる企業に対して、品質の高い製品とサービスの販売促進に役立てるため、お客様のご連絡先情報の利用を許可することがあります。あなたのお名前やご住所の開示を拒否される場合は、下記まで書面にてお知らせください。

カナダ
Bombardier Recreational Products Inc.
Warranty Department
75 J.A. Bombardier Street
Sherbrooke, Québec J1L 1W3
Fax Number: (819) 566-3590

米国
BRP US Inc.
Warranty Department
7575 Bombardier Court
Wausau WI 54401
Tel: (715) 848-4957

ヨーロッパ、中東、アフリカ、ロシアおよび CIS の方々は、ヨーロッパオフィスまでご連絡ください:

BRP European Distribution
After Sales Service Department
Chemin de Messidor 5-7
1006 Lausanne Switzerland
Fax Number: +41213187801

北欧諸国の方々は、フィンランドオフィスまでご連絡ください:

BRP Finland Oy
Service Department
Ahjotie 30
FIN-96320 Rovaniemi
Finland
Tel: +358163208111

上記以外の国の方々は、**A)** または **B)** までご連絡ください。

A) あなたのディストリビューター (連絡先は、www.brp.com でご覧になれます)

B) 北米オフィス:
Bombardier Recreational Products Inc.
Warranty Department
75 J.A. Bombardier Street
Sherbrooke, Québec J1L 1W3
Fax Number: (819) 566-3590

住所と所有権の変更

お客様が住所を変更された場合または ATV の新しい所有者になった場合は、以下のいずれかの方法で BRP に通知してください。

– 以下の宛先にカードを郵送する；

北米
Bombardier Recreational Products Inc.
Warranty Department
75 J.A. Bombardier Street
Sherbrooke, Québec J1L 1W3
Canada

– 北米のみ:(715) 848-4957 (米国) または (819) 566-3366 (カナダ) へ電話する；
– Can-Am 正規ディーラーに通知する。

他の国々
BRP European Distribution
Warranty Department
Chemin de Messidor 5-7
1006 Lausanne
Switzerland

ヨーロッパ、中東、アフリカ、ロシアおよび **CIS** の方々は、ヨーロッパオフィスまでご連絡ください：

BRP European Distribution
After Sales Service Department
Chemin de Messidor 5-7
1006 Lausanne Switzerland
Fax Number: +41213187801

北欧諸国の方々は、フィンランドオフィスまでご連絡ください：

BRP Finland Oy
Service Department
Ahjotie 30
FIN-96320 Rovaniemi
Finland
Tel: +358163208111

上記以外の国の方々は、**A)** または **B)** までご連絡ください。

A) あなたのディストリビューター (連絡先は、www.brp.com でご覧になれます)

B) 北米オフィス：

Bombardier Recreational Products Inc.
Warranty Department
75 J.A. Bombardier Street
Sherbrooke, Québec J1L 1W3
Fax Number: (819) 566-3590

所有権の変更の場合は、以前の所有者が譲渡に合意している証明書を添付してください。

例えば、安全上のリコールを開始した場合など、BRP が必要に応じて ATV の所有者に連絡できるように、限定保証の期間が終了した後でも、BRP に通知することが重要です。BRP に通知するのは、所有者の責任です。

盗難に遭った場合: 万一お客様の ATV が盗難に遭ったときは、BRP または Can-Am 正規ディーラーにご連絡ください。お客様のお名前、ご住所、電話番号、車両登録番号、そして盗難の日付をお知らせください。

ATV モデル No. _____

車両登録番号 (V.I.N.) _____

エンジン識別番号 (E.I.N.) _____

所有者: _____

氏名

No.

番地

アパート名

区市町村

州/県

ZIP/郵便番号

購入日

年 月 日

保証有効期限

年 月 日

販売日にディーラーが記入します。

ディーラー押印欄

車両が BRP に登録されていることをディーラーに確認してください。

この『オペレーター・ガイド』を読むとき、次に留意してください



指示に従わなかった場合は、重傷事故や死亡事故を招く恐れがあることを示します。

警告

この車両の運転には危険が伴います。適切な注意を怠ると、方向転換や起伏のある場所での運転、または障害物の乗り越えなどのごく普通の運転でも、衝突や急激な横転の原因になることがあります。

次のような取扱い上の注意が守られていないと、重大なケガや死亡事故の原因になることがあります：

- ATVを運転する前にこの『オペレーター・ガイド』とおよび製品の全警告ラベルをよくお読みください。
- 適切な指導を受けずに、このATVを運転しないでください。初心者には、トレーニングコースを最後まで受けてください。
- 2人以上の同乗者を乗せないでください。2人以上の同乗者を乗せると、コントロールを失う危険が高まります。
- 舗道でこのATVを運転しないでください。舗道でこのATVを運転すると、コントロールを失う危険が高まります。
- 一般道路でこのATVを運転しないでください。一般道路でこのATVを運転すると、他の車両と衝突する可能性があります。
- 運転者と同乗者は、必ず認定されたモーターサイクル用ヘルメット、目を保護するゴーグル、保護能力の高い衣服を着用してください。
- ATVを運転する前、または運転中に、アルコールや薬物を服用しないでください。
- このATVを運転するときは、速度を出しすぎないでください。その場の地形、視界、そしてあなたの経験に合わない速すぎる速度でこのATVを運転するならば、コントロールを失う危険が高まります。
- ウィリー、ジャンプなどの曲乗りは絶対に行わないでください。

オペレーターズガイド

OUTLANDER MAX 500/650/800

2007